

昭和十八年十二月二十五日

部外秘

南支南洋時報

臺灣總督府外事部

34
西曆
一五四
日
號



内閣文庫
一冊
八〇四六五号
和書

305
12

南支南洋時報

第三十四號

昭和十八年十二月二十五日

臺灣總督府外事部

目次

南支

福建省の農業.....	一頁
潮汕地區に於ける禁烟狀況.....	一三頁
最近に於ける廣東地區物價の動向.....	三三頁
海口金融事情概況（昭和十八年第二・四半期）.....	三六頁

南洋

タイ人の生活とタイに於ける醫療施設

四二頁

馬來の米

九六頁

東印度の資源

一〇二頁

時報

(南支・南洋)

三都澳

三都澳に我が陸戦隊上陸す

一六二頁

厦門

厦門市政府の内部機構改組

一六三頁

厦門に警防團結成さる

一六四頁

厦門民衆伊の裏切に至極冷靜

一六四頁

汕頭

汕頭市の人口調査

一六五頁

潮汕地區敵産移管に感激

一六六頁

汕頭接敵地區の近況

一七〇頁

粵東抗戰地區大動搖

一七一頁

廣東

廣東配給制度の刷新

一七二頁

海南島

海南島に科學メスを加へる南方資源研究所

一七三頁

海南島に良材の大森林を發見

一七四頁

香港

香港管區への物資搬入に許可制實施

一七五頁

香港輕工業の復興狀況

一七五頁

南方一般

南方纖維植物増産本年度目標愈々完遂

一七八頁

佛 印

佛印に對する日本品供給協定調印

一七九頁

佛印の太平運動と佛安合作の懷柔方策

一八一頁

佛印の黄麻栽培五箇年計畫

一八二頁

佛印にて現地製醫藥品を統制

一八二頁

佛印華僑の送金累増

一八三頁

泰 國

泰の新領土編入に關する日・泰條約

一八四頁

泰國より答禮使節來朝

一八六頁

泰の物價金融對策進展

一八八頁

馬 來

マライ生産物資統制規則公布

一八九頁

東 印 度

マライに於けるゴム類價格の全面的引下げ

一九〇頁

ジャワ政治參與の法令發表

一九二頁

ジャワの本年度棉作狀況

一九四頁

ジャワ蓬萊米の收穫在來種の二倍

一九六頁

パンカ島の開發に伴ふ錫價の大巾値下げ

一九七頁

西ボルネオの鹽田開發願調

一九八頁

セレベス海務局新設

一九九頁

セレベスの棉花を現地で活用

一九九頁

比 律 賓

比島と本邦の間に郵便爲替を開始す

二〇〇頁

最近の比島綿業

二〇一頁

比島の巻煙草自給

二〇二頁

比島内銀行預金の蓄増

二〇二頁

緬甸

緬甸の初代駐日大使にテイン・モン氏を起用

緬甸初の國家豫算編成

緬甸國內民族融和

六

統計

南支各地域別在留邦人口概計表(五月一日現在)

南支各地物價表(五月末日現在)

華僑送金表(五月中)

二〇八頁

二二三頁

二四六頁

南支

福建省の農業

一 概 観

(一) 位置、面積、人口

福建省は支那本部の東南に位し、東は臺灣海峡を隔て、一衣帯水臺灣に對し、北は浙江、西南は江西、廣東に接し、東西約八百七十支里、南北約九百六十三支里で、東經百十五度五十分より百二十度四十七分、北緯二十三度三十餘分より二十八度二十分に跨り、面積十五萬八千七百二平方料、臺灣の約三倍に當る。

人口は一千百七十五萬五千人(民國二十五年調、一九三七年國民政府發表)で、一平方料平均九十七人である。性別に見れば女子百に對し男子百三十六人(民國十九年福建省民政廳調査、男五百二十五萬三千六十六人、女三百八十五萬七千四百三十七人、計九百一十一萬五百三人)で、支那各省中最も極端なる男子過多の地方である。これは一概に福建人は男尊女卑の觀念が強く、女兒は殆ど顧みられないので死亡率が高いのが原因の一つとして

挙げられる。

(二) 自然

1 地 勢

本省は山岳重疊、峯巒相連なる礫積の瘠土であつて平野に乏しく、山勢の複雑にして廣く蟠居してゐることは沿海各省中第一位に屬する。地勢は西北に高く東南に低く、河流は概ねこの傾斜に沿うて流れる。本省の山嶽は南嶺山脈に屬して浙江、江西兩省より入境し、北は楓嶺山脈を以て浙江省と堺し、西は仙霞山脈によつて江西省に接する。その他省内には博平、戴雲、長嶺、杉嶺、霞浦等の大山脈があり、この大山脈は江西省との省境に在つては海拔千米乃至二千米の間であるが沿岸地方に向ふに従つて漸次低下し、福州附近に於て五、六百米内外となる。

河川は閩江が最も大きく、本省の平地の大部分は概ね本河の流域に屬してゐる。晋江、贛江、汀江、連江等の河川溪流は全省各地に縦横に貫通してゐるが、水淺くその上水勢が急なため航行は困難で交通運輸の便にはならない。又海岸に近づくに従つて傾斜が緩やかになり、水勢も穏やかであるが、上流より運び來る土砂が堆積し、長年月の間に河口に三角洲を形成する處が多い。沖積作用によつて構成された平野には福州、漳州を中心に發達してゐるが、之等の平野は山嶽に包まれてゐる關係上面積が狭い。而して福州平野は閩江の下流左岸一

帯に屬する地方で、東は馬尾より西は洪山橋に至る南北九十里、東西二十餘里の地域であつて、海拔百尺内外の極めて平らかな地面である。漳州平野は厦門灣の西南岸に當る地方で、嶺七社より龍江を溯つて西に至り、幅平均僅か二十里、狭い所で數百尺の處もあるが、江東橋を過ぐれば幅が次第に廣くなり、更に西に向ふに従つて又狭くなつて西の方南端に至つて盡きる長さ百十里の地域である。此の平野は海拔六百尺以下の低い、地味肥沃にして物産の豊富な處で、省内第一といはれてゐる。

2 土 壤

本省の土壤は未だ詳細なる調査は行はれてゐないが、総合的に觀て主に花崗岩、片麻岩等の風化した一種の特別砂土で、顆粒は比較的粗である。山地附近は多くは土地が堅くて瘠弱で、表土の存在は無く、山谷流域は主に山上より流されて沖積したものであつて山地附近に比し沙質を含むことが多い。閩江龍溪、晋江大溪の長流は地質の異なる地方より流下するので、往々肥沃なる土壤を構成することがあり、その附近は特に農耕地に富んでゐる。

3 氣 候

本省の氣候は氣象學上温帯に屬し、濱海地方は海洋的氣候で寒暑の差が少く、殊に南部北回歸線に接する處は淋潤にして亞熱帶的である。然るに西部即ち内地に於ては之に反して大陸的であり、夏季は暑熱甚しく、冬季

は寒氣嚴冽で高峯に結氷し、頂上は常に雪を戴き、平地にも降雪を見ることがある。雨量は多いがその分布は比較的平準してゐる。二月より九月までが雨季で殊に三月より五月に至る間には急雨が多い。高地は早燥に苦しまれるやうなことがあり、又八、九月には颱風の襲來を受けて田野の被害は少くない。

二 農業經濟

(一)

農業戸數と耕地

本省の農業戸數は百六十二萬五千六百八十四戸で本省總戸數二百二十八萬七千六百四十五戸の七一・二%を占め、農業人口は八百四十五萬三千五百五十七人で總人口の七一・九%を占めてゐる。即ち本省住民の大半は農村に居住し、農業により生活してゐる。隣省の廣東が農業戸數に占める割合が六二・四%に比し高い割合を占めてゐることはそれだけ福建省が尙多分に農業經濟に依存してゐることを物語るものである。本省の耕地は二千三百二十九萬畝(一畝約六・七アール)で、その中水田一千一百九十八萬八千支畝、旱田一千一百三十萬二千支畝で毎戸當十四支畝に當る。これを臺灣と比較すれば、臺灣の農家一戸當り耕地面積は二甲〇七(一甲約九十七アール)(昭和十三年)で、福建の一戸當り耕地面積は臺灣の二分の一にもならないのである。又耕地面積は臺灣に於ては總面積の二割三分に對し福建省は農耕地は山地に壓されて極めて小さく、僅かに一割三分弱にすぎない。即ち土地利用率は臺灣の方が遙かに大である。而して農耕地は大半三角洲

に集中してゐる。

(二)

自作小作別

農民の土地所有狀況を見るに、南支那は全支の中でも小作農の占める割合が多く、反對に自作農は著しく少い。福建省に於ては他人の土地を借りて農業を營む土地無き純粹な小作經營者四三%、自己所有の土地以外に小作する零細な土地所有者の半自作農三三%で、自作農は次第に減少の傾向にあり、土地の無い農民が次第に増加し、土地の所有は少數の地主及び富農によつて占有されてゐるのである。(次表参照)

福建省小作農百分率 (%)

年 別	小 作 農	自 作 農	半 自 作 農	備 考
民國元年	四一	二九	三〇	報告縣數二十九縣
民國二〇年	四〇	二七	三〇	
民國二一年	四一	二六	三三	
民國二二年	四二	二七	三三	
民國二三年	四三	二五	三三	
全國平均 (民國二十三年)	二九	四六	二五	



全國平均 (民國十九年)	二六	五二	二二	三三	六
-----------------	----	----	----	----	---

而もその經營の規模から見て次表の如く多くは小規模な家族的勞作經營であり、十支畝以下の經營が六二%、内五支畝以下三四%を占めてゐて零細農業が壓倒的に多い。地主、富農の所有地は水田が多く、畑地は主として果樹園で、貧農の所有地は大部分が畑地である。斯くの如く本省に小農が多く一人當り耕地面積過少のため勞働力に過剩を來たし、加ふるに近代工業の未發達から過剩勞働力を利用すべき機會無く、勞働力に依る收益は愈々減少して拱手蟄居するものが次第に出で、生活水準は益々低下する一方となる。此の趨勢は益々省民の出郷と共匪化を促進することになつてゐる。

福建省耕地經營面積對照表 (報告縣數二十九)

畝	福建省	全國二十二省	臺灣
五畝以下	三四・三%	二五・七%	二四・三二%
五—一〇	二七・九	二二・八	四四・四九%
一〇—一五	一六・二	一七・六	二〇・一七
一五—二〇	九・五	一三・四	三九・二七
		五分未滿	
		五分以上一甲未滿	
		一甲以上三甲未滿	

米	福建省	全國二十二省	臺灣
一〇—一三〇	六・二	一〇・〇	四九・六八%
三〇—五〇	四・〇	六・一	一〇・四一
五〇以上	二・〇	三・四	五・八三

三 主要農作物

(一) 普通作物

1 米

本省の主要農作物は米であつて約總耕地面積の六三%に當り、年産額は三千五百萬乃至四千萬擔で、閩江上流の谷盆地と閩江下流の低平地及び漳泉の川口平野が主である。上流地帯は一毛作であるが、平地は大部分二毛作水稲區で我が臺灣と同様である。又排水設備の完備してゐる地帯では冬季蔬菜を作り、都合三毛作をすることがある。而して米が本省の重要産物でありながら、山岳地帯が多いために耕地が少く、且つ沿岸地方に於て二期作に暴風雨の襲來を受けることが多いので、甚大なる損害を被ることがあり、従つて本省のみの所産を以てしては省内の消費を充たし得ず、僅かに全省人口の約八箇月分しかならない爲、年々中支、又は泰、佛印方面より二、三萬擔の外米を輸入する狀況である。

福建省移輸入米狀況表

年別	数量	金額	備考
民國二二年	三三〇萬擔	二、一〇〇萬元	内輸入 $3\frac{1}{4}$
民國二三年	二五〇	一、一六〇	輸入品中第一位
民國二四年	一一〇	五九〇	輸入品中第三位

2 甘 藷

甘藷は米作に次いで重要な補助食料で、その栽培面積は全耕地の六%に當り、全支第一の生産額を占めてゐる。これは本省の氣候が甘藷の栽培に適し、その上の作物は植付が簡單で特に多くの收穫が得られるからである。主産地は中央高地、海岸高地の水利の乏しい地方で米藪作の出来ない砂礫土の如き不良の土地に多く栽培されてゐる。省民の多くは生活程度が低く、米價の高い時は自己生産の米を賣却して甘藷を主食物とするところがある。甘藷は生で食料に供する外薯干(切干藷)として貯蔵に耐へ得るやうにし、又薯干騰貴の際は甘藷の葉その他の雜草を食用に供することもあると云はれてゐる。甘藷の甲當の收量が約一萬四、五千斤で薯の歩留は二割五分であり、臺灣の甲當平均收量三萬餘斤、薯の歩留三割三分に比すれば大なる差がある。

3 麥

麥は主として沿岸地方に於て米の栽培の行はれない地方に耕作され、南部海岸地帯に在つては泉州府下なる晉江、南安、北部では閩、霞浦兩縣が主産地で、海岸地方の下級農民が之を常食としてゐる。麥は寒冷乾燥に適する作物であつて、支那に於ては主として北部諸省に栽培されて居り、南になるに従つてその栽培は次第に狭少となる。

福建省では毎年約百萬擔の不足であるが、當省の麥作は他の麥作地帯に比べて銹病害が少く、耕種及び品種を改良すれば相當期待し得る作物である。

(二) 工藝作物

福建省に於ける工藝作物の主なるものは甘藷、茶、煙草で、その他黃麻、苧麻、棉花等があるが、その量は少

少。

1 甘 蔗

甘蔗は作付面積十七萬七千畝、收穫高四百十二萬擔で、全耕地面積の一%弱と見積られてゐる。南支に於ける甘蔗作付は臺灣の甘蔗作と最も競合關係を懸念されてゐたが、廣東省も又總耕地の二%強に過ぎず全部省内の消費に充てられ、輸出は皆無の状態である。福建省の砂糖は自給の外、その餘剰は主として上海に出して居るが、外糖に壓迫されて遂年遞減し現在では辛うじて餘命を保つてゐる位である。廣東省に於ては新式糖廠の

開發に相當努力を拂つてゐるが福建省は舊態依然で何等の施策をせず、黒砂糖や水砂糖を製造する小規模なものばかりで原始的掠奪式製法に依るに過ぎない。海關貿易報告によれば福州、厦門、三都の三海關より輸出した數量は別表の如くである。

福建省砂糖輸出狀況表

年 別	輸 出 數 量	價 格	備 考
民國十年	一六六、〇三六	一六七、二五	
民國十一年	一四二、〇〇七	一四〇、六	
民國十二年	八八、六一〇	一、二八一	
民國十三年	九七、〇四八	一、一七七	
民國十四年	九六、九六四	一、三一八	
民國十五年	三八、一九一	五五五	
民國十六年	三五、四八五	五二四	
民國十七年	二八、〇〇八	四一六	
民國十八年	四〇、二四三	五四九	
民國十九年	五二、六三七	八二二	

2 茶

茶は福建省の著名なる特産物で世界に於ける最も經濟的茶の栽培地であり、且つ極めて品質優良である。清朝の時代には既に歐人の歡迎するところとなり、一八四三年英國の商船によつて積出されてゐる。福建省は支那輸出茶の約八割を占め、本省輸出額中第一位に屬し、本省農村經濟上最も重要な地位にあると共に、又外國爲替獲得上重要な役割を演じて來たのである。輸出額は民國二十年二千一百萬元、同二十三年一千六百萬圓、同二十四年一千一百萬元で、民國二十四年は總輸出額の四五%に當る。福建省はその栽培地域によつて東部地域（閩江上流及び南平の東方）、北部地域（南は福州、北は福州、西は古田迄）、西部地域（南平の西方一帯）に分けられ、崇安の武夷から産出されるものが最も有名で、その他建寧、福州、福安、寧德等も亦茶の産地として名高い。

民國二十年	四〇、九四〇	六六五
民國二十一年	六二、九四三	九五二
民國二十二年	四五、七四六	六六一
民國二十三年	一七、〇〇〇	四〇〇
民國二十四年	一一、〇〇〇	三五〇



茶の植付面積は大體十二萬二千餘畝で産額は年九百三十五萬餘斤、その内綠茶約五百萬斤、紅茶約四百三十餘萬斤を占めてゐる。紅茶は主として英、蘭、佛に、綠茶は國內天津、牛莊、青島及び蘇聯に、嚴茶は廣州、比島、馬來方面に移輸出されて來たが、品質即ち選別不良の爲夾雜物多く、商品の價值が低下し、その上近時歐洲人間に喫茶の習慣が次第に強くなり、その後勃興したセーロン茶、爪哇茶、印度茶等の如く輸出を目的とした南洋の植民地に開發栽培が起るに及んで之に壓迫されて漸次世界市場から驅逐されるに至り、福建省に於ては茶業を棄つるものが續出して茶園は荒廢に歸し、昔日の如き繁榮は見られなくなつた。

- 本省に於ける茶の栽培は大規模な茶園經營が少く、多くは農業の副業的生産に過ぎないが、然し茶業が發展して來た所以は
- 一 山嶽重疊して傾斜地多く、栽培面積の擴張が充分に爲し得られること。
 - 二 茶は栽培管理及び製造が簡單で、特殊技術を要しないこと。
 - 三 資本も勞力も他作物に比し多くを要せざること。

3 煙草

煙草は明朝の頃漳州に移入されたのが始まりで、海岸地方より次第に内地に播種されたものである。現在では北

溪、西溪及び鷺江の上流に位する瑄溪、沙溪の峡谷に閩江の尤溪及び韓江の支流に沿うた地方が樞要なる生産地で、就中永定及び龍岩産のものは最もよく知られてゐる。民國二十三年に於ける栽培面積は十八萬七千支畝で産額は三十三萬五千支撻であつた。栽培の盛んな地方では米作は一般に只自家用に止め、豊稔の土地にも煙草を栽培してゐる。昔は臺灣にも輸出されたが、臺灣に於ける自給自足經濟によつて昭和八年より全然輸入杜絶となつたのである。

(三) 果實

福建省の果實は甚だ豊富で、これは本省に於ける雨量が秋期に於て短期間の乾燥期があるのみで、従つて山地の果樹栽培管理は極めて容易であり、廣大なる山地、荒地は充分利用せられるからである。閩北には耐寒性の柑橘類を産し、閩南は高温に適する文旦、龍眼、マンゴー、バナ、等熱帯性果實が特に多い。民國二十三年には百二十萬元二十四年には百三十餘萬元を輸出し、本省農村經濟に重要な役割を演じ、閩侯、永泰、漳浦、莆田等には果樹を専業とするものが約八割を占めてゐる處もある。

潮汕地區に於ける禁烟狀況

一 禁烟制度の變遷

(一) 事變前の制度

事變前民國二十一年より同二十四年に於ける潮汕地區の禁烟制度は潮梅地方一市十四縣を以て一區劃となし、監督機關として廣東省財政廳の下に潮梅禁烟督察處を置き其の隸下に各縣に督察分處を設置し禁烟行政の指揮監督、阿片稅收を處理した。又一方に販賣機關としては總承商(總請負人)一箇所を置き、同總承商の手に由つて各縣市別に承商(申請負人)各一箇所を設け、この承商は更に其の請負縣市内各區毎に分商(下請負人)各一箇所を設置し、同分商の手に由つて吸烟者又は售吸所(阿片を吸はせる小賣人)に販賣し、密賣買取締として監督機關は勿論販賣機關に於ても緝私隊を置き禁烟に關する司法權を附與したのである。

當時の請負責任販賣數量は汕頭市毎月一萬兩、潮安全縣八千兩、澄海全縣三千兩、潮陽全縣五千兩であつて、最盛期と雖も右數量を超過したことなく民國二十五年全國的禁烟命令と共に自然解消を見たのである。

(二) 事變後の制度

1 省政府成立前の制度

汕頭占領後、民國二十七年七月汕頭善後處理委員會に於ては事變前に於ける一切の稅收を恢復し、同年十月王昌盛をして禁烟行政を擔任させたのであるが市中の復興未だ緒に就かず之が爲成績の見るべきものがなかつた。翌二十八年に至つて代表を厦門公賣局に派遣し同月より毎月阿片烟膏三千兩の供給を受ける協定を成立せし

め、新に王炳英を禁烟局長に任命し全市の販賣を毎月三千兩として責任販賣の條件で通裕公司に請負させたのであるが、市内の復興が不充分であつたので惡結果に終つた。翌二十九年三月汕頭市政府はその成立と共に王昌盛を禁烟科長に任命し、販賣請負制を廢止して市直營に改め市金庫から法幣三十萬元を撥出して阿片の製造販賣を實施したのであるが機構が悪かつた爲約五箇月間で三萬餘元の赤字を出し、其の後粵東綏靖督辦公署(後東區行政督察專員公署となる)の成立と共に禁烟行政は鹽務行政と共に同公署に移管された。そこで同公署に於ては東區烟鹽公賣處(後東區禁烟督察處と改めた)を設置し、張偉辰を處長に任命して大々的に禁烟機構の整備に着手した。同處では興亞院華中連絡部行政院戒烟總局、上海宏濟善堂と折衝の結果、原料一切を中央より供給して貰ふことに協定が成立し、同年十一月販賣機關として東亞禁烟藥膏專賣所を設け、阿片の製造販賣を代行せしめることとなつた。その機構を表示すると次の如くである。

- 潮安縣分處
- 專員公署—東區禁烟督察處—澄海縣分處
- 潮陽縣分處
- 徵稅科
- 緝私隊
- 東區禁烟專賣所—總務科



2 省政府成立後の制度

廣東省政府成立後財政廳の潮汕地區に對する稅制統一に伴ひ禁烟行政機關として廣東禁烟局潮汕分局の設置を見、初代分局長として雷榮熙を任命した。販賣機關は從來の東區禁烟藥膏專賣所を潮汕戒烟藥膏專賣所と改め引續き營業を許可したが、税金は阿片烟土一兩を軍票七圓（從來は法幣五元）に引上げた外、督察處時代の賣上實績主義によらず毎月四萬兩（後に二萬兩に改めた）の責任販賣主義に改定した（後に廣東と同様實績によつて課稅することに改定した）。現在の機構は次の如くである。

潮安縣分所

潮陽縣分所

澄海縣分所

潮汕戒烟專賣所

廣東省財政廳—禁烟局—潮汕禁烟分局

二 配給系統及び關係法規

(一) 配給系統

1 東區禁烟督察處時代

—汕頭市分所—各區分銷處—售吸所

2 潮汕禁烟分局の現在

上海宏濟善堂—東區禁烟督察處—東區禁烟藥膏專賣所

—潮安縣分所—各區分銷處—售吸所

—澄海縣分所—各區分銷處—售吸所

—潮陽縣分所—各區分銷處—售吸所

汕頭市分銷處—售吸所（又は鑑札を有する患者に對し）

潮安縣分銷處—各區分銷代理—售吸所

澄海縣分銷處—各區分銷代理—售吸所

潮陽縣分銷處—各區分銷代理—售吸所

上海宏濟善堂—潮汕戒烟藥膏專賣所

(二) 關係法規

- 1 東區禁烟督察所各縣分處組織大綱
- 2 私烟毒品查緝暫行條例
- 3 私烟膏土檢舉處罰暫行辦法
- 4 東區禁烟藥膏專賣所暫行規則
- 5 東區禁烟藥膏專賣所暫行規則（華文）

- 6 東區禁烟藥膏專賣所辦事細則
- 7 廣東省禁烟局處理烟案暫行辦法
- 8 廣東省禁烟局檢查員辦事細則
- 9 潮汕戒烟藥膏專賣所暫行規則

(三) 保證金及び諸稅規定(現行)

阿片(烟土のこと)一兩に付き

税金軍票七圓
附加稅軍票四圓

保證金	專賣所	軍票	十萬圓
	分銷處	同	三千圓
	分銷代理處	保證人	
	特等售吸所	軍票	四百圓
	甲等售吸所	同	三百圓
	乙等售吸所	同	二百圓
	丙等售吸所	同	百圓

毎月の鑑札稅	丁等售吸所	同	六十圓
	戊等售吸所	同	三十圓
	專賣所	同	千圓
	分銷處	同	三百圓
	分銷代理處	同	六十圓
	特等售吸所	同	六十圓
	甲等售吸所	同	四十五圓

- 乙等售吸所 同 三十圓
- 丙等售吸所 同 十五圓
- 丁等售吸所 同 十圓
- 戊等售吸所 同 六圓

(1) 阿片税金は阿片到着と共に禁烟分局より專賣所に派遣せる監督員立會の下に包装を打開け、禁烟局の印紙を貼り數量に依つて規定通りの税金を專賣所より禁烟分局に納入する。

(2) 保證金及び毎月の鑑札稅は專賣所に於て取纏めの上其の都廳禁烟分局に納入する。



(3) 分銷處及び分銷代理處は右保證金を禁烟分局に供託する外專賣所に對しても保證人を立つる規定とする。

三 中 毒 患 者 及 び 需 給 狀 況

(一) 人口に對する患者數と消費量

民國二十九年興亞院華中連絡部に於て開催された全國阿片會議の報告に據ると全國の主なる都市の阿片患者比率は次の通りになつてゐる。

漢口	全人口に對し	三%	上海	全人口に對し	三%
厦門	同	四%	汕頭	同	三%
廣東	同	五%			

而して每人一箇月間に於ける消費量は最低五匁、最高五十匁、平均十匁と推算されるが、右によつて潮汕地區の消費量を算出すると次のやうになる。

阿片患者數

一箇月一人當り消費量 一兩(十匁)

一箇月間の需要總量 三萬兩

然るところ其の後各縣市共に人口増加を見せてゐるのであるから當然に消費量乃至需要總量の増加となるべき

であるが、主食の米さへ買へぬ無資力者の多くなつたこと、各地共に老人患者の死亡率の高いことなどから現在の患者比率は二%位に降つてゐるかと思はれ、それにインフレによる經濟不況で吸飲量の節減となり一人當り一箇月平均五、六匁の程度となつてゐる。

故に總消費量は次の程度と推定されてゐる。

汕頭市	毎月需要量	四、五〇〇兩
潮安縣	同	二、五〇〇兩
澄海縣	同	一、五〇〇兩
潮陽縣	同	一、五〇〇兩
計		一〇、〇〇〇兩

(二) 原料供給狀況

全國に於ける阿片(烟土)の供給は上海興亞院華中連絡部經濟三課指導の下に華中宏濟善堂之をなし、國民政府行政院戒烟總局の指揮監督で毎年九月各地配割當數量竝に原價を決定することとなつてゐるのである。

原價及び割當狀況は左の如くである。

民國三十年度(一兩に付き軍票十九圓)

漢口	八〇、〇〇〇兩	上海	二五〇、〇〇〇兩
厦門	三〇、〇〇〇兩	汕頭	一〇、〇〇〇兩
廣東	五〇、〇〇〇兩		
民國三十一年度（一兩に付き軍票十五圓六十錢）			
漢口	八〇、〇〇〇兩	上海	三〇〇、〇〇〇兩
厦門	四〇、〇〇〇兩	汕頭	二二、〇〇〇兩
廣東	一〇〇、〇〇〇兩		

然るところ民國三十一年度該地に於ては大々的なる阿片密作が行はれ、爲に販賣數量に一大違算を來し遂に割當數量の全額引取が不能となつた。

湖山地區の移入實績は次の如くである。

- 1 督察處時代の移入數量
民國二十九年八月より同三十年四月迄 一〇八、〇〇〇兩
- 2 潮汕戒烟藥膏專賣所の移入數量
民國三十年五月より同三十一年現在迄 一一〇、〇〇〇兩

四 販賣狀況

潮汕地區に於ける阿片販賣狀況は專賣制度確立當初に於て税金一兩に付き法幣五元で原價も安く従つて公定價格は法幣の五十元であつた爲毎月一萬數千兩の配給を受けて尙供給不足の狀況であつた。昨春地元で阿片密作が行はれたのであるが政府に於ても恰も機構改革の際で殆んど放任してゐた爲、脱税の私阿片として闇取引が盛に行はれ、殊に昭和十六年末税金の大幅引上（一兩に付き軍票七圓より十一圓になる）に加へ隣接敵地に貴州物が大量入荷し、一兩に付き法幣八十元で販賣され、それが潮汕地區内にも相當に流れ込んだ關係上販賣能力が減退し毎月一萬兩に下つて仕舞つた。昭和十七年春、密作阿片をそのままにしてゐた爲、殆ど全部が無課税の私阿片となり潮汕地區内に密賣されてゐる爲、販賣數量は遂には一萬兩を破り五千兩内外に激減した。

昭和十七年一月以降專賣所の販賣數量を調査すると次の如くである。

一月	一一、七七一兩	五月	三、三〇〇兩
二月	四、一〇〇兩	六月	二、〇〇〇兩
三月	四、三〇〇兩	七月	五、二〇〇兩
四月	三、〇〇〇兩		

(一) 販賣商人

1 東區禁烟藥膏專賣所（福東股份有限公司）

資本金法幣百萬元（一株五萬元 二十株）

日華合辦各二分の一引渡全額拂込

代表者 理事長 蔡恒三（中國）

副理事長 曾積玉（日本）

董事長 陳亦林（中國）

副董事長 王振謙（日本）

營業種目 阿片烟膏及び烟土の製造販賣之に伴ふ各地販賣機關の設置、阿片の運搬並に密賣買の取締

營業區域 粵東地區一圓

設立年月日 民國二十九年十月九日許可（東區禁烟督察處長と契約營業期間十年）

2 潮汕戒烟藥膏專賣所（興隆股份有限公司）

設立年月日 民國三十年四月二十四日（前公司を改組）

許可期間 一箇年間（省禁烟局）

資本金 法幣百五十萬元（日華合辦）

一株 五萬元 三十株 全額拂込済

代表者 理事長 陳亦林（中國）

副理事長 曾積玉（日本）

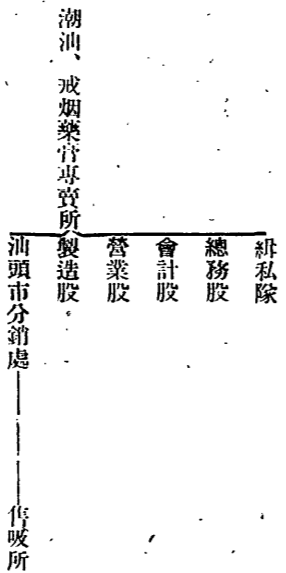
董事長 王振謙（日本）

副董事長 張燕西（中國）

營業種目 阿片烟土及び烟膏の專賣權並に製權之に伴ふ專賣機關の設置並に阿片の運搬及び密賣買の取締

營業區域 粵東地區一圓

(二) 販賣組織及び方法



潮安縣分銷處—各區代理處—售吸所
 澄海縣分銷處—各區代理處—售吸所
 潮陽縣分銷處—各區代理處—售吸所

- (1) 分銷處は仲賣所で縣市毎に一軒之を設置し、分銷代理處は仲賣代理店で一區毎に一軒之を設置し、何れも一定の區域内にて營業するものである。
 - (2) 售吸所は小賣所で阿片を吸食させる烟館である。
 - (3) 自宅で吸食するものは禁烟分局及び同分所の自吸特許證(税金毎月甲等三十圓、乙等二十圓、丙等六圓)を申請し直接分銷處より阿片を購入するのである。
 - (4) 分銷處、同代理處及び售吸所は專賣所に於て之を證衝し申し禁烟分局に於て之を許可するのである。
 - (5) 汕頭市を除く各地への阿片配給には特定の配給員を置き特務機關汕頭支部發行の搬出許可證(地元産阿片搬入の際には搬入許可證の外に其の都府專賣所から配給數量、目的地、日時を記入した配給證並に禁烟分局の運銷證を携行し各檢問所の検査を受けるのである)。
 - (6) 阿片の販賣は凡て通帳に記入捺印する。
- (三) 公定價格及び通貨

阿片の公定價格は禁烟局に於て之を制定公布するが之が制定方法は生産原價に專賣機關の利潤(專賣所一割、分銷處五分、同代理處五分)を加へたものを以て決定する。而して生産原價は仕入原價が法幣の變動によつて高低を見るので其の變動毎に改訂布告をなすのであるが試みに近時の變動を示すと次の如くである。

民國三十年五月—九月	一兩に付	法幣	六五元
同 十月—十一月二十一日	同	同	七五元
同 十一月二十二日—十二月二十三日	同	同	一一〇元
同 三十年十二月二十四日—三十一年七月末	同	同	二二四元四角
同 三十一年八月	同	儲備券	六二元二角

現在實施してゐる公定價格は售吸所の賣値は規定してゐないが大體五分の利益を加へたものを賣値としてゐる。こゝに注目すべきことは一兩の原價が儲備券で一四八元五角を要するのに六二元二角で販賣してゐることである。これに就いては販賣商人が相當損失(六、七の二箇月間の損失法幣二十餘萬元)を覺悟でこの難局を乗切らんとしてゐるのであるが、其の裏面には次のやうな事情も伏在するのである。

- (1) 目下軍票對儲備券は十八圓であるが仕入當時は軍票一對法幣四であつた爲、ストック品は割安についてゐる。



- (2) 現在直ちに値上げすると吸烟者が一兩約五十元の密作品を買ふことになり將來の販路を色々縮少する恐れがある。
- (3) 今直ちに値上げすると地元産阿片の買上げに重大影響を及ぼす(密作品の買上げは公價に沿ひ値上げせねばならぬ。
- (4) 公定價格の安いのに付け込んで將來の値上げを見越し買溜する傾向があるので専賣所に於ては最近制限を實施してゐる。更に販賣の通貨は變動の少い軍票を使用するのを最も理想とするのであるが、潮汕地區には軍票が少く殊に田舎では殆ど入手困難なので兼には法幣を以て通貨となし、最近は儲備券の進出と共に八月一日からは儲備券使用に改訂した。

五 密作 狀況

- (一) 昭和十六年の密作狀況
 昭和十六年の密作狀況は植付面積潮安縣約二萬畝、澄海縣約千畝、潮陽縣數百畝、計約二萬四千四百畝である。この收穫阿片豫想約百萬兩、これは無課税であるため當初一兩に付き法幣三十元で密賣買され、目下百元内外に騰貴してゐる。然るところ政府に在つては前年同様收穫期迄に何等對處の策を樹てず放任して置いた所、昭和十七年六月十五日に至つて潮汕禁烟分局長より專賣所に買上計畫を命令し、一方廣東省財政廳の下に東區烟苗善後委員會が成立し、六月二十六日同委員會對專賣所との間に左の如き要項に依つて契約が成立した。
- (二) 昭和十七年の密作狀況

- 1 買上期間 開始より二箇月間
 - 2 買上數量 最低限度十萬兩
 - 3 買上價格 一兩に付き法幣六十元(其の後儲備券四十元に値上げた)
 - 4 供託保證金 法幣五十萬元
 - 5 稅 金 一兩に付き軍票十一圓(但し地區外搬出の場合には一兩に付き法幣四十元)
 - 6 買上者の利潤 一割
 - 7 委員、縣長、禁烟局員は買上に協力すべきこと
- 然るところ收穫以來相當の日時を経過したことゝて現物は殆ど異動したつたものらしく、而も政府側の援助が不十分なので成績が極めて悪く、八月五日迄の買上げ總量は僅に四千餘兩であつた。これでは到底十萬兩買上げ



など思ひもよらぬ實情なのであつた。
買上公司の組織を擧げると次の如くである。

1 東區烟苗善後委員會

主任委員 許少榮(その後何處に代つた)

委員 雷榮熙(後免職になつた)

陳獻猷 陳輔國 陳宗凱 李漢

陳慶餘 余一鳴

2 東區烟苗運銷料興隆合股股份有限公司

許可年月日 民國三十年六月二十六日

資本金 法幣一千萬元

第一回拂込 三百萬元

日華合辦 各二分の一引受

代表者 理事長 陳亦林(中國側)

副理事長 曾積玉(日本)

(三)

取 締

營業種目 阿片烟土買收製造販賣並に之に伴ふ緝私權

董事長 王振謙(日本)

副董事長 張燕田(中國)

由來禁烟對策は中國に於ける行政上の一大難事であると共に、財政上重要な役割を占めて居り之が完全なる目的遂行に於ては販賣(配給)機構の整備と相俟つて緝私(密作密賣買取締)の如何に依る所甚大である。然るに政府側の取締員として東區烟苗善後委員會には一人も配置せず僅に禁烟分局に調査員二名があるが、これも廣東出身で地元地理は勿論潮汕地區事情も悉知せず全く闇を探ぐる状態である。各縣警察をして之に協力させてゐるもの、警察は檢舉時に於ける立會のみである。更に販賣及び買收商人に調査員があるが、是は調査のみで檢舉取締の権限はなく、況や密作、密賣の背後に権力ある公務人員が控へてゐる。之が徹底を期するのは百年河清を待つが如きものである。

六 將來に對する對策

將來に對する對策として次の如き意見を述べるものがある。

1 長官に禁烟行政に對し經驗ある有能の士を置き各縣傍系機構の強化を図ること。

- 2 來春密作する者を断然誅殺に附すること。
 - 3 今期密作阿片の買上を各縣長に責任を負はせ登記名簿に照し強制買上實施すること。
 - 4 密作密輸賣買に對する密告報酬を高め取締緝私隊員を強化すること。
 - 5 阿片税金(印紙税)の統一を圖ること。
- 現在各地の印紙税は次の如くである。(一兩に付き)。

厦 門 五 圓 上 海 五 圓
 廣 東 七 圓 汕 頭 十一圓

- 6 商人は巨額の資本を投じそれが監督機關の改革變動及び法幣の下落又は密作等に依り相當缺損をしたのに付き販賣機關も立ち行ける様援助せぬのであると禁烟による財政獲得は困難である。
 - 7 臺灣の專賣制に倣ひ販賣機關の許可期間を三年制とすること。
 - 8 實際の消費數量よりも多い責任販賣請負制は賄賂を行はしめる原因となるばかりでなく、阿片獎勵となる恐れがあるから飽迄も戒烟獎勵の立前を嚴守し無限多賣主義を廢して賣上實績によつて徵稅することとして禁烟政策に副ふやうにすべきである。
- (汕頭出張員事務所)

最近に於ける廣東地區物價の動向

四月來の廣東地區に於ける物價の騰勢は上海に於ける綿糸布強買上に因り一時投機筋の買出動手控へられた爲頭打ちの状態を示したが伊太利政變、シチリヤ島撤收並に東部戦線に於ける赤軍の攻勢等歐洲戦局の進展に伴ひ敵側の根柢なきデマが頻々と流布せられ、華人筋は全く之に乗せられて儲備券に對する信用が頓に薄らぎ、爲に換物人氣が旺盛となり、金塊の暴騰を筆頭に米弗並に周邊地區に於ける舊法幣の昂騰を來たし、之が最近の奥地舊幣建の土産物資の急騰、延びては移入物資の騰貴を招來せる所以であると觀察せられる。茲に七月下旬(伊太利政變前後)以降八月二十八日現在迄の金塊、米弗並に舊法幣及び主要物資の相場の騰勢を示せば左の如くである。

一 金塊、米弗並に舊法幣相場			
七月下旬	八月二十日		
八月二十八日			
金塊(一〇匁、軍票建)	六八八圓	一、〇七〇圓	一、二六〇圓
米弗(五〇弗及百弗券一〇〇弗對軍票)	七三〇圓賣	七二〇圓賣	八二〇圓賣
舊法幣(儲備券一〇〇元對舊幣)	二〇〇—二二〇元	一四〇—一五〇元	一六〇—一六五元

軍の油頭撤退、さては廣東地區の日本軍も近く撤退せん等々）に乗せられたことに因るものであるから斯かる惡質のデマを取締る一方積極的に有效なる宣傳を以て之を粉碎することは對策として最も手取早く又効果的であるやうに考へられる。尤も理論的には儲備券インフレの抑制、裏付物資の效果的放出、舊法幣による操作、囤積（買溜の意）の取締等も對策としては一應考へ得られるものであるが、之が爲に支拂ふべき犠牲を考慮に容れる必要があり、又過去の苦き經驗に徴し之により果して如何程の効果が得られるかは疑はしいものがある。彼此按ずるに物價は先高と觀られ依て此際必要な物資は凡ゆる資金を動員して確保すること賢明なるべく、必要あらば對華新政策に進行する嫌ひあるも、權力を行使して八月騰勢前の水準にて強制買上を斷行することも一案であらうとせられてゐる。（華 銀）

海口金融事情概況（昭和十八年第二・四半期）

一 市 況

本期の市況は前期末より引續き活氣を呈し、土産物質の出廻は依然頗調旺盛で、殊に六月に入り端午節を迎へて市況は愈々活潑となり、土産物の出廻り就中土産糖は一段と盛況を呈した。然し乍ら四月には米の搬入が前月に比

し三十九萬四千二百斤（約二十四圓）の搬入減と、その後には於ける第一期土産米が天候不順のため出廻が鈍くなつたとに因つて米價は日を逐ふて奔騰した。即ち昨年中に於ける海口市内の土産米卸相場は百斤につき最高六十八圓、最低三十圓、平均四十一圓五十六錢であつたものが本年に入るに及んで逐月昂騰の趨勢を辿り、四月中の平均價格百斤八十五圓の處、五月中には一躍最高百六十圓（五月十日）を唱へ、月末には百三十五圓の高値を持續して越月したのである。而して六月に入つても尙新米の搬入は圓滑でなく、爲に米價は依然安定せず、本月の最高値は百六十一圓であつた。米價の昂騰により一般物價の値上りも著しく、民衆は生活に益々脅威が増加する現狀で、米價の引下は急務中の急務として重要視されて居る。因に本期中に於ける出廻り土産品の内主なるものは次表の如くである。

土産物出廻狀況表

品 名	四 月		五 月		六 月		合 計	備 考
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)		
米	2,300,000斤	23,000,000	2,300,000斤	23,000,000	2,300,000斤	23,000,000	1,500,000斤瓊山、定安	
葉 煙	2,500,000斤	25,000,000	2,500,000斤	25,000,000	2,500,000斤	25,000,000	瓊山、澄邁	
草 糖	2,500,000斤	25,000,000	2,500,000斤	25,000,000	2,500,000斤	25,000,000	瓊山	
白 糖	2,500,000斤	25,000,000	2,500,000斤	25,000,000	2,500,000斤	25,000,000	瓊山	

(一) 移入

瓊崖貿易協會の統計によれば本期中に於ける移出入状況は次表の如くである。

二 貿易状況

品目	計	四月	五月	六月	合計
糖	1,315,000	500,000	366,000	449,000	1,315,000
魚	1,600,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	1,600,000
豚肉	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
木	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
牛	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
土	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
糖十(乾燥糖)	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
茶	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
檳榔	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
石花菜(染料)	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
其他	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
合計	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000

移入状況表 (單位圓)

品目	四月		五月		六月		合計
	廣東	上海	廣東	上海	廣東	上海	
糖	500,000	366,000	449,000	449,000	449,000	449,000	1,315,000
魚	1,600,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	1,600,000
豚肉	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
木	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
牛	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
土	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
糖十(乾燥糖)	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
茶	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
檳榔	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
石花菜(染料)	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
其他	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
合計	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000

(二) 移出

移出状況表 (單位圓)

品目	四月		五月		六月		合計
	上海	廣東	上海	廣東	上海	廣東	
糖	500,000	366,000	449,000	449,000	449,000	449,000	1,315,000
魚	1,600,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	1,600,000
豚肉	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
木	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
牛	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
土	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
糖十(乾燥糖)	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
茶	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
檳榔	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
石花菜(染料)	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
其他	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
合計	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000

積	一六〇、七三四	四八、四八〇	二〇九、二一四
西瓜種子	三八、四五三		三八、四五三
染料	一一、一五二		一一、一五二
牛豚	三五、〇五五		三五、〇五五
其他		三九、一五八	三九、一五八
計		八七、六三八	三三四、〇三二

三 其他特記事項

(一) 香港、海南島交易協定

大東亞共榮圏内物資交流の活潑化に即應して、香港、海南島交易協定が締結せられた。本協定實施期間は本年四月一日より明年三月三十一日迄の一箇年間で、軍票決済によつて行はれ、香港積出し海南島向け物資はマツチ、漢藥、運動靴、地下足袋、綿製品その他で、金額は百五十萬圓、海南島積出し香港向け物資は鹽その他合計八十萬六千圓で、海南島は巨額の入超となつて居る。

(二) 特別圓爲替の集中

海南島に於ける大東亞共榮圏内各地との爲替決済は四月一日以降特別圓爲替に依ることとなり、この爲替資金は

臺灣銀行海口支店をして集中管理せしめることになつて居るが、本件第一回分は五月一日に四月中の取引を一括集中し、次回分よりは毎旬實施することになつて居る。

(三) 貸出金承認制度の改正

海南島の開發進展に伴ひ島内に於ける放出額の膨脹に依り本島の資金も潤澤となつたので、之が圓滑なる運用を計るため資金貸出承認の権限を改正し、全面的に大藏省より特務部に委任されることとなつた。

(四) 臨時資金調整規程の實施

海南島に於ける資金の運用に適切なる調整を加へ、資金の圓滑なる運用を期するため、曩に貸出金の全面的制限を撤廢したので、六月一日より本令の公布を見たのである。本規定中の主なる事項を列挙すれば次の如くである。

- 1 資金の種類を設備、運轉及び其の他の資金の三種に分け、夫々につき不要許可制限を設けたこと。
 - 2 銀行よりの借入金に依らずして事業の設備等を爲さんとする場合に許可を要すること。
 - 3 五萬圓以上の大口貸出先の報告を徴し、當時貸出内容の考査に資せしめたこと。
 - 4 許可申請書の様式を整備したこと。
- (五) 爲替管理規定の制定

従つて本稿に於てタイ人の生活上宗教を考慮する場合殆ど佛教以外の宗教を考へる必要はない。タイ國の佛教は所謂小乘佛教であり、名實共に國教となつてゐる。又凡ゆる個人の日常生活の隅々迄深く浸透し、これを規正してゐる。男子は一生の中一度は必ず佛門に入つて受戒得度の上越くも三箇月は僧侶生活を體驗することゝなつてゐる。近時生活上の必要から止むを得ず僧侶生活期間を一箇月或は三週間に短縮する様な事も行はれるが、中流以上の家庭では今尙古來の習慣を墨守してゐる。この國の國民教育は從來全く寺院に於て行はれて來た。近時教育制度が漸次普及し、近代的學校が建立さるゝ様になつても地方等では依然寺院の本堂等を教室に充てゝ居るものが多い。

従つて寺院の國民教育に對する寄與は今尙甚大であり、僧侶は一般民衆の尊崇的となつてゐる。全國一萬八千の寺院及び其の中に安んずる佛像、畫像等は其まゝ此の國の藝術を代表してゐる。凡ゆる公私の儀式、典禮には必ず僧侶の參列譚經を行ひ、一般人の日常の挨拶も合掌を以てする。斯く佛教の影響は國民生活の隅々まで浸透してゐると同時に、これに依つて生じたる精神的影響は更に重大である。即ち殺生を忌む事、金錢を蔑視すること等を根幹とするタイ人の社會的活動への影響は種々なる形態に於て重大なる結果を生じてゐるのである。

近時タイ政府は國民の商業心、企業心誘發に鋭意努力してゐるにも拘らず、その結果は抄々しからず凡て金錢を取扱ふ職業たる商業を蔑み利殖を事とする企業に投資するを好まない風がある結果、産業資本の蓄積は行はれず

革命以來政府のモットーであつた工業立國も到底所期の成果を擧げ得なかつた次第である。

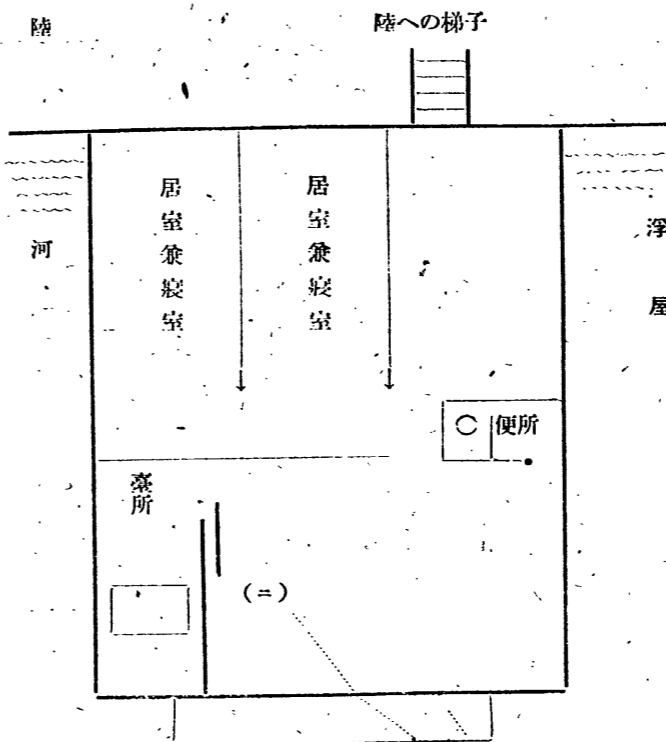
タイ民衆の醫學的常識に就いては後述する通りであるが、都市居住者の一部を除いては極めて低級であり、一度病を得た場合は可なり富裕なる者でも先づ佛陀の加護を祈禱し、重態に陥つて初めて醫院を訪ふ。此國の約九割を占むる一般農民の如きは一生を通じて殆ど全く醫師の診断を乞ふが如き事はないと云つてよい。後述する如く各郡各村には大體に於て夫々官營或は赤十字の健康相談所があり、殆ど無料で簡單なる問診投藥を行つて居るが進んで診断を乞ふことは稀である。

南洋各地に於ける住民が一般に近代醫學に親しまないのは云ふ迄もなく民度が低く醫學的常識に缺けてゐる爲であるが、更に近代醫學の浸潤が妨げられてゐる一つの理由は斯かる住民が宗教を盲信し病は總て神罰、佛罰或は惡靈の爲す業とし、科學的療法の如きは却て神佛の意に逆ふものとしてゐるが爲である。

二 個人の日常生活

一家一屋

古來タイ國では水運が過一的に發達した關係上吾々が道路に面して家を建てる如くタイ人は水系に向つてその畔に家や部落を作る。首都整谷も往時はやはり其の通りであつたが近時道路の發達に依り一部分を除いては斯様な風景は見られなくなつた。即ち整谷市域では商店街は宛然支那の都市の如く一般官吏の住む住宅街は全く



水上より約一尺乃至一尺五寸位幅
約三尺のプラット・ホーム
こゝではゴザ等を敷き晝寝をす
る。其他一、二の藤椅子等もあ
る。
浮屋は二乃至三隻の平底船上に普
通のチーク材を以て建てる。屋根
は通常の家同様ニツバ椰子等で急
勾配に葺く。
河上では常に小舟に依つて物資が
來り、各種雜貨、小間物始め氷水
冷しコーヒー、フルーツ、シロッ
プ等を賣る。

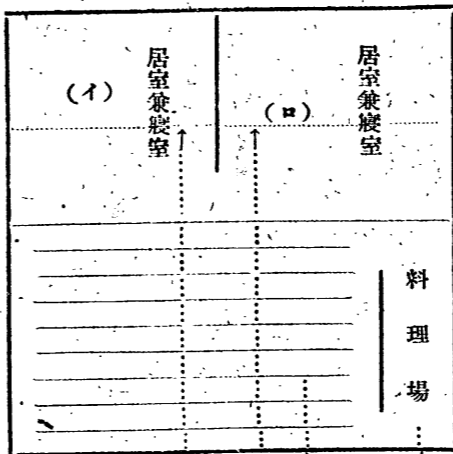
右に示した二家屋は共に政府官吏(局長及び課長)の生家であり、筆者がアユチアの彼等の生家に招待せられた
る際詳さに實見したものである。云ふまでもなく右兩家共に商業を營んで居るわけではないが隣接する無数の
浮屋では(=)を店に充て各種の商品を陳列してゐる。買物に行く場合は(=)或は(ハ)に立つて差し招けば直ちに貨物
舟が寄つて來る。而して斯様な生活をしてゐる民衆は兎も角も一應近代的生活様式を採つてゐるのであり、従
つて病氣の場合等は科學的藥品等をも使用する。

次に此の國の人口の大部分を占める農民の家屋に就いて見よう。農民の住家は地方に依り多少の相違は免がれ
ないが(即ち中部では一般に氾濫の際水位が高くなり、又長期に亙る爲一般に床が高く山岳地帯では一般に床
がそれ程高くなく特に小高い丘の上等に家を建てる)、一般に間取りの様式等は大した相違はなく頗る簡單
である。貧富に依つて寢室兼居室が或は三つ四つもあり、ベランダの廣いものもあるが、大體に於て様式は
同じである。唯特に富裕なものは特別な間取りの家に住む場合もある。來客接待室が家自體の大半を占むる如
き場合も大家にあつては珍しくない。尚便所は不淨の場所として家の中に設けず屋敷の端に簡單なものを設け
るか或は全然設けない。屋敷は普通二つ或は三つに區切り一劃は嚴重な柵で圍ひ、其中に家畜を飼ふ。二つ區
切りの場合はこの柵のある方に家を建て、平均約二米に及ぶ縁の下には自由に家畜類が入り得る様にし、食物
の残り物其他をほとんど上から投下する。これは犬、豚其他が間も無く綺麗にかたづけられる。又夜は家畜類を縁

の下へ入れて寝かす。これに依つて家畜盗難等も防ぎ得るわけである。屋敷内には竹其他の植物を植ゑ、日中家畜が日光の直射をさげ得る様にする。

家屋の建築材料は柱、床、根太等には主としてチークを用ひ白蟻の害を防ぐ。壁には普通割竹を編んで張り、屋根は草、ニツパ椰子の葉等で急勾配に葺く。

五〇



料理場と云つても極めて簡單であり、單に煮焼き道具があるのみである。

此處では晝寝、夕涼み等をする。

此處は仕切があるのではなく、細い板で印を付け寢臺を置く場所と居場所に區切りを付ける。親しい友人等は此の部屋へ通す。

(イ)の間に仕切壁のない場合もある。又料理場が家と離れてゐる場合もある。

二 衣服

近時澎湃として起つた國民生活改善運動に依り、特に首都盤谷等に於ては一般の服装に極めて大なる變化を來してゐるが、タイ人本來の衣服は印度より傳來したバヌンである。地方都市等に於ては依然これを日常用ひて居り、首都居住者にして平素洋服を用ひて居る者でも自宅に於てはバヌンで寛ぐ事が多い。

バヌンは長さ七呎幅二呎半の布で之を腰から下部にかけ後から前に巻いて結び餘つた兩端は摺つて股間を通じ背面に廻して巻いた布に捻ぢ込み、男は一般に此の上にバンドを締める。前方より見ると膝を覆ふ半ズボンに似て居るが、後方は太股の下部を三角形に露出してゐる。

最近バヌンは文明人の服装として適しからずとの理由で官吏は勿論一般人も公共の場所に於てバヌンを用ひる事が禁止された結果、盤谷市街等では全くバヌン姿を見ないが、従來は男はバヌンの上に一般に白の詰襟服を上體に着け靴下及び白靴を用ひてゐた。又女はわづかに乳を覆ふに足るパホムと呼ぶスカーフを上體に着け外出の際は此の上にジャケツ又は歐式ブラウスを用ひてゐた。現在盤谷で見かける男女の服装は、男は殆ど例外無しに白又は季節に依つて薄灰色の洋服を用ひ主としてソフト帽(茶色多し)を被る。南洋各地では大體ヘルメット帽をよく見るのであるが、タイ國では比較的少ない。尙帽子及び靴は各々法令に依つて強制されてゐるので(特に官吏に對し)勿論靴を用ひる。但し支那街等ではサンダル、スリッパ等も多い。女も殆ど例外なく

洋装であるがワンピースは少ない。上流階級では中々立派なものを着けてゐるが、其他は殆ど裝飾も無い白の上衣に濃紺又は黒のスカート等を着け、麥稈帽等を被つてゐる。市の郊外等に住む下層階級の婦人はダブダブの圓筒形のスカート様のものを腰に着け、上體はわづかに普通の乳バンドを着けてゐるに過ぎない。地方農民に至つては男女共に上體は裸出し麥稈帽を被つてゐる。穀谷等の都會地では女は例外なく電髪をしてゐるが、地方ではタイ國古來の風習通り女も斬髪して居るので慣れないと屢々男女を混同する。農民の子供或は都會地でも下層階級の子供は殆ど裸體で男女共に我國の所謂坊主刈りにしてゐるので、バスの窓から見たのでは一寸男女の判別が付かない。

以上總じて衣服は極めて簡單で済み、従つて一般の家計上に占むる衣服の割合は極めて少額に止まる。

(三) 食物

主食物は云ふ迄もなく米である。醫師から米食を禁じられた患者は死を覺悟すると云はれる位に米に執着を持つてゐる。北部タイでは糯米を主食にしてゐるが、(タイ人と云つても北部のそれはラオ人である)其他のタイ族は淡白なるタイ米を好み、而も煮飯の際生ずる糊水は全て之を排除する。副食物は主として魚類及びカレーである。魚類は生のもの、乾製又は鹽漬のもの或はカピと稱する半ば腐敗した臭の強い小魚類の練物を賞用する。一般に佛教觀念に依り魚肉以外の肉類は餘り用ひない。魚類は殺生戒の特例として百姓も農事の餘暇に

ば盛んに淡水魚を漁撈する。魚類には少量の野菜又は果實類を添へて用ひ、カレーはタイ料理中最美のものとしてゐる。以上の食物は朝夕二回之を小皿に盛り、指で巧みに口中に投げ込んで食べる。野菜は種類が頗る豊富であるが大抵香りが高く其上殆ど生のまゝ食へるので馴れない者には不向である。富裕な者が客を招待する場合は極めて念入りな料理を整へる。數人の召使を使つて夜を徹して料理する場合が珍しくないと云はれる。此の種の料理は頗る手の込んだものであり極めて美しい。大皿にうづ高く盛られた小さな花籠の夫々には色とりどりの花が二ばい挿してある。これ等の花籠は籠自體も、花も全部生の野菜で出来てゐるのであるがその精巧なのは實に驚く許りである。「食ふは一時、作るは三晩」と云ふ。總じて食糧は豊富で大なる勞力を要せずして飽食し得る結果一般に怠惰となるのは已むを得ない處であらう。

(四) 習慣

タイの文明中に古代的な特徴を見ようとするならば葬式に於て最も顯著である。死者の財産、身分等に依つて程度の差はあるが、總じて葬式には多額の出費を惜まない。これは佛教國として極めて自然のことであるが、この様に葬式に多額の出費をするのは支那及び我國に於けるが如く祖先崇拜の念からのみとは考へ得ない。英人キヤムベルも其著「二十世紀のタイ」の中に「死骸に對する敬虔の念は過去に於ける祖先崇拜の或る殘存型態である。それが如何に永い間行き互つてゐたかは不明であるが現代タイに於ては、支那の宗教を實際に造り

上げた所の祖先崇拜に符合する如きものは全くない。これはタイ人の生活に於て極めて顯著なことであり、重要な事は彼等がお祭の性質そのものを非常に愛好することである。タイ人は本質的に未來よりも現在に生きる國民なのである。そして吾々の眼に映する最も特徴的な自己解放は彼等にあつては寧ろ普通の日常生活そのものであり、習慣であるに過ぎないのである」と述べてゐる。即ちタイには祖先崇拜が支那の様には行はれて居らず仰々しい葬式も祖先崇拜の念から出たのではなく昔からの習慣と、タイ人が元來お祭好きの國民であると云ふ二つの點に依るものとしてゐる。

タイ人は實にお祭騒ぎの好きな國民である。出生より死亡までの一生涯には個人としては生後一箇月に行はれる剃髮式から命名式、成年式、得度式、結婚式、葬式と夫々大仰な儀式を行ふ他、年中行事として新年、紀元節、釋迦降誕成道祭、革命記念祭、安居祭、天長節、憲法發布記念日等の國際日や始耕祭、收穫祭、法衣供養祭等々夫々二日乃至數日の休日を取つてお祭り騒ぎをする。葬式にお祭騒ぎをするといふのは一寸不思議の様であるが、實際はお祭りである。

次に個人の出生から死に至るまでの主なる儀式に就いて述べることにする。

1 出生

出産に當つては先づ入念に産室の魔除けを行ふ。嬰兒には行水を施し、産婦は板に俯臥させて焚火で温め

る。一箇月後に親戚、知己及びト者等を招いて剃髮式を行ひ、頭髮を全部又は前部を少しく残して剃落す。そろ／＼歩行を初める頃になると易者を招いて命名式を擧げる。此時迄約一箇年間特に名前は附けず男はアイデーン、女はメーデンといふ愛稱で呼ぶ。命名に當つては慎重に易者に見て貰つて良い名を附ける。然し其後に至つて不運が続いたり子供が大病をしたりすると、早速易者に再卜を乞ひ名前を變へる。嬰兒は極度に甘やかされる。四、五歳以後は頭髮を小判形に伸ばし油で束ねる。此頃から漸次衣服を用ひる。剃髮式や命名式に當つては貧富に依つて差はあるが夫々大勢の客を招いて賑やかな儀式を行ふ。これ等の儀式は屢々屋外の廣場、クローンの側等の芝生で行ふので地方旅行中等往々これを見かける。

2 成年式

頭の頂に小判形に残した髪は男女共に十歳乃至十五歳迄の間に剃落す。これが成年式である。成年式の日取りの吉凶は一生の運命を左右すると信ぜられてゐるので易者を招いて特に慎重に選擇する。式典は數日に亘つて行はれ僧侶の他俳優を多數雇つて芝居を演ぜしめる。但しこの儀式は近時次第に廢れて來てゐる。

3 得度式

既に述べた如く、男子は一生に一度佛門に入るが通常二十歳前後に之を行ふ。得度式の數日前より連日親戚知己を招いて盛大なる祝宴を張り僧侶を招いて供養する當日に至ると自宅に於て得度し、綺羅びやかな衣服

を纏ひ、圓錐形の冠を被り參集者、近隣の美女、諸種の假裝者等の美々しい行列を従へて寺院に乘込む。寺院に於ては院主以下全僧の讀經があり、次いで院主は當人に戒律を口傳し、聖水を灌ぎ、法衣に着更へを命じて之に托鉢と團扇を與へる。右の次第は釋迦遁世成道を象徴するもので、美服は釋尊時代の王侯の正裝を眞似たものであり太子時代の榮華を意味する。行列に加はる美女等は誘惑と無常感を、法衣の着更へはその解脱を意味するといふ。要するに人間は一度俗世を離れて托鉢生活に入らなければ完全な成人にはなれないといふ佛教思想に基くもので、人間生活に必要な形式と心得、巨費を投じて盛大に舉行するのである。

4 結婚

男子は普通二十二、三歳、女子は十六、七歳で結婚する。(現行婚姻法は男子満十七歳、女子満十五歳以上と規定してゐるが地方では一般に早く、都市生活者、特に知識階級にあつては近時結婚年齢が著しく遅れ、卅歳位迄獨身で居る者も珍しくない。これ等の場合は凡ゆる點に於て、古來のタイの傳統習慣と異なる形式を採る場合が多い。)結婚は當事者の感情に頓着なく、親や兄弟等身内同志で決定される場合が多い。然し當事者たる青年は豫め目星を付けた女に自信のある場合は、知人又は兩親に意中を披いて周旋を依頼する場合もある。式典は黃道吉日を下して妻の家で行ふ。當日花婿は知人に伴はれて樂隊入りで妻の家に練り込み牛、豚、果實等を妻の兩親に贈る。妻の家では前日より佛像に結付けた惡魔除けの聖絲を家の周圍に巡らして待つ。

先づ數名の佛僧は夫婦の將來の幸福を祈つて讀經し、新郎新婦は僧侶の歸去後別宅の特別の臺に座し、バラモン僧又は介添人に依り上記の聖絲を頭に連結して貰ふ。爾後兩肘をついて横坐りになり合掌した夫婦の掌中に列席者が順次聖水を灌ぐ。式後二人揃つて客を歡待する。翌日も讀經があり、後一本の杓子を夫婦兩人で支へ、協力して僧侶に飯を布施する。此の間面白いのは列席の先輩知己が交々立つて祝辭を述べ、後「新郎は結婚前多數の戀愛事件があつた」と語つて祝辭を結ぶのが一般の慣例となつてゐる事である。

然し以上の様な念入りの儀式を行ふのは相當裕福な者であり、下層階級では二人相携へて數日間駈落をなし、後兩親の許可を得男より女及び其兩親に簡單な贈物をして成立する。兩親等のない者同志の間では自由結婚が屢々行はれる。

富裕な者は其の經濟力の許す範圍に於て妾を蓄へる。往時は富者が屢々數十人乃至百人位に及ぶ妾を持つ場合が珍しくなかつた。斯様な場合正妻が全妾並に其子供達に對する統制權を持つ。正妻以外には結婚に當つても、離婚に當つても何等法律的な手續を必要としない。

結婚に關する法律は一八九八年チユラロン王に依つて發布されて以來二、三回の改變を見たが、一九三四年一月發布された婚姻法に依つて始めて戸籍上一夫一婦のみ認める事となつた。次いで一九三五年三月、人民議會は結婚年齢規定(男滿十七歳、女滿十五歳)を包括したところの民法及び商法の第五條を可決し

た。これに依つて同年十月一日からタイに於ける婚姻は全部法律に依り登録を行はねばならなくなつた。然しながら實際には中々申告されず、一九三五年の結婚登録令發布以來約七年間に及ぶ現在（一九四二年七月末現在）に於て總届数は僅かに二十七萬八千に過ぎず、殊に一九四一年には三萬六千八百八件に過ぎなかつたので最近内務省では届出奨勵に大重になつてゐる。

5 葬式

先づ人が死ぬと湯灌（但し水を使用）を施して盛装し、淨土の通門料となる貨幣を口中に銜へさせ僧侶の讀經と奏樂裡に納棺する。此の際富裕なる者は多數の泣手を雇つて號泣せしめる。棺は主なる部屋に設けた壇上に乗せ、我國の佛式に依ると同様の飾付けを行ふ。而して其のまゝ一、二晝夜の間時折讀經しては樂を奏し乍ら通夜を行ひ寺院に運んで茶毘に附するのであるが、火葬式は普通數日に亙つて繼續され、此の間連日祈禱や宗教的な儀式が行はれる他芝居や角力、競技等を行ひ、煙火を打上げて氣勢を添へるので全くこれが葬式とは思はれない。會葬者は念入りに料理された食物を飽食し、貧民も金錢を施された上美食を振舞はれるので皆嬉々として談笑してゐる。葬式にして此の通りであるから普通の祭日は推して知るべしである。

(五) 農民の生活

最後に農民の一日の生活を概説すると（都會生活者の日課は大體に於て他の近代國家のそれと大差なし）先づ

日の出と共に起き出す。タイ國に於ては日出、日没の時間の差が四季を通じて日本の如く甚しく大ではない。農民は收穫期であると否とに拘らず、日出を以て朝と心得て起き上る。起き上ると同時に先づ近くのクローン（堀運河）へ飛び込むか或は浮屋の場合は突出シブラット・ホームでバケツ等を用ひて水浴をする。水浴後は別に體をふかなくても直ぐ乾く。朝食は普通午前七時から九時迄の間に攝る。繁閑に従つて或は朝食を辨當に詰めて野外で食事をする事も多い。此の國の農業は撒種（特に田植を行ふ場合もあるが）後刈入れ迄殆ど勞力を要しないので農民は時々害鳥威嚇を行つたり、自家用の漁撈を行つたりする他、頗る悠暢な生活をして居り、煙草を吸つたり、檳榔子を噛み乍ら近隣の者同志で雑談をして時を過す。檳榔子を噛む風習は都市、農村を通じて盛んに行はれ、首都盤谷等でも街路上に赤い唾を吐く者が可なりある。晝食は別に攝らない。都會の街角等でサムロー（三輪自轉車）の運轉手等が晝頃手掴みで食事をしてゐるのを見かけるが、これは晝食ではなく朝食の遅れたものである。尤もバナ、其他の果實等を喰べる。夕食は大體五時から七時頃攝る。夕食後は各戸毎にあるベランダで夕涼みをする。一年中で最も暑熱の酷しい四月でも午後五時頃になれば、涼風徐ろに吹いて來て、殊に農村等では凌ぎ良い。就床は勿論人に依り相違するが、就床前には必ず寢室に安置する佛像に對して禮拜をする。一日の無事を感謝し、安らかな眠りを祈るのである。（朝は普通禮拜しない）尙佛像には供物等を行はない。僅に花等を供へる他我國の如く食物の膳や線香、蠟燭等を供へることはない。これは都市に



於ても同様である。

二 タイ國の醫療施設

一 衛生行政機構

タイ國衛生行政は現在厚生省に屬してゐる。從來は内務省の一局たる衛生局に於て國內衛生行政を全般的に取扱ふこととなつてゐたものであるが、其の活動の實際は主として豫算僅少の爲、單に各縣、郡、村等に連絡設置せる公營病院並に診療所の充實とか、マラリヤ撲滅對策等に限られてゐた。然るに昨年三月タイ政府は衛生局を擴大して一省とし、厚生省を設けて一般國民の保健衛生は勿論、衛生思想の普及、藥劑の研究、大學の醫學教育指導等一切の衛生、保健行政を一括して同省の管下に置くこととなつた。即ち厚生省の機構は大臣官房、次官室、醫務局、大學醫學教育局、藥劑局、勞働局等となつて居り、單に衛生行政のみならず、進んで失業者の就職斡旋等をも管轄して厚生行政の一員を計つたのである。

二 醫師數・醫業狀態

然しながら厚生省の新設を以て直ちにタイ國衛生施設の劃期的改善を期待することは出来ない。即ち現狀に於ては醫療施設も未だ甚しく未發達であり、又國民一般の衛生常識の如きも極めて低級であるが、これ等は到底一朝一夕にして改め得ないであらう。以下醫療施設の個々に就いて述べるに先立ち、この國に於ける所謂醫

學の實際際化、醫業狀態一般に就いて概見しよう。

タイに於ける醫師の數は公表がないので推測に依る他なく、或は一等醫、二等醫を合して約五百名と云ひ（シヤム篇及び昭和十一年訪暹經濟使節團報告書）、或は一等醫約八百名、二等醫約一千五百名とも云ふ（昭和十七年訪泰醫學親善使節團報告書）。此處に云ふ一等醫、二等醫とはタイ國に於て用ひてゐる醫師の等級であり、一等醫とはタイ國又は外國に於て正規の醫學教育を受け、且つタイ政府に於て行ふ一定の試験に合格したる者を云ひ、二等醫とは一等醫の許に七年以上或は病院に五箇年以上勤務し、實地に經驗ある者の中から特に醫師たる事を許された者を云ふのである。

左表は一九三〇年の統計で古きに失するがタイに於ける醫療の概略は推察し得るであらう。現在に於ては有資格即ち一等醫の數も二等醫の數も共に遙かに増加してゐるが、後述する様に醫學教育が未だ充分發達せず、醫育機關の數も少いので特に一等醫の増加は飛躍的ではあり得ないと思はれる。

近代醫學に依る醫療者數表

醫師	齒科醫師	藥劑師	助産婦	看護婦	マッサージ師	計
有資格 (一)	有資格	有資格	有資格	有資格	有資格	
無資格 (二)	無資格	無資格	無資格	無資格	無資格	

近代醫學教育を受けざる醫療者數表

一八三	七四	三	五六	二五	一一〇	一五〇	一四	一六	一	六三一
醫師	藥劑師	助産婦	結核	マツサージ師	計					
一、八五〇	六三二	二二	二七九	二、八八二						

右表から推測して一等醫約八百名とするは多少多きに失する様に思はれるが假に一等醫、二等醫合計二千三百名とする前記訪泰醫學親善使節團報告書中の推計を以てしても全人口約一千六百萬として人口十萬人當り醫師數は十五人に過ぎず、若し一等醫のみを考慮すれば僅か五人であり、これを我國の十萬人當り九十人（總て一等醫に相當）に比すれば甚しき醫師稀薄である。

一等醫は大部分チユロコン大學を卒業せるものであるが、外國人醫師にして一等醫の資格を有する者も二、三十人に及ぶ。タイ人一等醫の大部分は醫官となつて居り、バンコック市又は地方の官立病院に勤務するか或は軍屬となつてゐる。現在バンコックに開業するタイ人一等醫は約二十名に過ぎない。

日本人醫師は現在約二十名で、バンコックに開業中の醫院には小川病院、神谷醫院、江尻醫院、小田醫院、横

田醫院、博愛醫院、洪醫院其他齒科醫院等十餘醫院を算する。又日の出藥局、日泰藥局等あり、日の出藥局主故鹽田氏は民間藥を自製してタイ人間にも有名であつた。

外人醫師としては獨佛人が多い。従つて大東亞戰爭勃發後も殆ど引續き開業してゐる。又地方に存在する宣教師等も大部分小規模の藥局を經營し、所謂問診投藥式の治療を行つて居り、之は一般タイ人間にも相當浸潤してゐる。

更に忘却し得ないのは漢方醫の存在である。其の數は明らかでないが、タイ華僑數約二百五十萬（タイ政府發表では約五十萬）と云はれ、而もこれ等華僑は一度病を得れば先づ漢方醫を頼るので其の數も相當數に上るものと思はれる。有名な支那人街ラーチャウォン通り其他の支那人街にも隨所に漢方藥賣店を見る。

以上總じて醫業狀態一般を見るに衛生常識の低級なる一般タイ人は上述の如き甚しき醫師不足にも何等苦痛を感じず、病魔一度到れば其の跳梁に委せ、單に得體の知れない草根木皮の類を用ひるか、或は惡靈退散の祈禱等を行ふ他、殆ど放擲して顧みないのが普通である。都市に於て病院等に診斷を請ふ者は極めて少數の有識層に限られ、一般タイ人の如きは政府が官費に近き診察をなして居るにも拘らず所謂賣藥療法を以て糊塗し、重態に陥らざれば醫師の治療を請はないのが常である。斯かる結果は今日のタイ國人口増加率の上にも大なる暗影を投じつゝあり、現に乳兒死亡率の如きも約十八%の高率を示し（日本は約十二・四%）平均壽命僅かに二十



五歳といふが如き有様を示して居るのである。
三 病院、醫院

病院、醫院等の数は盤谷以外では極めて少く、わづかに各縣或は郡に公營の病院、診療所等があるに過ぎない。首都盤谷及び其近郊に於ける病院の主なるものを挙げれば

- チユロンコーン王記念病院
- ソムデツチ病院
- チユロンコーン大學醫學部附屬シーラチャ病院
- 公立中央病院
- 公立傳染病院
- 公立精神病院
- 公立ワチラ産婦人科病院
- 公立皮膚科病院
- 公立癩病院

等で他に厚生省の健康相談所、簡易診療所等が數箇所にある。

一 赤十字社管下の病院、研究所

タイ國赤十字社はタイに於ける醫學の進歩及び公衆衛生に甚大なる役割を果してゐる。而して其の管下にはチユロンコーン王記念病院、ソムデツチ病院、サオベ研究所を首め、地方主要都市に約十箇所の病院、數十箇所の健康相談所を有する。左表は其の活動状況の概要である。

赤十字社管下病院の活動状況表

一 赤十字社管下病院の患者受付數	
一九四一年	前年(一九四〇年)
三八一、八六〇(件)	三五六、三八〇
二 發行せる處方箋	
二六〇、二八(枚)	一三〇、〇〇(約)
三 無料にて施したるワクチン及び血清注射薬代	
一一〇、八八〇(銖)	一三〇、二八(約)



1 チュラローン王記念病院

チュラローン王記念病院は齋谷市街地を離れた廣潤の地にあり、附近の文化住宅街には我が大使館員其他の邦人が多数在住してゐる。同病院は其規模に於ても設備に於ても正にタイ國唯一の大病院で病床四百餘に及び、外來診療室も各科共に整備されて居る。又外來患者數も後述する大學附屬病院以上である。

過ぐる一八九三年タイ佛紛争に當つて、傷病兵救護のためラーマ五世チュラローン大王の後援を得て始めてタイ國赤十字社が設立され、後兩國に和平成立するや一時其の活動は事實上停止してゐたが、偶々ラーマ六世ワチラウツド王が皇太子當時、わが日本を訪問、赤十字病院を見學されて深き感銘を得、歸國後赤十字病院を設立し、父王の名を附してチュラローン王記念病院と呼んだのが本院の創立である。

2- サオバ研究所

サオバ研究所は正しくはサオバ女王記念研究所であり、赤十字社科學部に屬してゐる。チュラローン王病院の右隣りにあり、舗装道路及びこれに沿ふクローンを距て、同じく廣々とした庭を持つてゐる。其の創立は一九〇三年に遡るが本格的研究所となつたのは一九一〇年頃である。一九一三年今日の位置に移

轉し、一九一七年赤十字社の管下に入つたのである。

現在では厚生省に藥劑局が設けられ、専門に藥劑の研究を行ふこととなつてゐるが、従來は同研究所が唯一の近代的醫學研究所であり特にワクチン、血清等の研究に努めて來たものであつた。現在各地の醫院診療所で使用するワクチン、血清液等は總て本研究所の製造にかゝるものであり、特に毒蛇血清液は國內の需要を充たすのみならず年々近隣諸邦に輸出を行つてゐる。以下同研究所に就いてや、詳しく述べることにする。

先づ研究所の機構は

(1) ワクチン部

イ、細菌課 ロ、痘苗課 ハ、狂犬病課

(2) 血清部

イ、血清課 ロ、毒蛇課

(3) 調査部

等に分れ、診療所は晝夜共に開放されて居り、狂犬病、毒蛇咬傷等急を要する治療に備へてゐる。更に各課の活動を見るに

1 ワクチン部
イ 細菌課

研究所に於て製造する細菌ワクチンの種類及び製造量は左表の通りである。(数字の單位はコレラワクチンのみ Dose、其他は立方種)
サオハ研究所細菌ワクチン製造表

種 類	一九三二	一九三三	一九三四	一九三五	一九三六
ベストワクチン	三二、三四二	一五、二五四	一三、五六八	四、六八〇	二九〇
コレラワクチン	二五七、二五五	八六、二九一	八二、三八五	二、八九四、六〇三	三、〇七一、〇六八
チブスワクチン	一八、八九八	二、五三四	二二、五五二	一〇、〇三〇	七、七一六
チブスコレラワクチン	ノ九四、〇〇二	一二四、四〇六	一五七、三九二	三六七、四五〇	二五四、八四〇
淋菌ワクチン	一六、七三二	一五、八二〇	二〇、二七六	一九、四五六	一九、三三二
スタフィロコカスワクチン	九二四	五五〇	五九八	七七八	一、〇六〇

オートヂエナスワクチン	八三〇	五五六	一七四	三〇〇	五八〇
ブーヨーソワクチン	二、八四〇	二四〇	一、〇四〇	二、八一〇	〇
動物用狂犬病ワクチン	二六、三三〇	一一、二三〇	七、八四〇	八、〇八〇	五、一一〇

右の他一九三三年までは動物用ワクチン數種を製造して居たが、現在は動物ワクチンとしては狂犬病ワクチンのみを製造してゐる。

ロ 痘苗課

タイに於ける痘苗製造は一九〇一年より行はれて居り、當初は牛を用ひてゐたが、一九一〇年頃より牛の代りに水牛を用ひて以來製品も改良され、量も多くなつた。培養作業は毎年十一月以降二月の間に行ふ。左表は過去十箇年間に於ける種痘用ワクチン製造量である。

サオハ研究所の種痘用ワクチン製造表 (單位立方種)

年 度	一九二七	一九二八	一九二九	一九三〇	一九三一	一九三二	一九三三	一九三四	一九三五	一九三六
チユーブ	一、五、五九	三、七、七〇	三、三、七三	三、七、四六	三、六、六六	三、七、二七	一、七、七〇	一、五、四六	三、四、〇六	一、五、〇〇

ハ 狂犬病課

狂犬病ワクチン製造にはバストール氏接種法及び石炭酸接種法の二種を行つてゐる。現在本部では二種共に使用してゐるが、地方へは石炭酸ワクチンのみを送つてゐる。従つて特に輸出品等を使用する場合の他地方の病院、醫院、診療所等では石炭酸ワクチンのみを使用してゐる。左表は狂犬病ワクチン使用の結果を示す。

狂犬病ワクチン使用結果表

年 度	本 部 で 行 ひ た る も の			石 炭 酸 ワ ク チ ン		
	取 扱 件 数	死 亡 数	死 亡 率 %	取 扱 件 数	死 亡 数	死 亡 率 %
一九三三	三六八	〇	〇	九〇九	五	〇・五五
一九三二	三七三	三	〇・八〇	七五七	八	一・〇五
一九三一	四二九	三	〇・六九	七八三	五	〇・六二

一九三四	四〇〇	一	〇・二五	一、〇四五	五	〇・四七
一九三五	三三九	一	〇・二九	一、〇五九	三	〇・二八

本部以外に於て行ひたるもの

年 度	バ ス ト ー ル 氏 法 ワ ク チ ン			石 炭 酸 ワ ク チ ン		
	取 扱 件 数	死 亡 数	死 亡 率 %	取 扱 件 数	死 亡 数	死 亡 率 %
一九三一	一一一	〇	〇	三六六	〇	〇
一九三二				四九四	一	〇・二〇
一九三三				六一七	五	〇・八一
一九三四				一、四一七	三	〇・二二
一九三五				一、六四五	三	〇・一八

(2) 血清部

イ 血清課

血清課では連鎖球菌、破傷風、チフテリア、ペスト、毒性セラ等の豫防及び治療血清液を製造し、且つ實際の治療を行つてゐる。

ロ 毒蛇課

サオバ研究所は毒蛇園に依つて有名である。特殊な飼育場にはコブラ、キングコブラ其他各種の毒蛇を飼養し、毎週木曜午前十時に蛇使ひが毒蛇の唾液を採取するが常に多数の參觀人で賑ふ。
左表は毒蛇血清液使用量である。

毒蛇血清液使用量表 (單位立方種)

年 度	國 内 使 用 量			國 外 輸 出 量		
	コリュエー ブリダエ	バイブリダエ	ホリバレント	コリュエー ブリダエ	バイブリダエ	ホリバレント
一九三二	二、六一〇	四、二九〇	二八、四八〇	〇	八〇	一、二〇〇

(3) 調査部

調査部に於ては疫病に關する一般的調査、解剖學、細菌學、生物化學等を研究し、疫病に關する正しき診斷と治療に誤りなき様不斷の努力を行つてゐる。又更に一般個人の研究に就いても實驗室、圖書室の無料開放等各種の便宜を與へる他、獎勵事業をも積極的に行つてゐる。然しながら我國の某醫學博士の語るところに依れば「調査部は全く目新しき活動をなして居らず、其の原因は良き指導者のない爲である」との事である。

ニ 其他の公立病院

チュラロンコン大學醫學部附屬シーラチャ病院

一九三三	四一〇	一〇、三二〇	三四、三四〇	六〇	六〇	一、一六〇
一九三四	一、四九〇	四、〇二〇	五八、六八〇	一一〇	一一〇	一、四六〇
一九三五	一、九六〇	三、二一〇	五七、一〇〇	〇	〇	二、八四〇
一九三六	三、六〇〇	一、六五〇	七八、三二〇	一二〇	六〇	三、三二〇

本病院は同學部に隣接し、一八八八年病院として正式に開院した。それ以前は臨時コレラ患者收容所として建設されたものであつたが、一八八九年大學醫學部の設置と共に其の附屬病院となつたものである。病室は各敷箇所に獨立して立てられ、現在の收容能力は病床數約四百、其他に小兒用搖籃六十三、マヒドーン殿下記念館には私用ベッド十九、看護人用ベッド六臺付病院がある。總じて通風遮光に特別意を用ひた近代的病院である。X線装置はアメリカ式であり、醫療器具其の他は英獨製である。

2 公立中央病院

本病院はバンコック市の中央部にあり、病床百五十、内科及び外科を主としてゐる。

3 公立ワチラ産婦人科病院

本病院は近代的建築様式の病院で産婦人科の他現在では大體各科を設備してゐる。病室は同じく百五十位あり、其の名稱の通り産科に力を入れてゐる。産室はアメリカ式で産兒の集團入浴等を行ふ完備せる設備がある。

4 公立精神病院

本病院はメナム河に架せられたるラーマー一世記念橋を渡つたトンブリ地區のやゝ下流にあり、現在患者數約二千、大部分の患者に種々の手工、簡單なる工作々業を行はしめてゐる。

5 公立傳染病院

本病院は精神病院の近くにあるが、設備の點に於ても問題とならず、傳染病豫防方面の積極的施設にも大なる缺陷がある。後述する様に(タイ人の疾病参照)此の國に於て最も多い疾病たるチフス、コレラが共に法定傳染病となつて居らず、従つて届出の必要がなく保菌者が平氣で歩いてゐる現状では本病院に入院する患者の少いのも當然である。

6 公立皮膚科病院

本病院は新築の二階建て階下は外來患者室になつて居り、大體日に百五十人位の患者がある。第四性病患者も相當あり、我が井田氏梅毒反應を使用してゐると云はれる。二階は約三十のベッドがあり、梅毒各期の患者が多い。尙本病院附屬の内外婦人科相談所も賑つてゐる。

7 公立癩病院

本病院もメナム河下流にあるが規模設備共に大した事なく、後述のアメリカ病院とは比較にならない。以上は大體公立病院である。其他に私立病院も可なりあるが、何れも小規模であり、既に醫業一般の項に概述した通りである。地方には舊行政區劃に依る全國十一州の州廳所在地に官立病院があり、各郡の郡役所には夫々分院がある。又郡内の村役場所在地には中央に村役場があり、其の左右に警察署と健康相談所とが

小さい乍ら並置されてゐるのが常である。州病院、郡分院は大體チュラロインコーン大學出身者が醫師に従事してゐるが、各村診療所の醫師は大部分極めて程度の低い二等醫で他に看護婦、助産婦が各一名づゝ配置されてゐるに過ぎない。

三 私立病院

私立病院としては外國人に依る大規模なものが二、三ある。即ち北部チェンマイ市の郊外にある米人經營の癩療養院は特に有名で歴史も古く現在收容患者數約五百五十人、内婦人百五十人に及んでゐる。又同じくチェンマイ市にはマコルミツク病院があり、同じく米人醫師の經營にかゝり病床約百を有する。但しこれ等の米人經營病院は大東亞戦後はタイ政府に於て接收經營して居る様である。何れにしても之等の病院は後述するチュラロインコーン大學醫學部に對するロツクフエラー財團の多額の寄附と共に米國のタイに對する文化工作の中樞をなすものであり、各國のタイに於ける各種文化工作中米國のそれが最もタイ人に依つて素直に受け入れられ米國への留學生が近年飛躍的に増加しつゝあつた事情を示すものである。

四 醫育機關

國家に依る醫育機關としては現在首都バンコックにあるチュラロインコーン大學醫學部及びロツプリの市官立醫學專門學校の二つのみである。近時政府は醫育教育擴充の必要を痛感し、チュラロインコーン大學醫學

部を同大學より分離擴大して獨立の醫科大學とする方針と云はれるが、更に昨年七月には厚生省に於て新に女學生に對し醫學知識を授ける爲、各枝に醫術訓練科を設ける旨發表を見た。又ロツプリア醫學專門學校の大學昇格は既に決定されてゐる。

チュラロインコーン大學はタイ國唯一の綜合大學で大學本館は市の中央より稍東北郊外に近き閑靜の地にあるが、醫學部は附屬のシーラチャ病院と共に本館とは反對のメナム河に臨んだトンブリ側にあり、學部長は現在總長を兼ねてゐるブラア・パン氏である。シーラチャ病院は大學醫學部の附屬といふ事になつてゐるが事實上學部がシーラチャ病院の一研究部内の如き觀を呈してゐる。學制は大學豫科二年、本科四年の六箇年制であるが更に三箇年間シーラチャ病院で實習を行ふことが例になつてゐる。大學の機構は過去に於て屢々變更されたが、現機構に依る第一回卒業生は一九二九年に十八名を出し、爾來現在までに約二百五十名の卒業生を出してゐる。學部の機構は基礎醫學部では解剖、生理、病理の三教室に分れ、生理教室内には藥理學が含まれ、病理教室内には細菌學、寄生蟲學、公衆衛生學が含まれてゐる。臨床方面では内科、外科、婦人科、レントゲン科教室に分れ、内科内には小兒科、神經科、皮膚毒科があり、外科内には眼科、耳鼻喉科が含まれてゐる。科各主任は現在皆タイ人であり一般に少壯である。基礎醫學各科に於ては實驗室や器具等も一應整備されてゐるが、臨床方面では小兒科、神經科、皮膚科、耳鼻喉科等が未だ獨立せず、内科、外科の

諸	一、三三八	其	二五、四九〇
伊	一八、九〇八	合	二、七九七、七五三
太		計	
利		他	
威			

八〇

而して右表中香港、昭南（舊シンガポール）及び彼南よりの輸入は殆ど單に之等諸港經由に依りタイ國に輸入されたるものであり、従つて更に之を分拆し、その輸入先を検討しなければならぬのであるが、彼南に就いては資料が無いので此處では香港及び昭南に就いてのみ輸入先を國別に見る。

香港經由にてタイ國に輸入せられたる藥品の輸入額（一九三九年—一九四〇年）

國名	金額（銖）	國名	金額（銖）
アルゼンチン	二、一五〇	東	四一八
支那	七二五、八一五	英	一、六三九
ド	九、八九七	ア	五、九八一
香	五九、六三二	メ	一、〇五〇
印	二五	リ	
日	一三、五〇二	カ	
本		計	八二〇、二九〇
合			

昭南港經由にてタイ國に輸入せられたる藥品の輸入額（一九三九年—一九四〇年）

國名	金額（銖）	國名	金額（銖）
漆	二二七	聯	八
馬	四	本	二〇三八
緬	二二	東	九、五二〇
カ	六、〇三六	印	四七三
支	一三、九四四	ス	一六八、八〇七
佛	二九	昭	一一四
獨	一八、七一	瑞	二二〇
香	五六八	南	一、四四七
ハ	七六八	亞	三九、七五三
印	一七、一六二	米	七、五〇八
伊	八〇一	合	二八八、五八一
太		計	
利			

以上の三表に依つて明らかなる事は支那よりの輸入が圧倒的に多いことである。これは云ふまでもなく草根、木皮を主材とする漢方薬であり、其の總額は香港、昭南よりの輸入を合して八十四萬四千七百三十九銖

八一

を示し、全藥品輸入額の三割強に及んでゐる。

次いで多いのは英國及び獨逸であり、本邦よりの輸出も近年漸増の傾向を示し、一九三九—四〇年度に於ては東印度に次いで第四位を占むるに至つた。英獨よりの輸入藥劑は殆ど凡ゆる種類に及び、殊に血清、ワクチン其の他抗毒注射藥等に就いては獨逸が斷然多く、米英が之に次ぎ、其の他は問題にならない。又キニネは約八割を東印度より輸入して居り、一割六分を英國より輸入してゐる。

云ふまでもなく大東亞戰勃發後は英獨佛其の他西歐諸國よりの輸入は全く杜絶し、キニネに就いても蘭印が我占領地下に入るに至つたので今後は化學藥品及びキニネ等重要藥品は全面的に本邦に頼らざるを得なくなつた。漢方藥に就いてもその輸入は著減を豫想されてゐるが猶相當のストックは在るものと思はれるので化學藥品の如く急速なる缺乏は來たさなうであらう。

次に現行關稅法に據る藥品及び藥用植物、醫療器具類の輸入關稅率を示す。

税番	品名	稅率	
		從價	課稅單位 單位當り稅率
△第十一部化學藥品、醫藥品並に化粧品			

五三 化學藥品

品名	稅率
イ、明 礬	〇、〇二
ロ、カルシウム、カーバイト、ナフタリン・ボール、礫砂、カーボネートオブソーダ、ピカーボネートオブソーダ(含曹達灰)、晒粉	〇、〇三
ハ、硝石、苛性曹達	〇、〇四
ニ、クロライドオブアムモニア各種	〇、〇五
ホ、カーボネートオブアムモニア及びピカーボネートオブアムモニア(、硫酸(結晶其他))	〇、〇六
ト、クロレートオブポタッシュ	〇、〇七
チ、ウッド・ナツタリ、醋酸	〇、〇八
ス、酒石酸	〇、〇一〇
ル、ポタシウム・アイオダイド	〇、〇二〇
藥劑、藥品及藥用植物	無稅
イ、血清、ワクチン並に皮下注射用各種生物學的藥劑	無稅
ロ、キニネ、其他規那のアルカロイド品、政府の官報に發表する	無稅

ことに依り實施さるべき税關長令に規定する事あるべきマラリア治療に對する奏效價值を公認されたる合成劑

ア、次項(ニ)に規定せる包装以外の醫藥用油類即ち肝油並に精油、揮發油以外の藥用油類

ニ、藥用膠膏、錠劑、丸藥、ウェーファース、香錠、タブレット、プロイド、ピルス其の他の口中投藥用品

ホ、人參

ハ、藥用草木、草木の部位、種子及び果實、但し他の項に特記されざるか乃至は含まれざるもの

一、粉末ならざるもの

二、粉 末

ト、藥治又は治療用膏藥、發泡膏及び軟膏(他の項目に含まざるもの)

チ、ペトリウム・ジェリー(ワセリン)

リ、口中投藥用藥、但し他の項目に特記されざるものにして小賣さるべきもの

無税

八四

液體	固體	立	瓦	瓦	瓦	瓦	立	立
〇、二〇	〇、二〇	〇、一五	〇、四〇	〇、二〇	〇、一四	〇、〇一	〇、七〇	〇、二〇

無税

備 考

五五

一、本項目下の藥劑に對する輸入申告書には該藥が全然酒精を含まざるか或は純分酒精含量は五%未満なる旨證明するを要す

二、純分酒精五%以上を含む藥劑は税番三六(ホ)の項に酒精として課税さるべし

外科醫、内科一般醫、齒科醫及び眼科醫用器具及び材料

人體の畸形矯正治療用或は畸形狀態を軽減する爲、乃至は人體の部位を代用すべき器具類(含副木)イヤチューブ、半響者用聽音器、外科醫、内科一般醫用器具類、眼科醫用、トライアルケース、ソレーム、眼鏡、眼鏡レンズ、ブレン、スペクタクル・ケース、視力検査用カード及び圖表

外科醫、内科一般醫及び齒科醫用諸材料、即ち帶ガーズ、リント網索、生綿、ホロプラスチック・フェルト、絆創膏(但し醫治用を含まず)海綿パップ、帶、腸綿、殺菌其の他の縫糸、義齒、齒冠セルロイド・ブランク、ベイスプレート、デンムアー・ストレングスナー、ガタバーチャ・チック、ホイイント及びプレート、アメズー・アブゾーメント、ホウセン・パウダー、エナメル・インセ

五%

八五

五八	五七	五六
化粧用品	左記防腐殺菌劑	イス、モデリング・コンポジション、インヴェストメント及びア ブゾーベント・ペーパー クロホルム、イーザー・ビュリーフイケーター、サルファリック・ イーザー及びアイオドフォーム
イ、練歯磨、歯粉、口中洗滌用品及び其の他の磨齒料 ロ、(香油なりしも一九三七年三月二十六日取消さる) ハ、ヘアクリーム、プリランティーン、毛髪油、毛髪染、ヘアボ マード、(他の項目に明記なきもの) ニ、無臭米粉及びタルカムパウダー ホ、其の他一切の口、齒、毛髪及び皮膚と共に使用するべき化粧品 類但し石鹼を除外	加水に依り自然に消毒劑となるべき薬品を製造すべきアルカリと 混合したる酸並に政府官報に發表する事に依り實施されるべき税關 令に規定する、其の他の消毒劑	無税
無税	無税	無税
液體	液體	液體
立	立	立
〇、六〇	〇、四〇	〇、九〇

八六

五九	六〇
天然又は人造の精油又は香油	石鹼
イ、官報に發表することに依り實施せらるべき税關長令に規定さ るべき薬用のもの ロ、其他の種類 除外例、人造精油又は香油にして天然油を混入せざるものは 若し輸入に當り左記規定に従ふなれば本項の下に課税さるべ し 1 天然油を混入せざる旨並に該人造油の名稱を申告するこ と	若し本項の下に課税さるべき化粧品が小賣向の體裁を備へたる容 器に入れて輸入されたる時斯かる容器の重量は課税算定上これを 含めて課税す 天然又は人造の精油又は香油 イ、官報に發表することに依り實施せらるべき税關長令に規定さ るべき薬用のもの ロ、其他の種類 除外例、人造精油又は香油にして天然油を混入せざるものは 若し輸入に當り左記規定に従ふなれば本項の下に課税さるべ し 1 天然油を混入せざる旨並に該人造油の名稱を申告するこ と
立	立
三、五〇	〇、三〇 〇、〇八

備考

八七

六 一般民衆の醫療費

タイ人の醫學的常識の低級なることに依つてタイ國一般民衆の醫療費の僅少なることは既に述べた通りであるが、尙參考の爲若干の數字を擧げることとする。但しこの數字はアンドリュースの「第二回タイ國農村經濟概況」より引用したものであり、可なり古く而も各種の理由に依り（早大助教授杉山清氏著泰國農業に於ける土地問題参照）必ずしも正鵠を射て居るか如何かは疑問であるが、參考になし得るものであると思はれる。

醫療費支出年額（單位銖）				
東	北	南	北	中
部	部	部	部	部
〇・五二	二・九三	一・四七	五・四五	

右表に依り明らかなる如く醫療費の最も多いのは中部であるが、假に同地方の戸當り一箇年の收支關係を見ると、收入二九二銖二九サタン、支出二八六銖六七サタン、其の内臨時支出（醫療費、宗教費、社交費、賭事、臨時雜費等）合計三三二銖五五サタンとなつて居る。醫療費は總支出の二%弱で百分率から云へば取へ

て異とするに足らないが一箇年五銖は何分にも僅少である。然し特殊な場合には醫療費は莫大なる額に上る事もある。即ち前掲アンドリュースの著書の一部を引用すると左の如く述べられてゐる。（同書二五七頁参照）

タイに於ては軽い疾病は殆ど問題にされない。市場に於て販賣する各種の非科學的藥品で間に合せ。これ等の大部分は草根木皮であり、ジャングルから無償で蒐集したものである。時には疾病の原因と信ぜられてゐる悪靈を退散する爲祈禱者が雇はれることもある。然しこれ等の悪靈は最も屢々果實や花弁等の單なる供物で宥められる。然し重症になると時々莫大な金子を要する。尤もそれは各人の支拂能力に應じて決定される。治療は普通非科學的方法で殆ど無意味、無價値である場合が多いが、或種の支那人が珍重する藥劑は途方もなく莫大な値で富裕なタイ人に賣られる。要するにタイの地方に於ける醫療費は殆ど問題にならぬ少額であるか、或は想像以上に莫大なものである。

三 タイ人の疾病

タイに於ける疾病の種類は殆ど凡ゆるものを網羅すると云つて良い。然し特に顯著なのは先進文明國に於て著しく減少しつつある傳染病及び寄生蟲病が今尙猛威を振つてゐることである。

現在タイ政府では（一）コレラ（二）ペスト（三）天然痘（四）流行性腦脊髄炎（五）黄熱の五種を法定傳染病として二十四時間以内に届出せしめることとしてゐる。然し此の法定傳染病はアメリカの法定傳染病を其のまゝ採

つたものであり、甚しくタイ國の實情に即せざるものである。即ち黄熱の如きは全くタイでは存在しない病氣であり、又マラリア、赤痢、チフス等は最も猖獗を極める傳染病であるにも拘らず法定傳染病ならざる爲届出の必要が無いこととなつてゐる。病院等に於てさへチフスが法定傳染病ならざる爲他の種の患者と同室するといふ有様である。法定以外の傳染病としては麻疹、百日咳、デフテリア、猩紅熱、水痘、腸チフス、バラチフス、赤痢、脾臓炎、流行性耳下腺炎、デング熱、狂犬病、インフルエンザ、肺炎、流行性腦炎、結核、癩、性病、フィラリア病、トラホーム等である。

以下主なる風土病、地方病に就いて述べることにする。

一 タイ國の自然的環境

風土病を述べるに先立ち一應その自然的環境、即ち氣候、風土に就いて概観する必要がある。

タイ國は北緯約五度半より二十度半、東經約九十七度より百六度の間に亘り、全國熱帶圏に位する。各地方の特種事情に依つて氣温、降雨等に可成りの差異はあるが、全體的に四季を通じて頗る氣温が高い。首都盤谷では年平均氣温約二十七度で十二月の最涼季には朝夕約二十度に低下するが四月の平均最高氣温は三十三度を超え、半島部では大體に於て四季を通じて凌ぎ良いが北部山嶽地帯、東部コーラート高原地帯等では海風の影響も及ばず週邊一帯が山脈に遮斷されてゐる爲、空氣の流動少く副射熱が大きく、氣温極差は可成りの開きを生ずる。

全國に於ける一年間の平均降雨量は約一千六百耗であり(中部平野は一、四〇〇耗)毎年九月乃至十月には中部大平野に氾濫がある。氾濫後には疫病の流行するのが毎年の例である。

既にタイ人の生活の項に於て述べた如く、その衣食住は甚だ恵まれて居り一年中を通じて衣は頗る簡單で足り、食糧は又極めて豊富なので殆ど何等の苦勞無しで生活し得るのであるが、斯かる安易な生活が永年に亘つてタイ人をして漸次肉體的にも精神的にも弱体化せしめ、その日常生活にも何等の工夫を行ふ等といふ事はなく、住家の如きも都會の歐式又は文化住宅は別として、地方一般民衆の如きは素人數人の手で二、三日もすれば完成するほどのものであり、且つ家畜と雑居し殆ど掃除もしないといふ有様なので不潔を極めてゐる。又國內到處縦横に貫流する河川、運河等に於て朝夕水を浴びたり、洗濯をし、更に尿管の處理が一切この河川、運河に於てなされるのであるがこれ等河川の流水は頗る緩慢であり従つて滯水流水の汚染は甚しく傳染病蔓延に絶好の條件を備へてゐる。斯かる状態であるからコレラ、腸チフス、赤痢等の急性傳染病が一度勃發した場合は忽ちにして蔓延するのである。

二 主たる風土病

(一) マラリア

タイ國に於て凡ゆる疫病中其の罹病者數の最も多いのはマラリアである。本病は全國を通じて發生するが特に北部山岳地帯及び半島南部のシンゴラ、ナサンを中心とする地方に多い。之等の地方では大體住民の約一割

がマラリアの發作を有し、發熱してゐると云はれ、最近或は既往に發作をもつて居た者乃至は慢性症になつてゐるものを採り上げると殆ど全部がマラリア患者であると云ひ得る。

一九三八年度に於けるマラリアに依る死亡数は全國を通じて三萬四千四百三十八人となつて居り、全死亡者數二十二萬五千四百七十五人に對し實に一分を越え、斷然他の傳染病死亡數を壓してゐる。タイ國のマラリアは全部所謂熱帯マラリアであり極めて悪性である。瘧型に昏睡型及び寒冷型の二種あり、大體前者八割、後者二割位の割合である。昏睡型は腦症を發し意識瀕濁若しくは消失し昏睡状態に陥るもので往々三週間又はそれ以上も眠り続けることがある。熱は往々三十八度内外の比較的低いものが少くない。寒冷型は激しい吐瀉下痢を起し急速に衰弱する。之が慢性に移行すると著しい脾腫を生ずる。

此の恐る可き風土病の撲滅に就いては政府に於ても種々對策を講じてゐるけれども、何分にもタイ國に於けるマラリア媒介蚊たるアノフェレスの種類が頗る多く、種類の異なるに伴つて其の習性も異り、甚しいはその好適發生條件が相反するものさへもある爲、之が徹底的撲滅は容易ならぬ問題である。

バナマ運河掘鑿に當つてのゴークスの苦心は人口に膾炙された所であるが、タイの如き地形（即ち平坦にして常に氾濫し易く、水流が緩慢で、且つ適度の日光の照射に依つてアノフェレス蚊の成長に好適の水温となるが如き）に於ては更に一層の困難があるであらう。然しながら首都盤谷やチェンマイ、シンゴラ、アユチャ等

の都市の市内では下水設備も完備してゐるのでマラリアの發生は極めて少ない。

(二) デング熱

デング熱は南洋風土病としては最も普通のものであり、最近頗る多くなつた。邦人旅行者等も少しく長期に亘つて滞在する者は殆ど本症に見舞はれる。症狀は人に依り可なり相違する。即ち軽いものは單なる風邪位に考へられて済み、重症になると二、三週間を経て漸く快方に向ふ。普通三十八度前後の熱が約一週間続き其の間體の置き處に苦しむ程の全身倦怠が起り全身の關節、特に腰關節が抜ける程痛む。而も發熱後四日目乃至八日目頃には特有の赤い發疹が顔面はじめ全身に出る。そして發疹後は徐々に下熱する。この熱病は熱帯蚊に依つて傳播されるのであるが、此の蚊はマラリアを媒介するアノフェレス蚊とは全然別種であり、盤谷等ではエイデスアルボピククスとエイデスマ即ちエチブチ一筋縮蚊の二種がデング熱を媒介する。この蚊は脚に白黒の斑があり晝間でも出て来て人を刺す。デング熱は特に傳染力が強いが、發疹後は傳染力が弱くなる。デング熱を媒介する蚊は好んで雨水の溜つた中に發生し、水甕、貯水タンク等は勿論、こわれた碗や空瓶等の中に溜つた雨水の中にも發生する。雨季には急激にこの蚊の發生が増大し、特にエイデスアルボピククス中の發生が多くなる。

本症に依つて死亡することは殆ど無いが免疫素の發生が弱いので、一度本症に罹つた者でも一年以内に再度



罹患する場合があり、頗る厄介である。一般に現住民は先天的に軽い免疫力がある様で、邦人等が初めて渡航する場合最も罹り易い。

(三) コレラ

コレラはチフス、赤痢等と共に内臓細菌傳染病としては例年最も猖獗を極める傳染病の一つであり、これに依る犠牲も年々多数に上る。罹病者に對する死亡率は約六割を示し、ベストと共に死亡率の高い點で一般に恐れられてゐる。

(四) 赤痢

赤痢はチフス、バラチフス等と共に例年雨期の氾濫後に猖獗を極める。流行病としての細菌性赤痢も、單なる風土病としての赤痢も共に流行する。

タイでは此の病因も症状も異なる。兩者を一括して赤痢の統計を取つて居るので此處では數字を掲げないが、例年罹病者は極めて多数に上るものと見られる。一般に重症になれば兎も角も、非常な苦痛を感じない限り粥食で平常通り仕事に従事する。

(五) 痢病

タイ人が國內を縦横に貫流する河川やクローンに豊富に棲息する魚類を食べる事は既に述べた通りであるが

これ等の淡水魚に痢病の病原蟲が居るのである。長さ約一厘米位の蟲が人體の各所を匍匐するので此の名が附けられたわけであるが、これが表皮下に現はれると痛みのある小さな腫脹となり、更にこれを摩擦すると他に逃れて腫脹は無くなる。蟲體そのものには毒性はないけれども共往々眼球に入つて失明する場合があります、總じて人體に機械的傷害を及ぼす様である。

(六) フランベジヤ

微毒と同じ病源體であり熱帯地特有の疾病である。六〇六號注射が奏功するので都會地では餘り變化の酷い患者は少ないが、地方では相當に多い様である。

(七) 癩病

癩患者数は公表が無いので不明であるが、全國を通じて相當多数に上るものと考へられる。全國に三箇所の病院（一は米人宣教師の經營、二はタイ國の公營）があるが、共に大體満員であり、特にチェンマイ市は米人經營の癩病院等では四、五百名の入院患者の外毎日多数の外來者が詰めかける。

(八) 蛇咬症

毒蛇に依る咬症は南洋各地一般に可なり多い。タイ國に於てはコブラ、キングコブラ、パンデッドクレイト其他各種の毒蛇が棲息する。これ等に依る咬傷に對してはサオバ研究所の毒蛇園に於て飼育する毒蛇より毒

汁を攝取して血清液を製造してゐるのであるが、既に述べた通り當研究所で製造する血清液は國內の需要を満して猶近隣諸邦に輸出してゐる。(タイ室東京事務局)

馬來の米

馬來に於ては戰前英國政府がゴム産業のみを奨励せし政策を執つて居つたが爲に食糧問題には何等顧みなかつた傾がある。従つて米の生産額は戰前僅に年三十萬噸内外であつて、約六十萬噸の大量をビルマ、泰、佛印等より輸入して居つたので、生産は僅に需要の三分の一程度になつて居つた。之は英國政府の勢力範圍であつたビルマ、泰方面の過剰米を捌かんが爲の狡猾なるやり方であつて健全なる産業政策ではなく、尙米作の改良や指導等の如きものも何等見るべきものがなかつたのである。従つて馬來の耕作法と言ふものは實に幼稚なもので且つ粗放的である。今其の状況を述べるならば、第一稻の品種であるが、一般に南洋系の草丈高い、莖の剛直な、籾殻が厚くて糲摺歩合の悪い、米の質も内地米の如く丸形の充實したものでなく、細形の、粘り氣が少く、而も植付後五箇月もかゝる晩生種を作つて居る。従つて年一回作で後は土地を遊ばせて置く状態である。

耕作法に就いても苗の育て方が頗る粗雑である。日本内地では苗の育作と迄云はれて苗代には殊に念を入れて若々しい丈夫な苗を作つて植ゑるが、馬來地方では種子を播いて四十四日経たなければ絶対に植ゑない習慣が各地ともある。然るに氣温の高い爲四十四日も経てば苗が一尺七、八寸より二尺以上に伸び、中には苗代に七、八十日も放つて三尺以上も伸びたものを一尺五寸から二尺程度に先を切つて植付けて居る様な状態で全く苗の價値を失つた老熟した苗を平氣で植付けて居る次第である。植付も又亂暴で本田の整地も充分でない處が多い。甚だしいのは單に草を刈つて水を入れ、二十日間ばかり放つて草が腐つて土が軟くなつた頃に田植をする。其の田植の方法が獨特な方法で長さ二尺位の小さな鐵の棒で先が二又になつてそれに苗の根を狭んでボン／＼と苗を植ゑて居る。除草も普通一回位取る程度で二回以上も取ることは一般にしない。植付距離も晩生種の關係上非常に遠く植付けて居り、普通一尺二寸平方乃至一尺五、六寸平方に植ゑて坪當の株数は十五株から二十四、五株程度になつて居る處が多いので、老熟苗を植ゑて距離が遠いから分蘖(株張り)は澤山するが遅穂が多くなる。従つて一齊に收穫が出来ないので遅穂程着粒數が少いので收量も減つて來る譯である。之を日本内地や臺灣等では苗の伸長は五、六寸程度坪當の株数は五十乃至六十株になつて居るのに比べると大分違ふのである。收穫は穂先を摘みとつて居るのが多いので遅穂が多い爲に普通二十日間、遅いものになると四十日間もかゝつて居る。肥料は大部分施して居ないが一部ケダ州及びペラ州下に産するバットグアノを植付の際少しばかり根元につけて植ゑて居る。

以上の様な状態であるから收量は一英反當り籾が二百五十ガントン乃至三百ガントン(一ガントン約四斤)即ち

一町歩に換算すると、二千五百斤乃至三千斤程度で、之を白米にして六石三斗乃至七石五斗日本内地の収量に比較すると僅かに三分の一程度で如何に粗放であるかが察知せられる。尙馬來と大體氣温も似寄つた臺灣の如きは領臺前は馬來の様に極めて収量も少く粗放な耕作であつたが、日本の優秀なる技術によつて品種の改良、耕作法の研究、苦心して熱帯向に改良して新品種を作り上げたのであるが、品質も内地米と變らぬ、粘りも多い、味も良く、然も収量が多く、更に成育期間が早いので年二回作つて居る様な譯で、兩期を通じて内地よりも多少増収してゐる。昨年臺灣から飛行機で僅か許りの蓬萊種の種子を持つて來たのをケダ州とマラツカ試験場に分けて夫々試作したが、兩地とも植付て百日以内で而も在來種よりも遙に収量が多く穫れたので、該地方でも蓬萊種の適することが判明したのである。然るに蓬萊種の栽培は特殊の技術を要するので前述の様な馬來地方の如き粗放な農耕に於ては獎勵がなかく困難である。

そこで馬來地方の耕作法を改良するには多年の慣習があるので急激には實施が困難であつて、差當り現在の耕作法を基として一歩一歩と指導して行くことが必要かと存せられる。

第一に改良すべきことは前述した様に成るべく苗は若い丈夫なものをを用ひることが必要で、之には四十四日以上ものは伸び過ぎるから三十日内外も経てば充分に在來の方法で植付の出來得る良苗を得られるのであつて、之を更に密植することが必要である。之も從來の方法を全く變へることは困難である。從來一尺二寸平方であるならば

一側は其の儘とし片方の側に更に株と株との間に一株づゝ増加して植ゑると從來の倍株に植ゑられる譯である。此の方法は昨年ケダ州で試作した處若苗密植で最も成績の良かった處は約八割も増収したが、之を一般に獎勵するとして大體二割程度迄は増収し得られるのではないかと信じて居る。

次は灌溉排水の問題であるが馬來の水田は低濕地が多く、然も天水を利用して作る處が多いので従つて雨期に植付をして乾期に收穫するのが例である。普通の植付は七、八、九月頃で、收穫は十二月頃から三、四月頃迄に行つて居る。そこで年に依り處によつて必ずしも植付期が日本の如く一樣でない。又天候次第では旱魃の被害や排水不良等の爲に思はぬ不作を生ずることが往々ある。一番安全なやり方は灌溉排水の施設を完備させることで英國政府時代でも幾分か實施して居つたが、殊に第二次歐州大戰後は食糧の自給を計る點に就いて考慮せんと見て各地とも計畫中のもの又は實施中のもの等があり、何れも水門等の取入設備とか防潮水門とかは實に處大なるものが出來て居る。然し實際田圃に引入れる小給水路の設備が充分出來て居ない爲に水がかりが非常に悪く、其の上各田區の切り方も廣過ぎて一枚の田が一町歩以上もある處があるので田面一樣に水を灌げることは不可能で、深い處は一尺も二尺もあり、又全く水のかゝらない處もある狀況である。又一面排水設備も完全でない處が多い。稻は水が無くては成育しないが水性植物ではないから水が多いので成るべく淺水にして時々排水して田面を日光に曝すと一層よく發育するのである。將來灌溉排水の施設を完備すると年二回は充分作り得るので、然し現在の晩生種では不

可能であるが臺灣の在來種や蓬萊種の如きものであると植付後百日内外で收穫が出来るから今よりも倍以上の増収は可能となる譯である。更に肥料の點であるが金肥を施すことは今の處一寸望めないで綠肥、堆肥等の自給肥料を奨励することが必要で差當り奨励のし易い普及性のあるのは綠肥である。水田跡地に大豆とか青皮豆とか又は臺灣地方に作つてゐる田菁等の如きものが適當であるから、之等を稻の前に作つて鋤込むことにすれば地力の維持増進を計ることが出来るのである。

次は病害としては恐る可き稻熱病は比較的少いが、枯葉病が至る處に見受けられるので之は肥料の缺乏を一面意味することになるので肥沃の土地では發生は少いのである。害虫としては螟虫、浮塵子、葉捲蟲、カメムシ等の被害がある。其の他野鼠の害、山脈の害等も相當あり、之等は夫々驅除の方法もあるが現在の農民では實行がなかなか困難である。要は成るべく同時期に廣く作つて置けば、もし蟲が發生しても餘り目にたゝないと、害虫の發生時期を調べて最も被害の多い時期に成るべく避けて作することにすれば或る程度迄は免れることが自然の中は出来ることとなるのである。

次に馬來人の稻作で面白いのは苗代の四十四日と定めた理由は何故であるか。各地とも一樣であるので色々調べて見ると、つまり子供の出來た時に母體が丈夫になる迄は四十四日かゝるそうで、苗もそれを標準として定めたらしいのである。それから穂先を摘み取る習慣は鎌で一ペンに刈取ると神様から御叱りを受けるが穂先に鳥がとま

つて食ふ程度ならば神様に別に御叱りも受けないですむだらうとの迷信もあるとか言はれて居る。

昨今、食糧増産の聲が叫ばれて居る折柄少しでも單位收量の増進と新開墾による増産と更に代用食糧たるキヤツサバ、甘藷、玉蜀黍、豆類等の増産も必要とする處で馬來に於ても速に自給點に達する様に大いに努力せねばならない次第である。(案折)

東・印度の資源

一 南洋に於ける東印度の經濟的地位

東印度はスマトラ、ジャワ、ボルネオ、セレベス、ニューギニアの五つの大島とこれらの諸大島の周圍に散在する多數の島嶼から成立つてゐる。この附隨的島嶼のなかには、チモール島やモルツカ諸島の主島デロロ島(ハルマヘラ)などのやうな相當大きな島をはじめ、極小さな石花礁の島などもあり、全部で數千の多きに達してゐる。

東印度諸島は別にマライ群島とも呼ばれてゐるがこれは全く同一のものである。また從來東印度諸島の大部分がオランダの領有下にあつたために、蘭領印度若しくは蘭領東印度とも稱せられてゐたが正確には兩者は同じではない。全體として東印度といふ場合は荷蘭領東印度よりも更に廣い地域を指すのである。即ちその場合には、もと

の蘭領諸島のほかに、ボルネオの北西にあたる北ボルネオサラワク（何れも舊英領）、チモールのポルトガル領及びニューギニアの半分にあたる東南部（濠領）を包含しなければならぬわけである。

東印度諸島はこのやうに非常に廣汎な範圍にわたつてゐるのであるが、殊にニューギニア島は世界第二、ボルネオは世界第三の大島であることを考へてもその廣大なことは想像にあまりある。五大島のなかで一番小さいジャワですらその面積十三萬方呎で我が北海道と九州とを合せたほどの廣さをもつてゐる。ニューギニア、ボルネオ、は姑く措くとして、スマトラの面積は四十七萬方呎であるから、我が内地の總面積三十八萬三千方呎よりよほど大きい。またセレベスは約十九萬方呎で内地の半分にあつてゐるわけである。

そこで東印度全體の面積がどのくらいあるかといふと二百四十九萬六千方呎である。我が内地、朝鮮、臺灣、樺太をあはせた面積が六十七萬五千方呎であるから、大體その約三倍半以上に達する地域をもつてゐることとなる。

このやうな廣大な地域が、今日殆ど全部御稜威のもと特級無比な我が陸海軍によつて裁定し、我が國民の今後に於ける發展の舞臺としてあたへられようとしてゐるのはまことに愉快至極といはなければならぬ。尤も東印度諸島のなかでも自然的條件及び社會文化の發展程度はそれ／＼地域によつて著しく相違してをり、單に廣いといふことだけでは價値がないことはもちろんである。けれども東印度諸島中最も氣候がよく、且つ經濟的政治的に最も重要なジャワに於ては、すでに昨年三月七日劃歴史的な軍政布告が公布され、以來交通、産業の復舊建設、住民の教

化、衛生等に互り着々として諸般の施設がすゝめられて居り、又スマトラ、ボルネオにも現に軍政が布かれ、その他の地域もそれ／＼軍政下に置かれてゐる。右の三月七日の布告はその冒頭に於て、「大日本軍は同族同祖なる東印度民衆の福祉増進をはかり、大東亞共同防衛の原則に準據して現地住民との共存共榮を確保せんことを期し、差當り東印度の治安を確立し、民衆をして安居樂業せしむるため東印度占領地域内に軍政を施行し、大日本軍司令官が總督の職權を行使する」旨を宣言したのである。こゝにおいて、東印度諸島はいはゆる我が南方共榮圏の最も大きな且つ有力な一員としての地位に任務を擔ふこととなつた譯である。

いふまでもなく我々が南方或は南洋といふときにその範圍は非常にひろい。即ち我が南洋群島をはじめ、佛領印度支那、タイ國、ビルマ、マライ半島、フィリッピン群島及び東印度諸島が皆この中に含まれてゐる。それでこれらの大南洋に於て、東印度は一體どんな地位をもつてゐるかといふことを一應考へてみる必要があるのである。

第一に考へられることは、東印度諸島はアジア大陸の東南部とオーストラリア大陸の北西部とをつなぐ橋梁をなしてゐるといふことである。

第二にはその全諸島が東西の方向に蜿蜒として連なり、南北に短く熱帯圏内に存立するといふことである。従つて東印度諸島は南方諸地域のなかでも、とりわけ熱帯的特性を代表するものといふことが出来る。換言すれば東印度こそ南方中で最も南方の各に値する地域なのである。

の格好をして布置してゐる。以上の大小スンダ列島は防波堤のごとき形をなして太平洋と印度洋とを区分する役目をなしてゐる。そうして太平洋の側の水域は更にマライ半島、フィリッピン諸島、ボルネオ島、セレベス島、モルッカ諸島にとり圍まれて大東亞海を形作つてゐる。

ボルネオ島はジャワの北東方に不等邊五角形をなし面積七十五萬平方杼、北西は南支那海に面し北東はフィリッピン諸島と相對する。またセレベス島はフロレス島の北方に獨特な奇形をなしてK字型に四つの半島を突き出してゐる。北の半島が最も長く東の半島が最も短い。南の兩半島のうち東の部の端にブトン島がある。そして西の半島にはセレベス第一の都會マカッサルが海に臨んでゐる。

スマトラ、ボルネオ兩島の間にはバンカ、ビリトンの二島があり、前者は全くスマトラに接するが後者は中間に在り共に錫の産地として世界的に知られてゐる。

マライ半島の突端昭南港の南にはリオ群島、錫の産地シンケブ島が點在する。また北の方南支那海の中にはナトウナ、タンベラ群島が散布しはるかに臺灣を望んでゐる。

次に東印度に於ける氣象觀測を示すと次の如くである。

氣象觀測表

地名	高度(米)	平均氣壓(氣壓)	平均日照(%)	平均氣溫(攝氏)	平均溫度(華氏)	平均雷鳴日數	平均降雨量	平均降雨日數
ジャカルタ	八	一、〇〇八、九	六九	二六、二	八三	一三四	一、七九六	一三五、五
バンドン	七三〇	一、〇〇六、六	六三	二二、五	七七	一九九	一、九五〇	一四三、四
スマラン	二	一、〇〇六、六	七四	二六、六	七七	一	二、一〇一	一三九、四
スラバヤ	七	一、〇〇六、六	七八	二六、八	七九	六	一、七二七	一四二、三
メダン	二五	一、〇〇九、五	五七	二五、八	八四	一五四	二、〇一四	一四一、三
パレンバン	七	一、〇〇九、五	六七	二六、四	七九	七二	四、四五二	一九一、三
ボンチアナ	三	一、〇〇九、五	五九	二六、八	八三	三一	二、二五八	一六一、〇
バリクパパン	一	一、〇〇八、四	六七	二五、八	八六	一	三、二二四	一八三、七
メナド	六	一、〇〇八、四	七四	二六、二	八二	三九	二、七二五	一四七、一
マカッサル	二	一、〇〇九、二	七四	二六、二	八〇	一	二、八六三	一六五、七
アンボイナ	四	一、〇〇五、五	五五	二六、二	八三	六六	三、五二三	一三三、六
ターバン	四五	一、〇〇五、五	八一	二六、六	七二	六一	一、四一六	二〇一、四



二 農 産 資 源

1 エステート農業

蘭領東印度時代の農業は、經營方法の相異によつて一般に原住民農業と歐洲人の栽培農業に區別されてゐた。前者は原住民の營む傳來的な遅れた農業であり、後者はヨーロッパ人による近代的な大農園の經營所謂エステート農業であつた。第一次世界大戦までは、舊蘭領東印度から世界市場に放出された大量の重要輸出農産物は殆ど歐洲人の大農園が獨占的に生産供給したのである。然しながらその後蘭印政府が外領を主として國際商品の生産を極めて熱心に奨励援助し、又原住民自身も次第に國際商品たり得る農作物の栽培に轉換するに至つた爲近時では最草原住民の生産と歐洲人の専ら輸出を目的とする生産との間には明白なる懸隔を認めることは出来ないまでになつてゐた。近時は舊蘭印農業産物輸出總額の五分の二は原住民農業の供給によつてゐたのである。しかも輸出玉蜀黍の凡ては原住民の供給にかゝり、この外にカボック、コブラ、胡椒の殆ど全部、更に煙草、茶、ゴム及びコーヒーの大部分も原住民の生産になるものである。

昔は主要輸出産物にあつても原住民農業の生産にかゝるものは實際に國際市場向の優良なる品質でなかつたので、殆ど大部分は原料品として支那人仲買人の手に渡るといふ不利益を免れ得なかつたのであるが、舊蘭印政府は原住民生産物の品質を向上しエステート農業生産物に遜色なき商品を生み出さしめる目的で補助金を交付して原住

民の産業組合組織による加工工場の創設を奨励する方針をとつたりした。この徹底的な向上助長政策によつて原住民農業の生産物はエステート農業の有力なる競争者となつてゐたのである。

舊蘭領東印度ではこれまで歐洲人の指導經營するエステート農業によつて世界經濟に於ける重要性を保持して來たのであるが、エステート農業は實にこの驚くべき豊饒なる土地を開發して巨額の財貨を生産したのみならず、同時に原住民に對しても年々多額の金錢的收入の道を與へた。従つてエステート農業の發展が原住民にとつても大きな利益であつたことは言ふまでもない。そればかりではない、これらの大企業は又舊蘭領東印度政府にとつても優良確實なる納税者であり、多額の國庫收入を賄つて呉れた。これによつて舊蘭印政府は原住民の福祉を目的とする社會事業に少からぬ金額を惜しげもなく投ずることが出來たのである。歐洲人が利用してゐた土地は全蘭印の面積に比較すれば極めて微々たるものではあるが、然しこの僅かの土地がいろ／＼な意味で舊蘭領東印度繁榮の一大源泉となつてゐたのである。

エステート農業發展と同時に巨額の國際資本が舊蘭領東印度に流入した。最初に進出したものはオランダ資本でこれは砂糖、煙草及びコーヒー栽培に投ぜられた。その後には於ける外國資本の投資の對象となつたものはゴムを第一とし茶、油椰子等の栽培であつて現在までにこれらエステート農業の經營に投資されてゐる資本總額は二十五億ギルグーと推算されてゐる。外國資本はその内三分の一を占めてゐるがその殆ど大部分はイギリス及びアメ

リカの資本である。舊蘭領東印度はこの外國資本の登場によつて必然的に國際的關心の焦點となつてゐたのである。

以上の外に、舊蘭印政府自らも若干の栽培企業を經營してゐた。即ちスマトラに於て栽培面積三萬二千二百五ヘクタール(約三萬二千五百町歩)の官營ゴム農園を經營し、一九三五年末にはこゝにゴムガタベルチャ、オイルパーム、ココ椰子、カボック及びコーヒーを栽培する十四箇の企業と樹脂及びびん(松脂精)を採取する一企業、合計十五企業を擁してゐたのである。又ジャワ島に於ては官營規那及び茶農園を有してゐた。

エステート農業に於てはゴム(ヘヴェア・ブラジレンシス (Hevea brasiliensis))の栽培が最も重要な地位を占めてゐた。舊蘭領東印度は現在馬來に次いで世界第二位のゴム供給國となつて居り、世界恐慌直前の一九二九年の生産に例をとれば馬來は世界ゴム總産額の五十二パーセント、蘭領東印度は三十二パーセントをそれ／＼生産したのである。又これを國內的に見ても、ゴムの如く極めて迅速に廣大なる地域の開發に寄與した栽培物は他にこれを求め得ないし、更に恐慌の痛手、價格の低落、生産輸出制限等と幾多の反動を蒙つたにも拘らず依然莫大な利益を擧げてゐたのもゴムに如くものはない。ゴムは又蘭領東印度に國際資本を最初に導入した栽培企業でもある。

而も他方では原住民農業の栽培物としても非常な發達をとげ特にその著しいものはボルネオ島及びスマトラ島のパレンバン並にジャバ地方である。その栽培面積は約七十三萬六千ヘクタール(約七十四萬二千町歩)に達し、歐

洲人經營ゴム農園の栽培面積五十九萬九千ヘクタール(約六十萬四千町歩)を遙かに凌駕してゐた。これに應じて原住民農業生産にかゝるゴムの輸出も近年は飛躍的增加を示してゐた。そして舊蘭印産ゴムの第一の顧客は北米合衆國であつた。

茶の栽培は主としてジャワに於て行はれ外領ではスマトラ東海岸州に少數の茶園があるばかりである。之は一八七三年有利なアツサム茶が移植され以來着々と發展し、特に第一次世界大戰後の擴張は目覚しく、近時は印度及びセイロンに次ぐ世界第三位の大輸出國となり、その産額は世界茶總生産額の約十九パーセントを占め八十萬ギルダ内外を往來してゐた。歐人エステートによる茶栽培はジャワ及びスマトラ東海岸州に行はれ、他方住原民の營む小規模な茶園は主としてジャワのブレアンダ州(Brebes)に集中されてゐた。そしてその製茶仕向地はオランダを第一位とし、イギリス、オーストラリア等が主要顧客であつた。

エステート農業の栽培物が如何に投機的であり、従つてその榮枯盛衰の如何に常ならぬものであつたかを赤裸々に示したものはジャワに於ける甘蔗栽培の歴史である。

甘蔗は十年前までは尙ほ舊蘭領東印度に於ける最重要栽培物であつた。一九二八―二九年當時ジャワ糖の産額は世界砂糖總産額の十一パーセントを占めてゐたのである。この數字から第一に考へられることは砂糖(甘蔗糖及び甜菜糖)はジャワの如き氣候の下に於て最もよく又速かに生育し得るといふことである。しかもジャワに於け

舊蘭領東印度に於ける栽培企業中、最も歴史の浅いものはシサル・マゲイの栽培である。これも渡來以來、既に非常な勢で普及し、東アフリカ産のシサルと優に競争し得るまでに發達した。現在舊蘭領東印度は世界シサル産額の一九パーセントを生産してゐる。この外に硬質纖維として栽培されてゐるものにマニラ麻及びカンタラ麻がある。

次に舊蘭領東印度、就中ジャワが規那皮栽培を世界的に獨占してゐることを特記する必要がある。規那の製出にとつて極めて重要な規那皮は、西部ジャワの氣候が規那樹の栽培に頗る好適してゐた爲、原産地ペルーを壓倒して今日の盛況を見た。舊蘭領東印度は世界規那産額の實に九〇パーセントを生産してゐるのである。

珈琲栽培は強制栽培制度の對象として砂糖と共に盛に行はれ、砂糖の強制栽培廢止後も一九一七年まで一部に強制栽培が持續されたが、これは同年を以て完全に強制栽培が廢棄された。然し、實際には第十九世紀中葉土地法の發布以來その栽培は私人にも開放され、早くより強制栽培と共に自由栽培が並存して行はれてゐたのである。珈琲は葉が病蟲によつて冒されるに至り非常な危機に遭遇してこの危険に加へて他面新なる重要栽培が續々出現した爲、今日では曾ての重要性がなくなつてしまつた。

以上の作物に比較すると重要性は一段と下るが、カボック栽培も營まれてゐる。これは主としてジャワ及びマツラに於て栽培され、その植付面積は約六千ヘクタール（六千五百町歩）に及ぶ。カボック輸出の全盛時代を現出し

た一九三四年に於ける輸出數量は二千五十三噸であつた。

舊蘭領東印度のコ、椰子産物は地元消費に充當されるものが頗る多量なのに拘らず、コブラ輸出國として斷然世界第一位を占めてゐた。然しコ、椰子の歐人エステートに於ての栽培は極めて少量であつて、殆ど大部分は原住民の栽培によるものであつた。地方別に見ればコブラ輸出の最大なるものはセレベス島で、リオウ諸島及び西ボルネオがこれに次いでゐた。

其の他の小規模栽培の行はれるガムビル、シトロネラ、カボック、棉花、胡麻、落花生、肉荳蔻、ワニス及び各種香料、更に原住民の營むカツパ栽培等がある。原住民農業の經濟的意義の一斑を示すため一九三六年の統計を引用すれば、明白に原住民農業の生産にかゝるものだけでコブラは全世界産額の二七パーセント、カボックは同じく七七パーセント、胡椒は實に九二パーセントの多きを占めてゐるのである。これは一面、舊蘭領東印度の輸出農産物が世界經濟の機構内に於て如何に重要な地位を占めてゐたかを明瞭ならしむるものである。

エステート農業について注目すべき一事がある。それは歐人栽培企業がそれ／＼独自の科學的研究所を設けて農業の改良發達に努めてゐるのみならず、舊蘭印政府も亦同様に科學的研究機關を有してゐたことである。舊蘭印政府の施設として、第一に擧ぐべきものに一般農事試験所があつた。尙この外にも原住民の食糧栽培の改善にも努力して居たし、且つ原住民のゴム、珈琲、煙草及びシトロネラの栽培を振興助長するためにも特別の指導機關を設け

てゐた。

2 米

物産の中最重要なのは米である。米はジャワに於ては一般民の主食物であり、ジャワ以外もその大部分は是れを食用としてゐる。極めて少數の未開族は是れを常食としてゐるか否か明らかでないが、殆ど云ふに足らない。故に「米」は我が邦と同じく人民の生活に第一の要素である。

今一九三八年の作付面積を見ると、ジャワの水田は三百五十七萬一千六百六十六ヘクタール、乾田米作（臺灣の看天田に類するもの）三十八萬八千九百八十三ヘクタール、合計三百九十六萬四千九百四十九ヘクタールで、收穫は水田七百八十六萬八百トン、乾田四十七萬七千一百トン、合計八百三十三萬七千九百トンである。

其の他バリ、ロンボクに水田面積十七萬四千八百九十四ヘクタール、乾田二萬三千八百五十二ヘクタールがある。この兩島は住民も多くて米食せるものである。其の他スマトラの如きは極めて小反別であり、ボルネオはボンチャナの邊に少許を存するのみ。セレベスもマカッサルとミナハサに存するに過ぎない。小スンダも亦フロレスの外は極めて少許である。

故に「米」を論ずるにしてもジャワの外はバリ、ロンボク二島以外は計上するに足らない。而して住民はサイゴン、バンコック、ラングーンより輸入するか、或はジャワより移入され、ミナハサの如きも往時はバンコックに依

存してゐたのである。

ジャワでは海岸の〇メートルより一千二百メートルに至るまで栽培し得るので米田三百九十六萬ヘクタールの大面積を計上してゐる。又、ジャワ、バリ、ロンボク以外に米の大量産出のないのはその住民の米に對する愛着心がジャワ人に比して薄いからである。即ちジャワ人は千年來米食して來た人種である。其の他は或は果實を食とし根菜を食として飢を免れて來たものであるから米を食ふやうになつても愛着心は決してジャワ人のやうでない。ジャワ人は我が邦人の米に對すると同一の愛着心を有し、水田を以て無上の寶貨なりと信じてゐる。ジャワの稱は上古印度人の云ふジャバハツチから來たもので、ジャワ即ち米穀を指すのである。

3 玉蜀黍

玉蜀黍（メイズ）は我が邦人は輕視してゐるが、米に次ぐ重要食料品で、ジャワに於ける面積は二百萬六千八百五十六ヘクタール、バリ、ロンボク五萬八千七百四十一ヘクタールである。

メイズは乾田でも高地に多い。一千七百七十メートルのトサリ附近ですら栽培してゐる。殆ど米田の半に達してゐる。ジャワのメイズの産額は、年一百九十二萬五千九百トンである（メイズの脱穀せるもの）。

4 カッサバの根

我が邦にてタピオカといふのがこれのことである。

ジャワに於ては面積九十四萬八千一百二十三ヘクタール、産額は八百十四萬八千八百トンに達する。カツサバの塊根のまゝの重量であるが原住民は是れを煮て食する。我が邦及び歐米人はこれより澱粉のみを採取しタピオカと稱するが、原住民は輸出品となす以外は皆これから澱粉を採り我が邦人が甘藷を食べるやうに煮て食べてゐる。その味は淡泊で馬鈴薯のやゝ無味なものに似てゐる。

此の塊根には毒分を含んでゐるやうであるから、生食は頗る危険であるが、土着民らは明かに之を區別してゐて誤食するやうなことはない。この有毒塊根は主として澱粉用に充てられる。毒素はシヤン（青酸）であるから水に溶解洗去せられるので澱粉となると全く無毒となるのである。澱粉の含有量は有毒種の方が無毒種より遙かに多い。含有量もその高いのは三〇パーセントに及んでゐる。

5 甘 藷

甘藷は土着民の常食物である。ジャワでは十八萬四千三十五ヘクタールで收穫量は一百二十萬六千トンである。甘藷はジャワではカツサバほどに重要でない。共に南米より輸入せる物であるが、ジャワ人の嗜好はカツサバの方が甘藷に勝つてゐるやうである。

本邦及び支那ではカツサバは最近試験所で研究されるやうになつたのであるが、甘藷は二百餘年前から普及してゐた。

6 馬 鈴 薯

この塊根も南米産であつて、決して舊蘭印の特産ではなかつたのであるが、蘭人が是れを特に好み、我が邦人の米に對するが如き愛惜を持つてゐたのである。

これは冷涼の氣候を好むから一千メートル以上の地でなくば栽培するを得ない。しかし一千五百メートル以上は冷寒にすぎ不適當である。故にその面積は著しく限定せられ、全ジャワに僅に七千六百四十三ヘクタールにすぎず、バリー、ロンボクの高原の利用も若干計上せられ二百三十五ヘクタールとされてゐる。スマトラも恐らくはブラスタギ等の高地には蘭人の栽培したと思はれるものがあるが、少許でもあり統計も不明である。セレベスのミナハサにも少量産出する。蘭人の多數居つた地の外には栽培されてゐない。土着民は好むのではあるが價格が高いので一般の需用に適せなかつた。

この高價の原因は、栽培に肥料を用ひねばならぬのと病蟲害、耕耘、除草等の人力資材を要する事がカツサバ、甘藷に比べて遙かに多いからであつた。

最も奇異なのはブリアンガン州で四千二百七十七ヘクタールに上り、他の諸州で一千ヘクタール以上に及ぶ地はない。是れは氣候がブリアンガン高地以上に適する所がないからである。その乾燥の最も適當なのはブリアンガン高地である。而も過去十年間の統計を見ると、一九三二年の二萬三百七十七ヘクタールを頂點とし次第に漸減し、

一九三七年には一萬五百三十二ヘクタールとなり、更に三千ヘクタールを減じてゐる。これは兩三年來氣候不順で降雨日數の異常に多かつた爲に病蟲害を頻出したからである。特に和蘭本國が獨逸に攻略せられて以來は歐州よりの種薯を得ることが全く杜絶した。故に更に悪化の一路を進むものと思はれる。將來もこの作物は重要性がないと思はれる。我邦にてジャガタ薯と云ふのは往時ジャガタ（今のジャカルタ）より渡來したからである。

7 煙 草

煙草は西半球の産であるが、原住民の嗜好に適した爲十歳の幼童でも喫煙する有様である。厚生の點より云へば不可であることは云ふをまたぬことであるが、放恣の慾情は之を節制するに困難である。従つてその産額は相當の大量に上つてゐる。

煙草栽培の面積は十四萬六千九百三十五ヘクタールに及んでゐる。クヅとボジョネグロは最大産地で、前者は三萬二千二百六十八ヘクタール、後者は二萬二千五百七十ヘクタールである。その香味は本邦産とトルコ産の中間にあり、米國黄色種とはその香味を異にしてゐる。最近は米國黄色種を盛に植ゑ、シガー川はスマトラ、デリー産を用ひ、ジャワ産は第二位となつてゐる。原住民の嗜好品であるから消費も大量である。

エステート農園栽培はジャワで二萬八千八百九ヘクタール、外領で一萬三千二百二十八ヘクタール、産額はジャワで二千六百九十一萬八千疋、外領で一千三百七十八萬六千疋である。このうちスマトラデリー會社の煙葉はハバ

ナと並稱せられる世界有數の銘葉である。

香味はハバナに多少は譲るが、シガーの外皮は薄くして強靱なることを要し、それにはこのスマトラデリー葉を必須品とするのである。大面積の栽培地を有し毎七年に一回採取し、六年間は放棄するのである。是れはソラヌム屬の特性で連作をことの外に厭ふ。煙草はこの例のうちに入るのである。故に最良の葉を得ようとするには七年一回でなければならぬ。然しこのやうなやり方はスマトラのやうな空閑地の廣い所でなければ出来ぬことである。ジャワなどでは到底できない。スマトラ、デリーの銘葉を産するのは土質の良いのによるのは勿論であるが、この休閒法に負ふ所も大である。

元來煙葉は香味を第一とし、他の作物の如く重量を以てのみ云ふわけにいかない。香味は殆ど分析表にも顯はれぬほどの微量の無機物によつて左右せられるのである。故に連作の不可なるは勿論であるが、この無機物の研究は現在に於ては世界各地未だ十分と言ふまでには至つてゐない。だからして銘葉の産地は依然その市價を獨占してゐる譯である。

8 ヘヴェアゴム

ヘヴェアゴムは南米の原産であつて、蘭印に自生したものではないのであるが、氣候風土の是れに適したことか

ロンでも亦相當の努力をしたのであるが、その結果は遠く舊蘭印に及ばなかつた。是れジャワ、スマトラ等各地の上質が遙かにマライ半島、セーロン等に優つてゐるからである。

この樹は土質を選ばぬやうに見えるが、最良の結果を得ようとするには豊饒の地を選ばねばならぬ。多雨の地を好むけれども排水は良好でなくてはならない。本當によい條件は第四紀に屬する新噴火山層を最良とするのである。これが爲にジャワ、スマトラがこれに最適地となるのである。

ジャワの栽培面積は一九三六年に於て二十二萬八千九百一十ヘクタールで、この中、生産期に入つたものは十九萬三千六百二十ヘクタール、生産額六千三百六十萬六千キログラム、外領地（ジャワ以外）栽培面積は三十六萬六千八百六十ヘクタール、この中、生産期に入つたもの三十三萬五千七百九十二ヘクタール、生産額一千一百四十七萬二千キログラム、生産總額一億七千五百七十八キログラムであつた。最近は新品種により著しく改良せられ、一本の産出は往昔に二、三倍してゐた。三、四十年の老木はその産出は尙多少はあつても、園主は惜しむ處なく伐去し、新種と交種させてゐる。

新種は數品種あり、皆ジャワ、スマトラにて各園の優良木より更に揀別し是れを得て接芽等の無精繁殖をなさしめ、その品種を固定せしめる。

種子は時に優良種を得ることもあるがそれは千で二、三位であつて概ね惡變するのである。故に優良種を固定せ

しめようとするには無精繁殖によらねばならない。だからして舊蘭印政府では優良種を國外に搬出することを禁じてゐた。

ゴム栽培は將來に於て決して現在の如き小面積に止るべきものでない。ジャワと外領を合せて五十二萬九千四百十三ヘクタールに過ぎず、極めて小面積である。是れを十倍するも二十倍するも決して土地の狭き憂へることはないのであるが、汁液を採取するには甚だしく人力を要する。故に人が少ければ採取がうまくゆかない。ジャワに火發達をしたのは氣候風土の外、人口の多いことがこの作業を容易ならしめたのである。スマトラでは人が不足でジャワから苦力を移入してゐた。將來もゴム栽培の重大なる要素として人手といふことを考へねばならない。

9. グツタペルカ

これはバラクキユム・グツタと名づくる樹の脂にして東印度の原産である。ヘヴェアは南米の原産であるが、このグツタは東印度原産であるので殆どその産額を獨占してゐる。

ジャワに於ける栽培面積は一千一百三十九ヘクタールで産額十一萬キログラムである。これが栽培地はボゴル（昔のバイテンヅルグ）に近い舊官營農地であつた。この樹も多雨帯でないと生育しない。故に多熱多雨の地を選んで栽培するのである。外領では一百六十六ヘクタールで農場は二箇所にあるが、小規模のもので云ふに足りない。

10 珈 琲

珈琲の栽培歴史は百年以上にも互るのであるが、幾多の變轉を経て今日に至つた。その産額は南米ブラジルには及ばぬがアジアにては第一である。ジャワの栽培面積は八萬八千五百八十五ヘクタール、その中生産期に入つてゐるのは八萬二千九百四十六ヘクタール、外領一萬五千三十六ヘクタールに過ぎない。その産額はジャワは三千九百六十九萬七千キログラム、外領は五百八十八萬二千キログラムにすぎぬが、品質は極めて良好で、北米合衆國の市場に於ては第一等級の品質と稱せられ、中米地方の良品と對抗してゐた。この數字は農園の數字にして、原住民の隨意栽培はこの外である。この原住民の栽培は百餘年以前の珈琲強制栽培の遺物である。原住民の隨意栽培せるものは民家の附近に點在するもので、その面積は論ずる程でない。一般に原住民は珈琲嗜好の風があるが、これは回教を奉ずる人種はアラビアを崇拜し、アラビア人が珈琲を嗜むからその風習をまねたものである。

11 茶

ジャワでは栽培面積十萬五千五百四十四ヘクタール、その中生産期に入つたもの十萬三千八百二十六ヘクタール、外領三萬三千二百六十五ヘクタール、中生産期に入つたもの三萬三千一百三十九ヘクタールであり、殆どその大部分は生産期に入つたものである。換言すると新園の栽培は隆盛といへないこととなる。産額はジャワ六千三百二萬七千キログラム、外領一千八百三十萬二千キログラム、合計八千一百三十二萬九千キログラムである。斯くの如く新園の發達の緩徐なのは市價を維持せんが爲若干の生産制限をなし、新園を開かしめなかつたからである。

ある。然し一九四〇年の如きは未曾有の市價低落の爲農園の經營は甚だ困難を極めたものである。往時は支那茶を植ゑたこともあつたが、産額の少いと嗜好に適しなかつたのでアッサム種に換へたのである。土着民の方は數年以前の好況以來隨處に新栽培をなすやうになつた。この作物も亦ヘヴェアゴムの如く人力を要する事が多いのでジャワ以外では面積があまり増加しない。

ジャワは冷涼に多雨多霧の地を好む。ジャワの高山の斜面又は盆地はこれが適地であつて、深根植物であるから新火山土にて表土も心土も同一で、五、六メートルの厚さを有する地を理想とする。排水も良好でなければならぬ。製品は全部紅茶であるのに、商品には往時福建で使用した白茶、小種等の稱號を付してゐる。茶は原住民も嗜むが我が邦人、支那人の如く必需品ではない。然し漸次増加の傾きを有つてゐる。

12 規 那

此の樹は原産地であつた南米ペルー及びエクワドル兩國よりも却てジャワが適地であつたやうで、その故郷よりも優良なる成績を擧げるに至つたのはゴム樹と同じである。

ジャワの栽培面積一萬五千一百七十九ヘクタール、その中生産期に入つたもの一萬三千五百三十六ヘクタール、外領一千八百三十二ヘクタール、その中生産期に入つたもの一千四百四十九ヘクタール、産額ジャワ一千二十七萬六千キログラム、外領六百七十九キログラム、合計一千九十五萬五千キログラムである。元の官營のテニルワン農



園はマラバル山中にあり(バンドンの南方)、海拔一千五百五十メートルで、冷涼多雨質に理想の地である。栽培面積九百十七ヘクタール、その中生産期に入つたもの七百九十三ヘクタール、生産額一百万四千キログラムである。この元の官園は實に今日のキナ栽培を奮闘に成功せしめた根源であつて非常なる研究と努力の結晶である。

キナの用途は解熱劑以外にはない。故に大量栽培をしようと樹皮も用ふる所がなく一般の薪材と同じになる。それで従来は嚴に生産制限を加へ新栽培を許さなかつたのである。

13 カカオ

その栽培面積はジャワ六千一百七十二ヘクタール、その中、生産期に入つたもの五千三百九十三ヘクタール、外領二百九十三ヘクタール、その中、生産期に入つたもの七十七ヘクタール、産額ジャワ一百万五千七百七十七キログラム、外領七千キログラムである。

此の樹の原産地は南米オリノコ河の流域で、多雨温熱無風の地を好む。ジャワの如き無風静謐の地はその理想なのである。原産地附近の外、西アフリカのゴールドコーストの附近一帯は良好の産地である。アジアではジャワを第一とする。他にも南洋群島の谿間無風の地が良適なりと考へられる。是れは多雨温熱の條件を具してゐるからである。

此の樹は風を忌む事が甚だしいから、珈琲の如く簡單には栽培し難い。ジャワに於て改良した品種のジャワクリオロ、ジャワフオラステリオは世界に有名なる品種である。然し栽培上の困難はヘヴェアゴム、珈琲、茶と比べる

ことが出来ぬほどなので原住民の家の附近にも栽植されてゐるが、結實したのを見るのは稀である。恐らく原住民の産額なるものは數字に記する程度に上らぬほどの微量であらうと想像される。

14 コカ

この藥品は麻酔性のある毒藥なので、國際協約により栽培地及び數量を限定せられてゐたから増加することはなかつたが、ジャワは多雨温熱の爲頗る好適地である。ジャワの栽培地は七百三十一ヘクタール、その中生産してゐたものは六百六十一ヘクタールであつた。外領は二ヘクタールに過ぎなかつた。

15 ココ椰子

この樹は舊蘭印の到る所に栽培されてゐる。ジャワは七千三百九十一ヘクタールで、その中生産してゐるもの六千六百六十五ヘクタール、外領四萬二千四百七十七ヘクタール、その中生産してゐるもの三萬三千七百七十六ヘクタール、その果實をコブラとするものはジャワで一千九百六萬キログラム、外領三千三十九萬四千キログラム、合計四千九百四十五萬四千キログラムである。然しこの數字はもとの官有地貸下の農場でその外に原住民が隨意に栽培してゐるものを含んでゐない。原住民の栽培は恐らくはこの數字に十數倍するものであらうと考へられる。

就中大東地方(マカツサル以東を指す地方の總稱である)の海岸では是れを植ゑぬ人家は一軒もないのである。特に海岸潮風の吹く地が最も好適である。故に海中の珊瑚礁の上にさへ善く繁茂するのである。此の例は舊蘭印の



みならず我が南洋群島にも顯著である。高度は一千メートルを上らぬやうであつて、例へばブレアンガン州のガロの東方バヨンボンの邊で一千メートルの地は繁茂してゐるのに、その上段のチスルパンの一千二百メートルに行くとい株も存しない。原住民の言によると之を植えても直ぐに枯凋して任舞ふと云ふ。樹齡は百年までのもので大抵は八、九十年に達する。然し四、五十年以後は結實も漸く稀となる。概ね人の一生に同じい。故に原住民は子を産めば若干株を植ゑその子の一生の資産に充つる習慣となつてゐる。

16 オイルパーム

栽培の歴史は三十年位であるが、今は到る處に栽培し、就中スマトラを第一とする。ジャワは八百九十ヘクタール、その中生産するもの七百十一ヘクタール、外領(主としてスマトラ)九萬一千四百十三ヘクタール、その中生産するもの七萬三千七百九十九ヘクタールである。

生産は果肉を核子と共に油を含むのであるが、果肉は遠輸することが出来ぬので製油工場を有せぬものは是れを放棄する仕末である。果肉は長時間を存置せしむることが出来ないからである。故に統計は核子のみでジャワ七萬三千キログラム、外領四千七百九十六萬三千キログラムとなつてゐて、ジャワが著しく少額なのは奇異に思はれるが、これは統計數字のみにては考へ難いが、製油せるものジャワで八十八萬七千キログラム、外領二億二千五百七十八萬一千キログラムとあるから、恐らくジャワでは到る處に製油工場があるから、直ちに製油し油として生産し、

それが統計に表はされ果肉よりの採油が不明となつてゐるものと思はれる。

17 ナットメグ(肉豆蔻)

この果實はバング島に最も多く、其の他大東地方では到る所に産する。ジャワにも栽培してゐる。ジャワの栽培面積は一千五百四十六ヘクタール、その中生産出来るものは一千二百九十三ヘクタール、外領一千一百六十六ヘクタール、その中生産の出来るもの一千九十四ヘクタール、果實産額としてジャワ十九萬四千キログラム、外領二十八萬二千キログラムである。然し大東地方の野生品はこの數字に含まれない。

この樹はモルクセ群島の自生であるから其の地方では特に栽培をしなくても容易に採取される。果實の核の外方を包被せる肉膜は核子と全く品種を異にし、極めて高價なのであるがその量は至つて少い。核のことを商品としてはナットメグと云ひ、肉膜をメースといつてゐる。

18 カボック

この樹はジャワに於ては二萬二千二百六ヘクタール、外領一千二百六十八ヘクタール、その中生産するものジャワ一萬六千二百八十一ヘクタール、外領二千一百四十五ヘクタールである。ジャワでは道路等の並樹にも是れを栽培してゐる。垂直の樹木で枝を直角に擴げてゐるのでよく電信柱に代用されてゐる。だから花時には電信柱に花が咲いてゐるやうである。この果實には纖維と子實とが有る。此の樹は栽培が容易で特にジャワの東部に多い。乾

濕とも適するが乾地の方がより良いやうである。

子實の油料に供するものはジャワ五百十二萬キログラム、外領六萬七千キログラムである。油としては棉實油に殆ど同じく油滓も又同じい。

19 胡椒

此の子實は香料として人の皆知る所である。多雨温熱の地を好み、ジャワ西部及びスマトラに多い。ジャワに於ては二千六百六十四ヘクタール、外領一百三十六ヘクタール、その中生産するものはジャワ二千二百八十三ヘクタール、外領五萬三千キログラムである。土着民の住家周邊に植えてゐるものは此の數には含まれてゐない。多く喬木に纏繞して生茂してゐる。

20 ガムビア

この植物は我邦人には親しまれてゐない。

ジャワでは栽培されてゐない。外領では一千七百四十五ヘクタール、中生産出来るもの一千六百三十七ヘクタール、生産量二千二百二十八萬九千キログラムで大半はスマトラの産である。

21 シトロネラ油

シトロネラ油は、ジャワでは六千九百四十一ヘクタール、外領二十六ヘクタール、その中生産の出来るものはジ

ヤワ六千四百四ヘクタール、外領二十ヘクタール、生産量ジャワ六十三萬八千キログラム、外領一千キログラムである。産地は大體に於て西部ジャワ、就中ブレアンガン州を第一とする。一九三〇年頃好況時代には一萬五百二十五ヘクタールの栽培をなしてゐたものである。

22 砂糖

製糖工場數は一九三八年には九十四を數へたが、操業せるものは八十工場であつた。最近の不況は著しく經營を困難ならしめ、一九四〇年には更に減少を見た。一九三〇年には一百七十九工場全部操業してゐたもので、これに比べると現在は三分の一に近きまで減じたのである。

現に收穫してゐる面積は八萬四千八百二十九ヘクタールであるが、一九三〇年には十九萬八千七ヘクタール、一九三一年には二十萬三千八百一十一ヘクタールであつた。

生菓の産額は一百十八億六千七百五十五萬四千一百キログラムで、一九三〇年の二百五十七億八千五百一十一萬五千八百キログラムに比べると半にも達してゐない。然し毎ヘクタールの産額は十三萬八千五百キログラムで、一九三〇年の十三萬三千キログラムに比べると増額してゐるのは品種の改良とそれにヘクタール當の産額の少い地は工場を閉鎖したりしたので自からヘクタール當が増加するに至つたのである。

砂糖の生産量は一九三八年には十三億七千五百五十一萬キログラムで、一九三〇年の二十九億一千五百八十六萬

五千九百キログラムに比べると同じくその半にも及ばない。

何故に斯くの如く減少したかを探究すると、十年以前は英領印度の需用が相当多かつたのであるが、英領印度の自作蔗園の増加に伴ひ輸入の漸減を來たしたのが重大なる原因となり、次で臺灣の増産により我が邦需用の減額を來たしたのも他面の理由であるとされる。然し舊蘭印の最重要輸出品であつたので舊蘭印政府は十分に保護をなし、國費を以てこれが品種の改良を計り、年々優良新品種を生産して配布をなし、工場を減少しつゝ産額を漸減に止め、單位收穫の増加と不良工場の閉鎖整理をなし來つたのである。

三 畜産資源

東印度に於ける畜産は牛及び水牛を主とする。

1 牛 水牛、馬

牛はジャワに於ては一九三八年の統計は三百五十五萬五千八百五十九頭、水牛は一百九十九萬八千九百九十二頭で、馬は著しく少く二十二萬二千六百三十二頭で、三者の合計は五百七十六萬九千三百八十三頭である。

スマトラは牛三十五萬六千九百九十九頭、水牛三十五萬九千五百二十七頭、馬三萬四千五百七十八頭である。三者合計七十四萬四千七百四十四頭にして、ジャワの八分の一を超えるに過ぎない。

ボルネオは更に少く牛三萬一千九百一十一頭、水牛三萬三千三百一十一頭、馬四百四十三頭、三者合計六萬三千七百六十五

頭であつて甚だ少く。

次はバリ、ロンボクの兩島でこれは著しく多く、牛三十三萬三千八百頭、水牛八萬二千九百二十四頭、馬二萬一千五百八十八頭、三者合計四十三萬六千九百九十四頭で遙かにボルネオの上に出で、スマトラの半を超えてゐる。

セレベスのメナド地方は牛十二萬五千七百三十四頭、水牛一萬八千七百九十頭、馬二萬八千九百五十五頭、三者合計で十七萬二千六百九十九頭、レベス南部は牛一萬三千六百四十三頭、水牛三十九萬七千四百九頭、馬十四萬四千七百八十四頭、三者合計五十五萬五千八百三十六頭にして著しく馬が多い。

チモール及東方諸島は牛五萬四千五百七十五頭、水牛三十一萬七千九百一十一頭、馬二十四萬二千九百四頭、三者合計六十一萬四千五百七十頭で殆どスマトラに近い。

この統計によるにジャワは牛の頭数が遙かに水牛に勝り二倍に近い。西ジャワでは水牛は牛の十倍で、中部は水牛が牛よりやや多く、東部は牛が水牛の七倍になつてゐる。この現象は牛は耕耘よりも運搬用に供する事が多く、水牛は殆ど米田の耕作用なのである。故に蔗園と正比例するので米田のみならば西部の十倍と蔗園の存する中部はその比が接近し、東部は蔗園多き爲、斷然牛が水牛に勝つてゐる。木材運搬の如きも牛を用ひ之に水牛を用ひるとは少く。

かくの如く重量物の運搬が多い地方は牛が水牛に勝つてゐる。米田耕耘用として殆ど水牛を用ひ、泥中を行くの



にはこれを便としてゐる。故にスマトラには相半しアツチエの如き水田少き地は牛が水牛より多いのである。ボルネオに少いのは人が少いからである。西ボルネオは牛一萬三千七百二十八頭で水牛は四百五十四頭にすぎない。

馬は輕車用であるから人が多くて道路の宜しくないところでは用ひ難く、文化の發達に正比例してゐる。メナド地方に馬の多いのは輕車の用が多く重量運搬が少いからである。

セレベス南部は水田が多いので水牛が斷然多い。中南部一帯の原住民は水牛を用ひて居り、馬は輕車用に當つてゐる。

チモール及び小スンダ諸島には非常に馬が多い。是れはスンバ、スンバワ、フロレス等が産馬地なのであるからで、こゝは舊蘭印の冀北なのである。

バリ、ロンボクはジャワの延長で、その家畜も農業も皆ジャワに同じい。而して牛の特に多いのはバリが牛の産地だからである。ジャワの牛もバリ、ロンボクから送致するものが少くない。スンバの馬バリ、ロンボクの牛皆その主なる産地である。

舊蘭印の牛の總数は四百四十六萬三千四百三十九頭で、水牛三百九十九萬九千九百四十四頭、牛族の合計七百六十六萬三千三百八十三頭であり、馬は六十九萬三千五百九十四頭で、その半ばはセレベス南部と小スンダ、チモールに産して居り牛、水牛、馬の三者は合計八百三十五萬六千九百七十七頭である。而してジャワはこのうちで五百七

十六萬九千三百八十三頭を有してゐるのであるから家畜の数は人口と文化を正しく反映するものゝやうである。

2 豚

豚はジャワで十萬六千四百四十二頭、スマトラが三十一萬三千五百九十頭、ボルネオが十四萬二千四百八十一頭、メナド十一萬九千七百五十一頭、セレベス南部七萬三千七百八十四頭、チモール、小スンダ十三萬三千九百二十五頭、バリ、ロンボク二十四萬一千四百一頭となつてゐる。

この數字を見るとイスラム(回教)の盛なる地方とさうでない地方との相違はつきりと判るやうである。ジャワにはイスラムの熱心なる信仰があり、この教徒は豚肉を不淨なりとして決して之を食はない。食はないばかりか豚に觸れることすら不淨とし、之を飼養するが如きは絶対に許さないのである。故に之を飼ひ之を食ふのは支那人でその飼養した肉は支那人と少許の歐人の食膳に充てられるのみである。

スマトラにもイスラムが多いが、これはジャワのやうに熱烈でない。故にジャワに比して豚の飼養が多い。特にスマトラ内のタバヌリ地方には十七萬五千五百五十一頭を飼養されてゐる。

ボルネオには十四萬二千四百八十一頭が數へられ、このうち十一萬七千三百十頭が西部にゐる。西部には支那人が多いからである。

メナドに多いのはこの地方にはイスラムが少く殆ど基督教徒なるが故である。故に豚肉を忌まず飼養者も多い。

小スンダの多いのはやはりイスラムに非ざる教徒が多いからである。バリ、ロンボクは舊時印度教でイスラムに轉宗せないものが居住してゐるから豚を飼養するものが頗る多い。二十四萬一千四百一頭といふ多數は斷然他地方を産してゐる。こゝではジャワの各地の肉市に出すばかりでなく遠く昭南島の邊まで輸出してゐる。

舊全蘭印の豚の總數は一百十三萬一千三百七十四頭である。これを臺灣に比べると三分の一にすぎないがこれは全くイスラム教の爲その飼養を阻止されるためである。

3 山 羊

山羊は豚の少いの反し極めて多い。ジャワは二百五十二萬七千四百二十六頭、スマトラは二十九萬六千五百三十四頭、ボルネオは二萬五千八百八十一頭、メナド六萬四千二百六十六頭、セレベス南部十一萬二千一百七十九頭、チモール及東方諸島十五萬七千一百五十五頭、バリ、ロンボク三萬四千九百八十八頭となつてゐる。

ジャワ原住民間の肉用食獸は山羊であるためにこのやうに多いのである。他の地方には人が少いか又は豚を用ふるかによつて少いのである。舊蘭印總數は三百二十萬八千三百九十九頭である。

4 細 羊

ジャワで二百二十四萬四千六百二十一頭、スマトラで四萬四千五百二十二頭、ボルネオで一千六十九頭、メナド一萬五十九頭、セレベス南部二千一百二十一頭、チモール及東方諸島三萬一千二百六十六頭、バリ、ロンボク三千七百四

頭、蘭印合計一百三十三萬七千一百二十二頭となつてゐる。

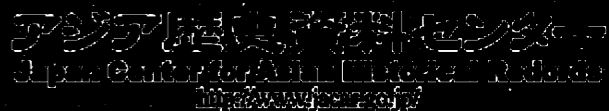
細羊は食用を主とし、毛用はごく稀で、毛も亦良好でない。一般にこれらの小畜畜は大家畜に比して少數のやうである。

5 皮 革

家畜の副産物としての皮革は次のやうである。

牛皮はジャワ三十七萬七千七百七枚、外領二千五百五十八枚、合計三十八萬二千三百三十五枚、水牛皮はジャワ十五萬三千三百十六枚、外領七萬一千九百五十五枚、合計二十二萬五千二百七十一枚、山羊皮はジャワで一百八十五萬四千五百枚、外領二萬七千二百四十四枚、合計一百八十七萬七千六百四十九枚、細羊皮はジャワで十三萬三千五百四十四枚、外領五百六十五枚、合計十三萬四千一百九十九枚、其の他の動物皮革はジャワ十九萬八千五百四十一枚、外領二十六萬八千五百四十八枚、合計四十六萬七千八百九十九枚である。此等の數字は皆外國に輸出せる枚數を計上したもので、此の外に國內使用も相當にある。其の他の動物は何を指すかは明らかでないが、一九三〇年より一九三五年に至る間は百萬枚も超え、一九三三年の如きは三百二十二萬五千四百六十九枚の巨額に上つてゐた。

所が一九三六年より漸減し、一九三八年に至り四十六萬七千八百九十九枚といふ少數となつたのであるが、これは恐らくは捕獲數の減じたのではなくして、需用數が減つた爲に輸出せぬやうになつたのであらうと思はれる。舊蘭印の動物は未開の地が多いのであるから二、三年の間にこんなに激減するものではない筈である。



是を家畜皮革に就て見ても何れも激減と云ふほどではないが漸次減少してゐる。水牛皮以外は一九三〇年に比べると一九三八年ではその半數に過ぎない。細羊皮の如きは四分の一である。恐らくは通貨たるギルダ貨の爲替高によつて他の低通貨國との競争に敗れ輸出不振を來たしたものと思はれる。

價格も統計によると一九三〇年の皮革輸出は一千四百二十八萬八千ギルダで、一九三八年は三百七十七萬四千ギルダとなり三分の一に充たぬ仕末である。然し一般に舊蘭印は家畜の數が多いとは云へない。従つて皮革も多量に上らぬのは當然である。

生獸でジャワが外國より輸入するものは馬二百四十三頭、牛十頭となつてゐるが、東方の諸島よりの移入は馬一萬七百三十二頭、牛五千四百七十三頭、水牛三千五百十八頭、豚一萬二千四百五十八頭に及んでゐる。而して馬一百二十頭、牛一萬三千一百二十九頭、水牛三千七百五十五頭、豚九百八十一頭を外領に移出してゐた。

外國輸出は僅少で牛三十五頭、馬一頭に過ぎない。外領より外國に輸出したのは馬は六頭で、牛は一萬六千一百四十八頭、水牛六百一十一頭、豚七萬八千四百二十二頭を算する。この仕向地は昭南のやうである。

バリ、ロンボク、東方諸島はジャワに家畜を供するの外、マライ等の外地にも是が輸出を見てゐたのである。家畜の副産物として牛骨、牛蹄、羊毛、牛角、水牛角等は多少の産出はあるが、その統計がないので判明しない。恐らくは相當多數に上つてゐたものと思はれる。牛脂のごときも亦統計を缺いてゐるが相當なものと思像

される。

四 鑛産資源

1 石油

舊蘭印の油田は、之をスマトラ油田、爪哇油田、ボルネオ油田、セレベス油田、ムナ油田、チモール油田、セラム油田及びニューギニア油田に大別することが出来、スマトラ及爪哇に於ては油田は殆ど全部火山脈の内側に存在し、ボルネオに於ては東海岸一帯の地に、セラムに於ては北岸地方に、チモール島に於ては北東部に、ニューギニアに於ては、ソロンよりマノクワリに至る線より南方の地帯、殊にマツククルーエル灣（西北端部）の兩岸地方及びワボガ河よりマムベラモ河に至る地帯に存在する。現在採掘されて居るものはスマトラ、爪哇、ボルネオ及セラムの各油田のみで、他は何れも今後の調査により其價值を決定せらるべきものであり、内ニューギニア油田は既に一九三六年より調査を開始せられてゐるが未だ實績は擧つてゐない。

現在採掘せられて居る前記四島の油田に就いて觀ると次のやうである。スマトラ島の油田は南部、北部に分たれて居り、南部のものはバラムバン州及びチャムピ州内に、又北部のものはスマトラ東海岸州の北部及びアチエ州の東北海岸に在る。バラムバン油田は現在隆盛を極め、舊蘭領の産油地中一頭地を抜き將來大いに囑望されて居る。鑛區は高地と低地とに分れ、高地にはものコロナール石油會社のタラン・アカル及びベンドボ及びブラカト



の三油田並にもとのバターフェ石油会社のムアラ・エニム及びスパン・デリヂの二油田とからなり、低地にはムシ河の中流に位するもとのバターフェ社のババト油田があり、何れも大油田である。殊にベンドボ、スパン・デリヂの兩油田は産出量多く、一九三四年以來當州の産出量がボルネオを凌駕するに至つたのは一に此の兩油田の産出増加に因る。尙以上の採油區の外スマトラには至るところ未開の油田があり、パトラヂヤ、タンヂオン、グラヂヤ、カユ・アグン、ラハト、スカユ、バゲララム、ルブ・リンガウ、ムアラドア、マルタブーラ及びティンテンギの各地方に於てはもとのバターフェ及びコロニアルの二社に對し最近廣大なる面積の試掘許可が與へられ、將來大いに期待されて居る。ヂヤムビ油田は計四十四出油區に分たれて居るが、大部分パタン・ハリ河の南岸地帯にあり、バレムバン州と同様州内石油を産出せざるところ無しと迄云はれて居る。現在採油されて居る坑區はヂヤムビの西に位するパヂヨバン及びタンビノの二坑區で、南方に發達し、現在は北部バレムバンのババト及びクルアンの兩油田を總稱するクルアン・プロツクに編入せられて居る。

北部油田はアチエー州のブルラク油田とスマトラ東海岸州のテラガサイド油田（別名ランカト油田）及びアル灣油田より成り、前二者はもとのバターフェ石油会社、後者は舊蘭領印度石油会社の經營に係るものである。當地の産油量はバレムバン、ヂヤムビ同様年々増産の一途を辿り、就中ブルラク油田の産出量は近年飛躍的增加を示して居る。

ボルネオ島に於ては、石油は南東部州の東海岸一帯に埋藏せられ、南方はバリト河以東の地より北は英領ボルネオに接するチドン地方に至るまで油脈が連なつて居る。現在採油せられて居るのはサマリダの南部に位するサンガ・サンガ油田の中樞をなすルイズ、グレム、ムアラ及びサンボヂヤ、タラカン島のバムシアン油田及びタラカンの北に位するブンチュ島の油田のみであり、何れももとのバターフェ石油会社により採油されて居る。以上の外バクバンの南方に位するバシル河の下流地方、サマリダよりサンクリランに至る地方及びチドン、ブールンガの二地方の沿岸地帯には未開の坑區が多數存在して居る。本州は一九三四年以來産出量を減じ、現在に於ては従來舊蘭領第一の産油地の地位をバレムバン州に奪はるゝに至つたが、新油田開發の曉には再び地位を挽回するものと觀られ、現にバリト河下流附近に於て大規模の試掘が行はれて居る。

爪哇に於てはバンタム、チエリボン、スマラン、プロラ、ボジョネゴロ、スラバヤ、マヅラの諸方に油田があるが、現在採油されて居るのはスマラン、プロラ、ボジョネゴロ、スラバヤ及びマヅラの四地方のみである。主産地はプロラ地方のバノラン坑區、チボン、バンヂヨバン、バボ、ブタク、トレムブル、スラバヤ地方のヂヤバコタ、トツールフデ・デサス、リダ・クロシ、マデ、ボジョネゴロ地方のチナツン、ゲグヌン等でプロラ、スラバヤ、ボジョネゴロ地方の油田が最も多量に産し、スマラン及びマヅラの産油量は極く僅かである。採油会社は殆ど全部もとのバターフェ社で、もとのコロニアル社はプロラ地方に若干の油井を有するのみで産額も餘り多くない。

錫は舊蘭領印度に於ては西曆一七一〇年頃當時猶バレムバンのサルタン領に屬して居たバンカ島に於て初めて發見され、爾後一八一二年迄バンカ錫は同サルタンの仲介に依て東印度會社に納入されて居たが、當時蘭人はバンカの政治に錫の採掘には直接關與しなかつた。

一八一二年に至り本島は當時未だ錫鑛が発見されて居なかつたピリトン島と共に英國の統治下に置かれることとなり、同時に錫の採掘組織に大改革が行はれ、産額大いに増加し、一八一三年には約四百五十噸の産出を見たのであつたが、一八一六年には一千五百五十噸の産出を見るに至つた。又同年本島は再び和蘭の領有に歸し、爾後最近まで同地に於ける錫の採掘は専ら政府に依つて行はれて居る。埋藏鐵量は年三十五萬擔採掘するとして今後四〇年乃至五〇年間採掘を繼續し得る規模のものであると見積られて居り、更に比較的含錫量の少ない鑛石をも採掘する時は生産費は必然的に高くはなるが、其後と雖も相當長期に亙つて採掘し得るものと見られて居る。

舊蘭領印度に於ては、バンカ島の外ピリトン及シンケブ島にスマトラ西海岸州のバンキナン附近に錫鑛が発見され、現在何れも採掘されて居る。ピリトン島に初めて錫が発見されたのは一八五二年で、元來コンセツションは一八六〇年より一九二三年六月一日迄同島に於て錫鑛業を經營して居たピリトン會社の手にあり、近時は同社と舊蘭印政府との合辦會社たるピリトン共同鑛業會社により經營せられて居たものである。本島の錫鑛石埋藏量は一百九

十萬擔と云はれて居る。

リング群島の南部にあるシンケブ島に於ては、既に十八世紀末に土着民に依つて錫鑛が採掘されて居た。一八八七年リオリンガのサルタンは、シンケブ島に於ける沖積錫鑛地帯と開發權を原住民に與へたが、その採掘權は一八八九年シンケブ錫會社の手に移り、同社は又同島の南東沿岸の海中にある沖積錫鑛床の採掘權をも有して居たのであるが、一九三三年七月ピリトン共同鑛業會社に合併するに至つた。シンケブ島は面積小さき關係上生産高も亦他の二島に比して非常に僅少である。

スマトラ島のリマ・コタにあるバンキナン附近に錫鑛が発見されたのは最近のことであるが、採掘は一九二〇年ピリトン會社の主腦部に依つて設立されたスタナム鑛業會社に依つて一九二六年より開始され、尙同會社はスマトラ東海岸のシアクの西部地方及び南スマトラのテロクパトン地方並に香料群島のバチャン島に試掘權を有し、全領内に二十七區合計三十五萬陌の採掘權を有してゐたものである。

其他リオー群島の二、三の島には沖積錫鑛床があり、其の内カリムン（鑛區面積一萬六千一百七十陌）及クンドール（鑛區面積二萬七千陌）の兩島に於ても最近採掘が開始された。採掘會社は一九二六年十月八日ピリトン會社を主班として設立された舊蘭領印度錫採掘會社であつた。

舊蘭領印度に産する錫鑛は錫と酸素の化合物たる錫石で、其の最も純粹なる状態にあるものは七八・六%の錫を

含んで居る。舊蘭領印度は錫産國として世界第三位に位するのである。

3 石 炭

現在石炭を産出して居る地方はスマトラ、ボルネオの二島のみで、官營炭坑と私營炭坑とがある。官營炭坑はスマトラ島パタン高地にあるオムピリン炭坑、同パレムバン州のプキトアセム炭坑の二炭坑で（南東ボルネオの南端に位するプルー・ラウト炭坑は一九三二年以來閉鎖された）民營のものは全部南東部ボルネオのマハカム河（別名クテイ河）の流域及び北部のペラウ河の流域に在る。而してその生産量は次表の如くである。

石炭生産表

年次	官營炭坑		民營炭坑	
	生産量	炭坑夫數	生産量	炭坑夫數
一九三〇	一、二三五 <small>百萬噸</small>	一一、八一七	六一一 <small>百萬噸</small>	五、二九一
一九三二	九〇七	八、四六二	四六四	三、九七五
一九三三	六一六	五、二五六	四〇七	三、四五〇
一九三三	六二六	四、六七九	三七五	三、一一九

一九三三	一、二三三	四、八七六	五三二	三、〇九二
一九三八	九七三	四、九一九	四六〇	二、七六五
一九三七	八九六	四、九二二	四七六	二、四六一
一九三六	七三九	四、三四五	三八〇	二、五一二
一九三五	六九一	四、四〇八	三九九	二、五九一
一九三四	六二四	四、三八四	三八六	二、七八七

(1) オムピリン炭坑

本炭田はスマトラ西海岸州のサワ・ルントにあり、一八六八年に發見されたもので、一八九二年政府に依つて採掘を開始された。炭量一億九千三百萬噸と稱せられ、面積は南北十軒東西九軒に互り、地勢上三區に分れて居る。最北部にある區域には炭層が三、四あり、何れも厚さ十米位のもので、夫れ以下の薄層は四乃至十層ある。其の南にあるものは七層の炭層を有し、内四層の厚さは合計四米である。最南にあるものは最も早くから採掘されて居り、炭田の廣さ十六平方軒、炭量は約一億四千四百萬噸と稱せられ、炭層の平均厚さは七米位である。オムピリン炭は光澤を有し、貝殻狀の割れ目を生じ粉炭が少い。又炭坑から積出地たるバグンまでは百五十軒の鐵道が敷設してあり、舊蘭印政府は本炭田に四千萬盾を投資したものであるが、内三千六百萬盾は鐵道敷設

に費されたものである。當時坑夫は主として囚徒を使役してゐた。

(2) ブキト・アセム炭坑

本炭坑はバレムバン州ムアラ・エニムの南西約十二軒の地點に位するタンジョンエニムにあり、其の積出港たるバレムバン迄二百軒ある。元來バレムバン州には多量の石炭が埋藏されて居り、其の炭量は約十八億噸と見積られて居る。炭坑は一九一九年に舊蘭印政府の經營するところとなつたものであるが、餘り多くの産出を見て居ない。坑區は一億坪で炭層は四箇、厚さは十二米、六米、五米及び三米である。炭量は過渡期の石炭六千六百九十九萬一千五百九十二噸、光澤のあるもの八千二百六十九萬九千九百四十六噸及び無煙炭一千五百萬噸、合計一億六千四百六十萬一千五百三十八噸と計算されて居る。品質に於ては他の炭田に優り、もとは海軍用炭として使用されて居たものである。

(3) ランタウ・バンヂヤン炭坑

本炭坑は南東部ボルネオ州ベラウ河の流域に位するランタウ・バンヂヤンにあり、K.P.M汽船會社の子會社たるバラバツタン石炭會社により採掘され、石炭は總てK.P.M社の自家用に供せられてゐた。その埋藏量は不明である。

4 金・銀

金・銀は現在スマトラ島のベンクルン州のレヂヤン及びレボン地方、メナド州の北半島及び西部ボルネオ、南

東ボルネオから産出する。

政 府	經 營 者 名	鑛 區 名
レヂヤン・レボン鑛業會社	レヂヤン・レボン	タンバン・サワー
シウマ鑛業會社	シウマ	レヂヤン及びレボン
イクエーター鑛業會社	イクエーター	シウマ
プリムビン鑛業會社	プリムビン	イクエーター
ボランモンゴンドー開發會社	ボランモンゴンドー	プリムビン
ザ・マウント・パニ鑛業會社	ザ・マウント・パニ	タバイキン
グヌン・マス鑛業會社	グヌン・マス	バグアト
		スムベル・マス

以上の外ボルネオ西海岸州に於てはカプアス河の中流地方及び南東部ボルネオに於てはバンヂヤルマシンの東部マルタプーラ地方及びバリト河の中流地方に砂金を産する。

尙最近ニウギニアに於ては漢領との國境近くの山地に有望なる金鑛が発見せられ之を開發する爲、英・蘭合辦の舊蘭領ニウギニア鑛業會社が設立せられ、本會社への出資會社は舊和蘭側スタンナム鑛業會社、エルドマンシール

ケン会社の二社、漳州側四社で、その中ニウ・コンソリデーテッド社が最大の資本力を有し多額の資本の外、機械類をも提供することになつて居た。

兩州に産する金銀鑛業に於ても亦舊蘭印政府は直接事業を經營してゐたが、一九三二年之を放棄し民間に於ても不景氣の爲事業を休止する者續出し、近時は少數の会社が事業を繼續して居たに過ぎない。

5 其 他

(1) 金 剛 石

東南部ボルネオ州の首都バンダルマシンの東方マルブーラを去る十軒の地點に位するチヌムバカを中心として産し、採集は支那人及び原住民により行はれて居た。又西部ボルネオ州メルバイン河の上流の上部ランダク地方にも産し、年産四千餘カラット、價格六萬五千ギルダー前後であつた。

(2) 滿 倦

滿倦は爪哇のチョクチャカルタ州のクリリバン及びチラチヤツプの瘠地に産し、年産一萬一千三百噸（一九三六年）であつた。

(3) 沃 度

沃度は爪哇のストラバヤ州及びレムバン州に産し、もとオリエンタル石油會社、合同沃度工業會社外二社が採集

に従事して居たものである。

(4) アスファルト

天然アスファルトはセレベスの南方に位するブートン島に於て産出されて居り、採掘會社はもとブートン鑛業農事會社である。年生産高二千一百九十九噸である。

(5) 硫 黄

硫黄は滿倦鑛山を經營する同一會社により爪哇のカワ・プテに於て採掘せられてゐたもので、又同島のウキリラン山に於ては原住民により採掘されて居た。年産一萬二千四百噸である。

(6) ポーキサイト

ポリオ群島のピンタン島に豊富に存在し、舊蘭領印度錫採掘會社の子會社たる舊蘭印ポーキサイト採掘會社が採掘して居たもので主として獨逸、日本及び其の他に輸出せられる。年産額十九萬八千六百七十噸である。

(7) 鐵 鑛

鐵鑛は爪哇のケツ1及びバンニューマス州の海岸（磁鐵砂）、スマトラのラムボン州、ボルネオ南東部州の南東地方、セレベスの湖水地方、モルツケン群島のオピラ、ファウ、ルイブ、ワイゲオの各島を主とし各地に存在して居るが未だ何れも採掘されて居ない。

爪哇のケヅー及びバンニューマス州の印度洋岸の鐵鑛は磁鐵砂で、此の採掘コンセツションは舊蘭領印度鐵鑛採掘會社の手にあつたが未だ採掘されて居ない。本コンセツションは合計三千七百六十八陌の面積を有し、チラチヤツプよりケヅー州の東部境界に至る約百十二杆の距離に亘つて海岸に沿つて伸長して居り、砂鐵含有率は三〇・七五%を占め場所によつては八四%に達して居る所もある。鑛量は相當多く、鑛床の厚さ平均〇・五米、砂鐵の集中率四〇%、比重を五とする時は鐵分平均五七%の鐵鑛三千五百萬噸と計算せられ、之より二千萬噸の鐵を製することが出来る。

スマトラ島ラムボン州に於てはオーストローフェンの北方七・五杆の地點に存在し、ブルハンの鑛山を首班とする九箇の鑛山が一團を爲して居り、推定鑛量二千九百四十萬噸で品位は六二%である。

ボルネオ島の南東地方に於てはククサン山脈中のスンゲイ・ドゥワ、南端のプライアリの東方に位するキンクブ附近のグヌン・タムバガ及びグヌン・パトコラ、セベタ島、ラウド海峽内のスワンギ島及びラウト島の西南四十杆の地點に横たはるモレツセス群島中のグナワン島に存在する。

五 林 産 資 源

東印度諸島は廣大な處女林によつて覆はれてゐるのであるが、林業の發達が比較的遅れてゐたため林産物の輸出に占める地位は農業に比較して頗る低い。ジャワの森林は一般に國有林となつてゐるが、土侯州及び原住民自治

州等の間接統治地域にある森林は名目上は土侯の所有に屬し、實際上の支配權は舊蘭印政府の手にあつた。林業のうちで最も收益のあるものはチーク材であるが、このチーク材は大部分が國內に於て消費されてゐた。

これに反して外領の木材輸出は極めて大きい。就中、ボルネオの木材産業は東印度諸島中第一であり、こゝには南洋林業株式會社はじめ日本人の企業に廣大な許可制が與へられてゐた。そしてボルネオ材の輸出先は殆ど凡て日本であつた。北部サレベスから輸出される黒檀材も同様日本向が多かつたが、その優良品はフランス、アメリカ及びオランダにも輸出されてゐた。蘭領チモールの白檀材は概ね香港に輸出されてゐた。

重要林産物の一九三六年に於ける輸出額を示せばチーク材の九十九萬八千八百九十九ギルダを筆頭とし黒檀材二十六萬五千ギルダ、白檀材一萬五千ギルダ、鐵木類一萬ギルダ、雜木二百四十萬ギルダ、及び木炭五十五萬ギルダ等であつた。この外に林産物も相當の輸出があつて、例へばグマールその他の樹脂だけでも一九三六年の輸出額は二百九十萬ギルダに上つてゐた。樹脂の産地は大部分外領であつた。

今、ジャワ、マヅラに於ける林産物及び外領木材生産高を表示すると次の如くである。

ジャワ、マヅラに於ける林産物表

年次	木		材		薪材・一〇〇〇m ³		木炭	木皮	竹材
	チーク材	雑木材	間伐材	チーク材	雑木材	間伐材			
一九三〇	三〇一	三三	八一	九四二	一六九	一五〇	八、八六六	七六八	四、〇二四
一九三一	二四三	二六	一一三	八五六	一五一	一三八	七、九九〇	三一八	五、二九四
一九三二	一五九	二五	七二	五一八	一六九	一〇五	四、五二六	八四〇	六、五七
一九三三	一七八	一七	八六	四四二	二一〇	一六三	八、四三八	三二五	四、七七六
一九三四	一七八	二五	九二	四七八	二二二	二〇九	一〇、六八九	三三三	二、〇五三
一九三五	一三二	二二	一〇六	四二九	一五八	一三三	一〇、〇四四	一、七四一	一、二九一
一九三六	一五五	二六	一〇六	四六八	二八二	二七六	一一、四三七	八五八	二、八八六
一九三七	二六七	二〇	一七六	六二二	二七〇	三三八	一六、一〇九	一、七八八	五、六三一
一九三八	二七六	三七	一七一	六二六	二七〇	三八六	二二、四九九	九六二	一、九八五
一九三九	三〇八	四三	一九九	六九五	二二九	三三四	二二、二三三	一、四八九	一、三五四

外領木材生産高表

年次	木	材 (立方米)	薪材 (スタックド)	木炭	炭 (千觔)
一九三一	六九四、六八二	一、八二〇、五九三	五四〇、五一四	八〇、四六九	
一九三二	六九六、四二六	一、五三九、二二〇	三六九、二二〇	六〇、六五五	
一九三三	五三一、八五一	一、四八七、二〇〇	四八七、二〇〇	四二、二二九	
一九三四	六一六、三〇〇	一、五七七、三〇〇	五七七、三〇〇	四七、一〇〇	
一九三五	八三三、一〇〇	一、〇一九、八〇〇	七〇九、三三六	四八、七九三	
一九三六	八四五、三三三	一、〇一四、八〇〇	一、一四九、六五一	五八、一〇〇	
一九三七	九八〇、二〇〇	一、〇三三、五五一	九五四、二二二	四六、二四四	
一九三八	一〇三三、五五一	一、〇九二、一九二		五〇、四五七	
一九三九	一〇九二、一九二				

六水産資源

東印度の水産業はセレベス島メナドを中心とする日本人の活躍と、スマトラ島バガン・シ・アピアビを中心とする
 支那人の活動に委せられてゐたかの観がある。昭南島に南進して居つた日本人漁業者が一九二五年にジャカルタに

進出するやうになり、ジャワ島の漁業は一大刺戟を受けるに至つた。翌一九二六年にはジャカルタに市營の魚市場が開設せられると、日本人漁業家の活躍舞臺が増加するやうになり、かくて一九三〇年のころには大昌公司、永福公司、久保商會、江口漁業、共榮組などの發展となり、動力漁船十八隻、無動力漁船三十二隻、鯨網八組、従業員四百五十人を算し、ジャカルタに於ける水揚高の四分の一は日本人の占むるところとなり、その金高も五十二萬盾に上るといふ盛況を見せた。

かくの如き情勢に刺戟せられて、舊蘭印政廳も一九二九年には經濟部の前身たる農工商務部内に水産課を新設したが、それが戦前までの經濟部農水産局内の海洋漁業課と内水漁業課とに分れ、水産漁業の保護奨励といふことに乗り出してゐた。同時にまた一九三〇年には舊バインテンゾルクに内水漁業研究所を、バンドンに中央魚苗養成所を新設するといふ動きとなり、更に一九三四年には海洋漁業研究所を設け、海洋漁撈の指導と啓蒙に努力するやうになつた。また一九二七年には沿岸漁業令を公布して法規的に領海内の沿岸漁業を排他的に保護すると同時に日本人の進出などに對しては排日的に許可制を採用するなど、只管水産漁業の保護奨励に努力してゐたが、なほ、一九三八年に於ける魚類及び魚類製品の東印度諸島への輸入高は鹽乾魚一千一百萬盾、鮭罐詰十萬盾、鰯罐詰百五十萬盾、その他二十萬盾、合計一千三百萬盾に達してゐるに對比し、輸出はバガン・シ・アビアビ方面から馬來半島方面にかけ鹽乾魚を三十萬盾あつた程度で魚類輸入は莫大量に上つてゐた。

ジャワ島を中心として年々一千万盾内外を輸入してゐた東印度の水産漁業は日本人の指導誘掖その宜しきを得るときは、自給自給を爲し得るのは勿論共榮圈内にも相當量の水産物を提供し得ることは隙かである。たゞに食鹽、介藻のみでなく、淡鹹魚族の漁撈に於ても亦決して輕視することの出来ぬものがある。殊にジャワの北岸一帯は魚類も多く、廣大なる南太平洋の漁業根據地として大小無數の島嶼間に棲息する豊富なる魚類を獲得し得るのである。勿論北海漁業の如く鮭、鱒、鯉などの重點的漁獲は出来ぬにしても八百種目を數ふる南洋魚族殊に鮪、鰹の如き大洋魚族の生産が多いのであるから、これに配するに優秀なる日本人の漁撈技術を以てすればその將來は實に洋々たるものである。

更にジャワ島の南岸印度洋に面する海洋は概して深海で魚族の繁殖に適せずとせられてゐるが、鮪が棲息し時は鯨の遊泳することがあるのであり、これが開拓に着手せば思はざる遺利の新發見がないとも限らない。スラバヤを中心としてマツラ島などには海水養魚池が相當に發達してゐるからこれを良導すれば民需副食物の供給に資するところも大なるものと考へられる。現に一九三二年の統計によれば海水養魚池の面積は

- 東部ジャワ州 五一、三二九陌
- 中部ジャワ州 一三、六六三〃
- 西部ジャワ州 四、二六三〃



となつてゐるが、これら海水養魚池に對し臺灣などに於て行はれてゐるやうな適當に施肥し、かつ數年または十數年に互り放置することなく年々新魚苗を放殖して生産能率を擧げることとし、又海洋漁業たると内水漁業または養魚漁業たるに論なく、熱帯に於ける暑熱のため魚肉の腐敗するのを防止するため成るべく多量の食鹽を供給し、以て原住インドネシア人の副食物として必需を充し得るのである。

七 民間工業

ジャワを中心として工業を論ずることとなると、ジャワはゴムも石油もスマトラに及ばず、錫その他天然資源も他の島々より劣勢である。恵まれた島の強味と謂へば四千餘萬人の人的資源とその勞働賃銀の廉いこと竝に肥沃な土地であることである。それでゐてジャワ島には重工業は固より輕工業にも近代工業らしいものはない。これは要するに舊オランダ政廳の採つた産業政策の結果に外ならないのである。彼等は東印度諸島の開發といふよりも如何にして搾取すべきか、根本の方針であつたから農林産業に重點を集中し、しかも輸出向きの商品を多量に生産せしめんとするのであるから工業の發展せぬのも當然のことである。そして成るべく舊オランダ王國の工業生産品を購買せしめ一石二鳥の利益搾取を行つた。それでも東印諸島の需要に不足する場合は英米などからの輸入に待つといふのが大體の産業對策であつたから、ある場合には工業の奨励どころか却つてこれを抑制するといふ消極

策をさへ採つた。然し最近はわが日本からの綿糸布ならびに民需雜貨類などが盛に輸入せらるゝやうになると舊オランダ當局はこれを抑壓すべく種々の政策を採り紡績工業、マツチ工業、その他インドネシア人民需工業を奨励せざるを得ざるに至つた。殊に第一次歐洲大戰後に起つた不景氣對策として反動的に民需的小工業、手工業が勃興するに至つた。これらの工業といふのは小規模の綿紡織、パテック、織維編物、製傘、製材、金屬業、窯業、煙草製造、精米業、皮革製練業などといったものであるが、それ等に對し出資しまたは經營を擔當してゐるものは過半は華僑であつた。貯蓄の餘裕のないインドネシア人は多くの場合たゞ勞働力を供給するに過ぎなかつたのである。

たゞ農林産業立國的のジャワ島であつたから農林産業に附隨した工業殊に製糖工業その他いはゆるエステート經營に附屬した加工工場、精製工場などは相當の發達を見せ居た。要するにジャワ島の工業は全然植民的であり、農林産物への加工精製工業であり、近代的工業といふよりも手工業的、家内工業的であつて本格的に工業と稱するものは未だ發達するに至らなかつた。すなはち工業法の適用を受ける工場、作業場數は各年末に於て左表の如くであつた。

年	次	工	場	數	年	次	工	場	數



一九三〇	三、四三五	一九三七	三、七六三
一九三五	三、七一〇	一九三八	三、九八八
一九三六	三、八〇一	一九三九	四、六九一

ジャワに於て世界一を誇り得るものに規那がある。舊蘭印の統計は東印度の規那植林面積一萬八千町歩の中一萬七千町歩まではジャワが獨占して居り、これは現在皇軍の管理下に操業してゐる。バンドン規那工場は過去一箇年に於ける硫酸キニーネ生産高八百五十トンに及ぶが、従来の年産四百トンでさへも世界生産高の九割を占めてゐたのである。その他に大規模なるものは製糖工場がある。數に於いては主として支那人經營の精米工場、製茶、タバコカ、コーヒー、ゴム工場などが多く、これに次いで蠶業、製材、煙草、製氷、清涼飲料、機械工作修理、油脂、カボック線縮、織業、花火、酸素、印刷工業などが擧げられる。こゝに特記せねばならぬのはタンジヨンプリオクにあつたジェネラルモーターズ自動車組立工場とバンドンにあつたグッドイヤーのタイヤ工場の二ツが近代的に機械化されたものであつたことである。然しこれは所謂外國資本の經營に屬し、たゞジャワ島の交通機關として自動車の發達が目ざましいのに乘じ設立せられたものであり、タイヤ工場はゴムの生産地である好條件に乘じて出來たものでインドネシア人の經濟生活產業體系とは未だ充分に調和せぬものであつた。ジャワ島の住民とし

てはパテック工業などは彼等の生活と離るべからざる關係のあつたことを知らねばならぬ。現に一九〇七年ソロ市にパテック業者のサリカット、グガン・イラスムなる同業組合が成立した。この組合は要するに支那人がその資本にまかせパテック業を大規模（ジャワ住民の手工業的なるに比較して）に經營するに至りインドネシア人の生活を脅威するに至つた反動として組合を組織するに至つたのである。一九〇九年にはジャカルタにもサリカット・ダガシ・イスラムが、同一九一一年にはバイテンゾルグにもといふ風にインドネシア人の對支那人反感が勃發したことがあり、それが結局サリカット・イスラムの創生を來しジャワ島に於ける民族運動と共に發達するに至つた。このサリカット・イスラム民族運動の動因がパテック同業組合にあつたことを思へばジャワ島に於けるインドネシア人の工業といふものは在來の手工業家内工業にその真髓があり、彼等の經濟生活の程度に調和した低位のものであると云ふべきである。

次に一九三九年に於けるジャワ島の發電力裝置は民間の事業所有、自己企業供給用を除き水力十萬五千キロワット、火力四萬一千キロワットの程度である。勞働力は支那人苦力にしてもインドネシア人勞力にしても相當數を徵募し得る可能性がある。

要するに砂糖工業、ゴム工業、製茶、精米、煙草工業などの所謂栽培工業の外にインドネシア人と離るべからざる工業としてはパテック工業、それに最近非常に注目されるに至つた織布工業、皮革工業、傘工業、編織工業など



が原住民的の工業としてまた將來性のある工業として關心を持たるゝのである。

一六〇

パテックはインドネシア人の需要する所謂ジャワ更紗の染色工業であるが、布地に蠟を塗抹しその間隙を植物性の染料を以て染色し、一種獨特の模様を出す工業で、二、三箇月から五、六箇月も掛つて仕上げる手のこんだものもある。最近は一級の需要も多く生産技術も發達して捺染式となり、大量に生産せらるゝに至つたので、従來の顔料染式のものとは稀有となり、従つて値も比較的に低廉となつた。元來これはヒンヅー文化と共に印度から傳來したものをジャワ化したもので、最初は王侯貴族間のみ用ひられてゐたがオランダ人侵入の頃から一般民衆にも需要さるゝに至り、従つて藝術的の香氣は漸次喪失し、捺染も木製型から金屬型に進み、藝術味は益々影を潜むるに至つた。然るに一方民間の需要は益々旺盛となり、今日ではジャワ島に於ける特殊の工業となつてゐる。一九三〇年の統計によれば西部ジャワ千八百二十九、中部ジャワ二千三百四十七、東部ジャワ二百八十、計四千四百五十六の工場があり、その作業勞力は約一萬七千人、男女約半々となつてゐる。また統計外にも副業的、内職的のものも相當數に上つてゐる。それでジャワ更紗の大部分は東印度諸島内、ジャワ島内で使用されるもので一九三七年に百三十六萬ギルダー、三八年に百十七萬ギルダー、三九年に百一萬ギルダーが生産された。尤もこの外に日本およびオランダから一九三八年に綿サロン等百六十八萬六千ギルダー、一九三九年に同じく七十七萬六千ギルダーを、更に捺染綿布として一九三八年に同じく二千萬ギルダー餘を、三九年に二千六百四十三萬ギルダーを輸入してゐる。次に

綿布工業であるが綿糸の輸入は一九三八年に於て一千四百九十八萬ギルダー、三九年に一千八百五十八萬ギルダーとなつてをり、これ等を原料として民需綿布の製織を行ふものである。サロン織布に關しては一九三七年に至り制限を加へねばならぬ程の發達を示した。すなはち一臺の機械織機または十四臺以上の手織機を有する工場の生産高を制限したのであるが、同年始めて手織機十四臺以下の工場が三百から一千七百五十に増加する情勢であつた。そこでまた十四臺までの手織機を有する工場にも生産制限を加ふるに至つた。一九三八年に於て手織機は約二萬五千臺に對し機械織機は四千六百臺といふ程度で、手織機總數の約五分の一に相當して居つた。

この外に編織工業として英蓆、帽子などの製造工業、綿布または紙の製傘工業、靴、鞆、馬具、運動具などの皮革工業など、インドネシア人の經濟生活に即した工業は多岐なるものながら相當の種類、相當の數に上るものがあり、それ等の指導開發が重要關心事である。なほ大東亞戰爭のため一時中止状態に陥つてゐたジャワ島の工業は、昭和十七年五月十五日同島唯一のスラバヤ・マツチ工場及び同十六日スラバヤ東南百キロにあるレチエス製紙工場の操業再開によつてインドネシア人の各種民需製造工場は全部操業されるに至つた。

一六一

時報

(南支・南洋)

一六二

三都澳

三都澳に我が陸戦隊上陸す

敵米が福建省三都澳を潜水艦基地として使用せんとする形跡があるのを知つた帝國海軍陸戦隊は水上偵察機協力の下に八月二十八日三都澳(福建省)に敵の機先を制して上陸、敵米不逞の企圖を粉碎し掃蕩戦を敢行した。即ち同日午前わが陸戦隊の一隊は三都澳税關角の突堤に他の一隊は税關四方砂濱に、同じく他の一隊はマウントスデンス南方の美波油棧海岸に上陸夫々成功、敵見張所その他の施設を撤去して同地を確保した。而して三都澳は福建省北東部三沙灣三都島の内西海岸に位する開港場であつて、清の光緒二十五年専ら茶の輸出のために開港され、寒村から急速に發展した地である。三沙灣入口は極めて狭いが、深水は大で船舶の交通に便、又同地は臺灣海峡に臨む軍事的要地として我が國に對して持つ意義は極めて大きいが米國も早くからこの點に着目し、光緒二十六年に海軍

貯炭所建設を策した程であつた。但しこの計畫はわが國の反對にあつて挫折したが、今回又こゝを潜水艦基地として着目するに至つたものである。人口約一萬、茶、煙草、茶油、桐油の集散地である。

厦門

厦門市政府の内部機構改組

厦門特別市政府は昭和十四年七月一日成立以來四年二箇月、その間和平地區に於ける治安維持市民の福利厚生に寄與する所多大であつたが、本年三月三十日國民政府還都三周年記念日を期して同政府も中央政府に隸屬する所となり、こゝに從來の厦門特別市政府の暫行條令にもとづく内部機構を改めて中央政府のそれに一致せしめる事となつたので、鋭意これが改組案の内容につき研究した結果この程成案を得、九月一日より實施されることとなつた。即ち從來の總務局はこれを秘書處に、建設局を經濟局に改め、僑務局を廢止して社會福利局を設け、警察廳は警察局に改正された。なほ財政、教育兩局はその儘存置し、公費局の存在は解消して南京國民政府の戒煙局に屬すると共に同局所管たる鹽務部は之を財政局に歸屬せしむることとなつた。而して秘書處長に陳見園、經濟局長に盧用川、

一六三

社會福利局長に譚培榮、參事として更に葉則庵、林濟川を任命した。

一六四

廈門に警防團結さる

在廈一萬居留民より選ばれた青壯年が九月十一日午後二時から廈門公園に警防團結成式を挙げた。定刻赤堀總領事、李市長、西田海軍武官をはじめ横谷警察署長代理、赤堀婦人會長その他各界多數の來賓臨席の下に開會、勇壯かつ嚴肅なラツパの響きわたるなかに國旗掲揚、國歌齊唱の後横谷警察署長代理が大日本警防協會總裁令旨を奉讀、赤堀總領事より寸時の偷安を許さぬ現下時局の緊迫性を強調、團員の一段の決意を促す一場の訓示あり、これに答へて團長加藤正午氏團員一致令旨を奉讀し滅私奉公、米英擊滅に挺身せんと烈々火を吐く宣誓文を讀みあげ、李市長の祝詞あつて緊張裡に約一時間に亘る結團式を終了、天皇陛下萬歳を三唱、團員一同の意氣は正に天を衝くの感あり、午後三時散會した。

廈門民衆伊の裏切に至極冷靜

イタリヤバドリオ政權の裏切り行爲に對しては廈門和平地區中國民衆も至極冷靜な態度を持してをり、有識階級の意見を聞いても、

從來日本をはじめ東亞に於て戰つてゐる我々にとりバドリオ元帥とその軍隊の存在は我々の戰爭遂行上何等寄

與するところがなかつたのである。従つて彼等が反樞軸國側に寝返りを打つたといつて我々の失ふところもない譯である。ドイツにとつても今回の事件は何等痛痒を感じぬ。「東亞は東亞人の手で」の決意をこの際一段と強固ならしめる機會を與へたものである。とてむしる今回の事件を樂觀視してゐる。

汕頭

汕頭市の人口調査

中華民國に於ける戸口の不備は國民政府戰時諸政策遂行上の痛として、其の整備は焦眉の急なることを痛感せしめられてゐた處、汕頭市政府に於ても愈々全市人口の動態を調査し以て民生安定の基礎確立に資する事となり、過般來核秘裡に準備を進めて居たが、日本側との打合せ並に實施方法が決定せられたので九月十八日午前零時を期し一齊に全市に調査隊を派し市外への道路を封鎖し、警備隊、憲兵隊、領警の特別警戒に當り郷軍、義勇隊應援下に戸口總調査を實施した。右調査はその實在數を以て汕頭市人口とし、米其の他重要物資配給の基礎とせられるものであつて、之は潮汕地區の實情に鑑み配給物資の不當割當を是正し以て友邦の恩義に報ひんとする市政府の意圖に出たもので、その結果所謂幽靈人口を抹消し、配給の適正を保し得られ、従來の如き餓死者の救済並に物價高騰

一六五

沙頭洋行二件

光成公司

怡和洋行
肅三公司
中華公司

二 湖 州

香上德記洋行
佐士頓洋行
巴特司公司

(一) 米 國

德盛洋行

德裕美記洋行

柏林洋行

華祥洋行

嘉利洋行

捷合洋行

集合洋行

業利洋行

溢隆洋行

德孚洋行

光昌德記洋行

老興洋行

美華洋行

端合洋行

佳合洋行

利昇洋行

業豐洋行

聯昌洋行

德安洋行

德豐洋行

愛雙龍洋行

銳利洋行

如合洋行

佳合潔記洋行

業興洋行

利通洋行

嘉盛洋行

基督教安息會湖安分會

浸信會橋東教會

浸信會城中堂
浸信會橋東教堂

(二) 英 國

楓溪分會

三 湖安縣

米 國

基督教會宣道堂

四 湖 陽

米 國

國光學校

五 港 埠

米 國

基督教禮拜堂

浸禮拜堂



汕頭接敵地區の近況

湖陽縣鳳山郷は和平地區と敵地區に挟まれた人口約二千を有する地區で、現在皇軍の進駐なく又敵軍の駐屯もない緩衝地帯であるが、同地は上下二郷よりなり米の收穫も多く一般の需用を充たして尙餘裕を賣却して居る状態では住民は至極平穩なる生活を營んで居る。然し乍ら最近便衣隊の侵入掠奪が漸く繁く人心も頗る萎靡し、郷民は和平地區の治安が全く確立せる状態を慕ひ皇軍の進駐の速かならん事を念じつゝあるが、九月初旬に到り遂に同郷長莊上海は西本願寺經營の汕頭日語學校に其の子弟が學んで居るのを頼りに同校を通じ概要左の如き皇軍進駐の促進を當地軍へ願出た。斯の種の軟弱書は同種緩衝地帯の他地區よりも提出するものがあつて其の動機は暫く置き邊陲地區民衆の皇軍信頼感に漸く昂揚せられつゝあるものと認められる一端ともならう。

莊上海の歎願書

日華兩國は一家の如きものにして相戦ふべきに非ず一致合體大東亞の建設に邁進せざるべからざる事は我等の最も良く諒解する處なるが今に到るも重慶側は思を此所に至さず徒に國土の疲弊を加ふるのみ我郷は今日既に便衣隊の爲相當の被害を蒙りつゝあり若し重慶軍の侵入あらんか其の被害は量るべからず依而速かに日軍の進駐を迎へ郷土の安寧を確保したく此の歎願に及ぶものなり

粵東抗戰地區大動搖

抗戰の非を悟り米英の走狗蔣政權覆滅を標榜して粵東地區の和平陣營へ馳せ参じた敵獨立第二十旅第一團第一營、長(大隊長)陳光輝中佐以下部下二百數十名の大量的投降に關しては、陳光輝營長が黃埔軍官學校第一期生として直接蔣介石の抗日教育を受け、蔣軍閥中堅として抗日排日に狂奔したものであるだけに、蔣不信の聲漸く高からんとしてゐる蔣政權に重大なる反響を與へ、更に二百數十名と云ふ大量的投降は南支としては始めてであるだけに、さなきだに戰意の喪失で意氣揚がらぬ同地區の蔣軍隊に致命的打撃を與へ、第七戰區總指揮官余漢謀もこれがために周章狼狽術を知らない状態であるが、最近に至り陳光輝營長一行が粵東地區和平陣營の要職に就き非常に厚遇されてゐるとの情報が敵地區へ知れ互るにつれて、敵の抗戰陣營は更に動搖し、和平陣營參加の希望が各將兵間に澎湃として起り、毎日の様に脱走兵が續出してゐるとの事である。即ち陳光輝營長一行の厚遇問題については其の大量的投降を我が軍が何等危害を加へない許りか、米鹽や鮫取線香まで支給して温い保護を加へたと云ふ生々しい事實が、蔣介石が常に投降防止苦肉の策として「和平陣營へ投降すれば日本軍に殺される」と聲を大きくし宣傳した欺瞞政策を見事に覆へした許りでなく、陳光輝營長一行が米油する時には樂隊入りで和平軍に出迎へられ、而かも陳營長は彼の希望する如く其の嶺和平軍の幹部として要職に就き舊部下一同全部を編して有力なる戰鬪部隊を

形成し、大いに面を施した事が敵地区に知れ互つて大きい反響を興へたのである。このため従来和平陣参加を希望し乍らも投降後に於ける生命の安否、待遇の好悪とかく躊躇してゐた敵地区將兵も驟然と悪夢から醒め、心から和平陣への参加を希求してゐるものが續出してゐる譯で、この所連敗の敗慘將軍余漢謀必死の防止策も何等効果を奏さない形である。

廣 東

廣東配給制度の刷新

中國に於ける小賣業者の再編成問題は現地在留邦人の生活と密接な關係を有するが、殊に物價暴騰の今日に於ては正しく緊急の問題といはねばならぬ。これに鑑み北支に於ては青島に小賣配給株式會社の設立を見、小賣業者の資本的合が實現されつゝあり、上海に於ても先月より衣料の全面的切符配給制度の實施を見ることとなつた。又此程廣東よりの消息に據ると廣東當局では廣東の小賣配給制度に對する抜本的政策を考究し、在留邦人の生活必需品を確保すると共に現地の此等物資の價格暴騰に對處する爲め配給機構の刷新強化を圖ることとなつた。その骨子とする所は先づ配給の主體を必需品の各業別組合に置き、それに當局の權限を移譲し生活必需品の確保、價格

の調整、限正圓滑なる配給等處理せしめんとするもので組合が一つの營業單位となり、組合員はその配給事務擔當者として存続することとなる。組合の配給業務資金としては現在既に開始してゐる輸配組合聯合會及び小賣組合聯合會の各金融部資金並に今後更に多額の資金を要する場合は各輸配組合の調整料保留金を活用する模様である。右組合による配給統制下に入る物資は相當廣範圍に互り牛肉、豚肉、味噌、醬油等の日用品から洗濯石鹼、化粧石鹼、醫藥、賣藥、一般衣料品等全般的な生活必需品を包含するもので、現地大部分の小賣業者は組合統制に編入され廣東小賣業者再編に劃期的變革が斷行されるのである。之と同時に切符配給の全面的施行及び切符配給以外の公定、指定價格の撤廢が實施されることとなり、在留邦人は切符配給以外の商品は中國側市場相場で生活することとなり、一面低物價一面高物價の兩政策の使ひ分けがなされるわけである。従つてこの配給制度の企畫に萬遺憾なき運営が必要である。衣類の點數切符制度は他地區に先んじて廣東が先鞭を打つた譯でその適正圓滑なる運営を期待されてゐる。

海南島

海南島に科學メスを加へる南方資源研究所

拓けゆく南の新天地に無盡蔵の資源を實驗調査し、共榮園建設の一助たらしめんとして去る三月十五日臺北帝大附置機關とし豫算十五萬圓を以て開設を見た南方資源科學研究所はその後所長濱口教授統率の下に第一部農林作物、家畜の改良増産、新品種の育成等農學的的研究調査、第二部農林資源の加工製造に關する農藝化學的研究等諸般に互つて資料の蒐集、資材の整備をする一方海南島榆林近郊に實驗所を建設中であつたが、この程竣工を見、調度品をも揃へたので同實驗所長平坂教授は關係所員と共に近く現地に赴き本格的に研究を開始することとなつた。同所は着し當り海南島及びその附近の農林、水産、地下資源に鋭い科學のメスを加へるが、將來は南方各地に同規模實驗所を設け南方建設に大いなる役割を演ずるものと見られる。

海南島に良材の大森林を發見

海南島林業資源の緊要性に即應して海南島海軍特務部では臺灣からの要員上田信技師を主班とする林業調査班を組織し漸次奥地深く突入して現地踏査を斷行しつゝあるが、此頃陵水から〇〇軒離れたところに前人未踏の大森林地帯を發見、詳さに調査した所殆ど千古斧鉞を入れない巨木の密林であることが判明した。樹種は竹葉松が最も多くその他臺灣の香松と略類似してゐる鶏毛松や陸均松等、材質は臺灣の檜に匹敵する良材で、總ゆる方面の資材に好適し、搬出輸送上にもさすがに便利の地點だけあつて近く企業に着手される筈で、海南島木材の需要に一大福音を

齎すものとして待望されてゐる。

香 港

香港管區への物資搬入に許可制實施

香港管區よりの物資搬入は従來許可制とし、管區内への搬入については届出制を採つて來たが、今回物資交易の調整を一段と合理化するため、昨年三月公布の「物資搬出入等に關する取締令」を改正するとともに、新に「物資搬出入取締規則」を制定、物資の搬入についても許可制を採用することとなり、七月十五日より施行した。但し特定必需生活物資はこの制限を受けず届出のみによつて搬入を許される。物資搬入許可制採用の理由は資金及び船腹の有効利用を計らんとするにある。

香港輕工業の復興狀況

香港の輕工業は戦前織布工場を始めとして大小七百餘の各種工場が香港島及び九龍半島の一部に翹集し活況を

呈してゐたが、十六年十二月占領と同時に新なる性格のもとに再出發するに至つた。即ち大東亞戰勃發後これらの工場は戰爭完遂に直接寄與する物資を生産することが第一義とされたことは言ふまでもない。總督部當局は英系資本を大多數とするこれら工場を綜合整理し、戦時下不可缺のもの約半數を直營或は委託經營により操業せしめて今日に至つてゐるが、原料入手の困難にも拘らずゴム、織布、マニラロープ、冷凍、砂糖、ビール、被服などの大工場が逞しい増産を示し、新生香港の輕工業は頗る期待すべきものがある。當局はこれらの工場に賦課された新使命を速かに達成せしめるため、近くゴム、織布、食料品の各部門に就て企業合同を行ふべく目下考慮中である。かくて再出發した香港の輕工業界は次の如く日と共に昔日に劣らぬ活氣を帯びてゐる。

(一) ゴム、織布工場

總督部の直營で日本内地より技術者を招致、製品の質及び量の向上に成功、自動車、自転車のタイヤ、チューブ、ゴムホース、ゴムベルト、ゴム靴、氷囊その他衛生材料、帆布など一箇月約〇〇トンを生産し、なほ増産の傾向にある。

(二) マニラロープ工場

戦前英國の資本により年六萬ポンドの製造能力を有してゐたが、目下總督部委託に依り株式会社〇〇製網廠が經營の衝に當り、船舶用良質のマニラロープを製造中である。原料たるマニラ麻入手の手配も行はれてゐる。

(三) 冷凍食料品

受託經營者は〇〇海洋漁業株式会社で、製造能力は年五萬七千六百トン、冷蔵能力年三萬トン（いづれも戦前の龐大なもので目下製氷冷蔵とともに特殊需要に全力をあげてゐる。同所はなほ軍受託經營の〇〇牧場産の牛乳によるバター製造も行つてゐるが、バターは各種原料物資の見返品として輸出が盛である。

(四) 砂糖

精白糖、角砂糖を製造、戦前の能力は年約二百萬擔、目下軍需及び内地向角砂糖を製造中で、原料の入手容易ならば年〇〇〇〇擔の製糖は容易である。

(五) 麥酒その他

水質の粗悪により獨特の臭と苦味を持つ香港麥酒の外、酒精、支那酒を製造し、日本酒の醸造も研究中である。更に〇〇會社の手により味の素、味噌、醬油、面粉、苛性ソーダを生産すべく目下操業準備中である。なほ以上の製品の輸出と現地消化の割合は約七對三である。

南方一般

南方纖維植物増産本年度目標愈々完遂

南方各地域に於ける纖維植物の増産は食糧増産と並んで現地自活強化の核心として極めて順調に進展してゐるが、各軍政當局並に擔當業者の挺身指導と原住民の積極的努力により本年度増産目標は愈々完遂されることとなつた。南方纖維資源増産の重點は固より棉花にあり、これと並んでラミー増産に主力を注ぎ、次いでバイナップル、椰子等雜纖維を補助的資源とする綜合増産が圖られたのであるが、本年度棉花増産目標はジャワ、スマトラ、ビルマ外合計〇〇萬ピクルで、ラミーはスマトラ、ジャワ、ボルネオ合計〇〇萬トンに上つた。而も舊英蘭領時代に於けるこれら地區の棉花はビルマに〇〇ピクルの收穫があつたに過ぎず、ジャワ、スマトラは殆ど皆無に等しい状態であり、従つて我が増産目標はビルマに於いて倍加せしめると共にジャワ、スマトラは殆ど新規植付を行ひ、一方ラミーも戦前スマトラに若干あつたのみでジャワ、ボルネオには皆無のため〇〇萬トンの増産目標は全然新規のものであつた。棉種子は臺灣、朝鮮、北支種により、ラミーも優良種を以て今春三月より徹底増産に邁進し、主として耕地轉換を中心に未開地開拓も行ひ、既に棉花並にラミー栽培面積の増加は約〇〇萬町歩に達し、豫期の如き

成果を収めてゐる。又棉花の收量は各地とも豫想以上の増産で、ラミーも〇〇萬トンの收量を差引いた剩餘の收量は一切次年度用種子に充て、更に一層の増産に振向けんとしをり綽々たる餘裕を示してゐる。右の兩纖維と並行し更にバイナップル、椰子その他雜纖維利用も次第に實質化し、各地域に於ける紡績工場の活潑なる操業及び今後南方纖維工業五箇年計畫に基き急速に操業さるべき全南方紡績工業にこれら資源が圓滑に供給され生産する場合戦力増強に寄與する所は大きい。

佛 印

佛印に對する日本品供給協定調印

日佛印經濟協定に基づく第三年度日佛印經濟實行協定の最終取極めたる日本よりの佛印向け輸出物資に關する實行協定は、日佛印雙方の都合により調印延期となつてゐたが、八月十九日十二時十五分(現地時間)サイゴン總督官邸に於て芳澤大使とドクレー總督との間に署名調印が行はれ、愈々右協定は成立する事となつた。しかして右と同時に或種の日本側よりの輸出貨物の佛印への輸入様式其他に關する公文交換も行はれたが、佛印よりの日本向け輸出貨資に關する協定は既に本年一月及び三月の協定によつて締結せられてゐるので、本協定成立によつて茲に本年の第三年度日佛印經濟實行協定は完全に成立を見たわけである。右調印式には日本側は芳澤大使以下田代公使、其

田總領事、渡邊領事、佛印側からはドクレー總督以下マルタン經濟局長、ホワサンジエ外交局長、オーリョーク官房長が立會つて極めて友好的雰囲気の中に調印を了したのであるが、右に關し我が大使府及び佛印總督府では夫々次の如きコミュニケを發表した。

大使府コミュニケ

本年八月十九日十二時十五分當地總督官邸の間に於て芳澤大使とドクレー總督の間に昭和十八年に於ける日本産品の印度支那への輸入に關する協定の署名行はれたり。本協定は昭和十六年五月六日東京に於て署名せられたる「日本國、印度支那間關稅制度、貿易及び其の決済の様式に關する日佛印協定」第十五條の規定に基くものにして、右に依り印度支那に於て輸入割當制度の適用ある商品につき日本國が取得すべき本年度割當量を決定、且つ割當制度の適用なき産品に關する本年度の印度支那向日本産品の品目及び數量を決定したり。尙右と同時に或種日本産品の印度支那への輸入の様式其他に關して公文交換行はれたり。因みに本年度に於ける印度支那産品の日本向け輸出に關しては曩に本年一月二十五日の米及び玉蜀黍に關する「サイゴン協定」及び本年三月四日の米、玉蜀黍を除く其他の物資に關する「ハノイ協定」を以て夫々決定せられたり。日本大使府は之等經濟協定により日本國、印度支那間の經濟關係が強化せられて大東亞戰途に寄與するところあらん事を冀望して已まざる次第なり。

佛印總督府コミュニケ

本八月十九日ドクレー總督と芳澤大使閣下との間に一九四三年に於ける日本産品の印度支那への輸入に關する協定の署名行はれたり。本協定は一九四一年五月六日の東京協定の規定の適用にして印度支那に輸入せらるべき日本産品の品名及び數量を決定したるものなり。同時に或種日本産品の輸入様式に關する公文の交換行はれたり。これ等文書の署名は印度支那よりの日本向け輸出に關し本年一月及び三月に締結せられたる諸協定を補足し以て日本及び印度支那間の經濟關係の強化の効果をもたらすものなり。

佛印の太平洋運動と佛安合作の懷柔方策

今次歐洲大戰に於ける佛本國の敗戦は勢ひ佛印政府をして民族政策を根本より變革せしめざるを得ざるの已むなきに到らしめた。斯くて新しく登場した政策は前總督カトルー及び其の一派の案出した佛安合作の懷柔政策であつて此の政策は總督がカトルーよりドクレー中將に變り、情勢の變化に應じて其の色彩の推移はあつても依然として踏襲されつゝある民族政策の根幹である。此の根幹に基く色彩の變化の一つとして一九四〇年の後半民族に呼びかけた言葉は「太平」であつた。即ち「太平運動」である。目下佛印では佛蘭西國旗の下に置水牛を牽いて田を耕す安南農民のどかな田園風景を織込んだポスターを製作して之を各地に貼布してゐるが、これは本國敗退の事實を別に

にいて戦争の悲惨事と對比して太平の歡喜を強調することにより當時の我がトンキン進駐の前に驚歎する民族の眼を他にそらして平和のうちに即ち太平のうちに佛印全土を救つたとす當路者の政策を誇示せんが爲である。

佛印の黄麻栽培五箇年計畫

日、佛印初の農業合作として濠拓、三井、三菱などが在ハノイ邦人商社はトンキンで二萬ヘクタールに互り黄麻の契約栽培を開始、臺灣種子を使つて本春三月初め播種を行ひ目下刈入季に入つたが、十二商社の各契約農場の報告を綜合すると成績は良好で、臺灣から派遣された農業指導員を始め、各關係者は初年度の各種惡條件を克服、オリトリユーム、カプスラリス種などの在來種を壓倒、一ヘクタール當り一千キロ乃至一千三百キロの收穫を豫想し得る好成績で、次期播種用種子を残しても優に一ヘクタール當り六百キロの收穫をあげ、供出目標額を遙かに突破し得る見込である。この北佛印に於ける黄麻栽培は來年度〇萬〇千ヘクタール、五年目には〇萬ヘクタール栽培豫定の五箇年計畫であるが、本年度の好成績に徴すれば計畫最終年度は〇萬ヘクタールの栽培が可能とされてゐる。

佛印にて現地製醫藥品を統制

歐洲との交通杜絶以來佛印の醫藥品輸入は杜絶し、専ら從來の在庫品のみ依存してゐた各種藥品の需給狀況は近來在庫品の漸減によつて極めて逼迫してゐる。最近この情勢に鑑み現地各方面に各種藥品の製造が盛んに行はれ、これが一般市場にも供給されてゐるが、從來かゝる現地製の藥品の販賣は許可しない方針であつたので、佛印當局は續出するかゝる製造藥品に對し社會衛生保健維持の見地から統制を加へることとなり、今般總督令を以て右に關する規定を公布し、今後製造される藥品を販賣せんとするときは事前に總督府衛生保健總局にこれを届出でて許可を得ること、また既に販賣されてゐる藥品についても改めて許可申請をすること、當局の檢定により不適當と認められた藥品については新規製造を禁止することとした。

佛印華僑の送金累増

佛印華僑の送金は大東亞戦争の勃發によつて一時杜絶してゐたが、その後各人毎五十ピアストル以内を限度として和平地區への送金を許可されることとなり、昨年十二月より中南信託公司を通じて受付を開始したが、以來送金額は累増する一方で、昨年十二月より本年五月迄に南部佛印華僑のみで二萬ピアストルを突破するに至つた。

内譯左の通り(單位ピアストル)

廣東向 一〇〇、九〇九

汕頭向	六七、一六五
厦門向	一六、四八〇
香港向	一四、六一五
海口向	五、〇二五
上海向	四、二五〇
計	二〇八、四四四

泰 國

泰の新領土編入に關する日泰條約

東條首相は去る七月四日南方地域視察の途次バンコックを訪問、ピブン泰國首相と正式會見を遂げ、日泰關係全般を検討すると共に戦争完遂の方途につき意見交換を行ったが、この會見の結果泰國多年の宿望たる領域擴張につき完全なる意見の一致を見、トレンガヌ、ケランタン、ケダ、ペルリスの北部、マライ四州並びにシヤンのケ

ントン、モンバン二州のタイ國領土編入が確約された處、泰國政府はこの約束の早急なる實現を待望して東條首相離泰後新領土接收委員會を設置諸般の準備を進め、去る八月十二日の泰國議會に於てこれが成案を附議決定した。帝國政府に於ても泰國側に對應して準備を進めつゝあつたが、同月十八日の樞府本會議に於て條約案が可決されたので、二十日午前八時（泰國時間）バンコックに於て坪上駐泰大使とピブン泰國首相との間にマライ及びシヤン地方に於ける泰國領土に關する日本國、泰國間條約が署名調印され即時效力を發生した。斯くて泰國の新領土編入はこゝに確定し、多年の宿望を達成した泰國の發展強化と共にその對日協力決意の昂揚を背景とする日、泰兩國の緊密な提携關係は更に一段と躍進、日・泰協同大東亞戦争完遂に邁進することとなつた。右に關し同日午後十一時五分十分我が情報局から左の如く發表された。

本年七月四日の東條内閣總理大臣及びピブン泰國內閣總理大臣間會議に引續き日・泰兩國政府間に於てマライ及びシヤン地方に於ける泰國の領土に關する日本國、泰國間條約締結方につき交渉中なりしところ今般右條約案文の妥結を見、八月二十日バンコックに於て特命全權大使坪上貞二と泰國內閣總理大臣兼外務大臣事務管掌元帥ピブン・ピブソクラムとの間に右條約の署名調印を了せり。

因に二十日バンコックに於て坪上駐泰大使とピブン泰國首相との間に調印された日泰間領土條約の全文は左の如くである。



マライ及びシヤン地方に於る泰國の領土に關する日本國、泰國間條約

大日本帝國政府及び泰國政府は兩國緊密に協力して米英兩國に對する共同の戰爭を完遂し道義に基く大東亞を建設するの不動の決意を以て左の通り協定せり。

第一條 日本國は泰國がケランタン、トレンガヌ、ケダ、ペルリス各州及び附屬島嶼をその領土として編入する事を承認す。

第二條 日本國は泰國がシヤン地方に於てケントン及びモンパン兩州をその領土として編入することを承認す。

第三條 日本國は本條約實施の日より六十日以内に前二條の規定する地域に於て現にその行ふ行政を終止すべし。

第四條 第一條及び第二條の規定する地域の境界は本條約調印の日に於る州境による。

第五條 本條約の實施のため必要なる細目は兩國當該官憲間に協議せらるべし。

第六條 本條約は署名の日より實施せらるべし。

泰國より答禮使節來朝

さきの東條首相のタイ國訪問、マライ、シヤン六州のタイ國領編入等により、タイ國民はあげてわが國に對する信頼を深め、決戦段階の大東亞戰下に日本とともに生きる決意をもつて敵米英撃滅へと邁進してゐるが、このタイ國民の日本に對する感謝信頼の情を傳へ、さきの青木大東亞相の訪泰に答禮のためタイ國政府は外相ウイチット・ワタカーン氏を首班とする答禮使節を日本に送ることになつた。

一行首班以下七名は左の如き顔觸より成り、八月三日午後五時羽田空港着にて空路入京し、重大使命を果たしたる後二十六日無事歸泰した。

答禮使 外務大臣 ウイチット・ワタカーン

隨員 外務省政務局長 サガー・ニルカムヘン

外務省通商局長 ウォング・ビニットアクソン

日泰政府連絡所次長陸軍中佐 モムチャオ・ビシット・デイサボン・デイサクン

外務大臣政務秘書官 ワット・スチャリットクン

外務省儀典課長 モムルアン・ピクテテツプ・マラクン

外務省事務官 ウイトウーン・ワタナブリーデー



泰の物價金融對策進展

大東亞共榮圏の一翼として、對日協力に邁進するタイ國の毎週の官報には續々と各種事業會社の設立登記が報告され、自給自足經濟樹立を目指すタイ國産業界の活況を物語ると共に、政府も亦棉花増産その他産業を奨励する一方、各種統制機構を整備、戰時經濟體制の確立を急いでゐる。

(一) 物價騰貴對策

六月初旬以來デリ高歩調にあつた物價は七月に入つても騰勢熄まず、金相場は七月二十八日には十五グラムにつき百七十八バーツと月初めより二十三バーツ方の暴騰を示し、八月六日には百八十六バーツの高値を唱へ、米價も端境期に當つての品薄關係から最上級品一ピクル當り、七月初めの十四バーツ二十五から十三日には十五バーツ、月末以後は十五バーツ五十を唱へ、綿、入絹、スフ製品、藥品その他日用品物價も續騰してゐる。政府は米價の昂騰が對外輸出及び都市生活に大きな影響を及ぼすものとして重視してゐるが、タイ國民の大半を占める農民にとつては一應好材料となるため米價對策については慎重なる態度を持してゐる。一方一般消費物資に對しては斷然統制強化方針をもつて臨むこととなり各種統制違反者を嚴罰に處するとともに、八月三日には藥品及び綿製品に對する最高價格制の適用範圍を擴大、藥品に對してはクロロホルム、キニーネなど數十種にわたつて最高價

格の設定並に買占禁止令を公布、綿製品に對しては統制品目に八商標を追加、四十二インチ幅白布のゴールドン・ハインド印ほか二種及び同品質のもの最高價格を一メートルにつき卸値一バーツ九十、小賣値二バーツ十、幅十六インチ白布のメキシコ・グラマー、ライオン他三商標及び同品質のもの一メートルにつき卸値一バーツ七十六、小賣値二バーツと公定發表した。

(二) 財政状態

最近のポリボン蔵相の言明によれば、過去六箇月間の國庫收入狀況は豫想以上の増收を示し、一方支出も新領土の編入に伴ひ豫算の膨脹は必至であるが、追加支出に對しては充分成算あり、何等他の豫算に影響を及ぼさないと確言してをり、六月二十四日より賣出された三千萬バーツの金債券も一箇月間に一千二百萬バーツの賣上げを見、また本年二月發賣された第二回興業國債一千八百萬バーツも既に全額賣切れの成績を示し、躍進タイ國の財政状態は頗る健全である。

馬 來

マライ生産物資統制規則公布

南方現地自給は戦争の熾烈緊迫化に伴ひ益々強く要請され、食糧の自給は勿論のこと、現地の工業生産も軍需物資ならびに日用必需自給の建前からいよ／＼これが本格的振興が必要とされ、現地軍政当局では鋭意これが具體化に努力してゐるが、今回現地工業振興の基礎工作としてマライ軍政監部では八月七日附を以て「生産物資統制規則」を公布即日實施することゝなつた。

右規則によれば、要するに現地に於る生産資材を最も有效かつ重點的に活用するを目的としたもので、統制規則の實施により管内重要生産資材の全體が総合的に生産され、軍政監部の手によつて一元化に有效適切に運用されるわけである。しかして右生産物資の品目は鐵、銅、銅製品その他約五十種にのほり、これらは右規則に基き一切軍政監部の許可なき限りこれを讓渡、貸與等或は擔保物件とすることを得ないことになつてゐる。

マライに於けるゴム類價格の全面的引下げ

マライ軍政監部では南方の特産物たるゴムの消費を促進すべくシート・ソール・クレープ、濃縮ラテックス、屑ゴム等の價格を全面的に引下げることに決定、八月一日より實施することゝなつた。今次價格の引下げは従來の軍政部納付金並に昭南ゴム組合の管理費及び利潤を廢止し、僅かに一割見當の蒐荷費と新たに配給擔當者となつた昭南物資配給組合の利益とを見込んで決定したもので、一封度當り大體十四、五仙の引下げとなつてゐる。かくて今次

價格引下によりゴム消費は相當促進されるとみられるが殊にソール・クレープは靴の底革代用品として、濃縮ラテックスは醫療用として、また屑ゴムはガソリン代用油及びアンチマラリヤ油としてそれぞれ活潑に生産が行はれ、消費者は今後これ等物資を低廉に入手し多大の福音が與へられる譯である。改訂價格は左の如くである（ゴム組合倉庫渡し一封度當り單位仙）。

	舊價格	新價格
シート 一級品	三六	二二
同 二級品	三五・五	二一・五
同 三級品	三五	二一
同 四級品	三四	二〇
同 五級品	三三	一八
フライン・ペール・クレープ	四一	二七・五
ペール・クレープ	三九	二五
ソール・クレープ	四四	三〇・五
濃縮ラテックス	四二	二九

東印度

ジャワ政治參與の法令發表

現地住民のジャワ軍政參與については、去る八月一日我が最高指揮官聲明によりその根本方針が中外に闡明され、その後軍政監部においてこれが具體化を急いでみたが、この程諸般の準備を完了、五日治制令第三十六號及び第三十七號を以て中央參議院令並に州特別市參議會令及び軍政監部告示第十八を以て參與設置に關する件を夫々公布、即日施行の旨軍政監部より發表された。よつて右制令に基き近く中央參議院、州特別市參議會とも夫々第一回會議召集の運びに至る豫定であるが、これにより上意下達、下意上通の強力翼賛政治を目ざす我が軍政は比類なき現地住民の協力と日本軍政に對する信頼感を一層深め中央地方を通じて決戦段階に處する各般の施策はより強力に躍進せしめられることとなつた。中央參議院議員は最高指揮官任命の人格、誠見優秀な現地人二十三名、十七州一特別市の州參議會及び特別市參議會において互選の十八名、侯地推薦代表二名、計四十三名の議員によつて構成され、地

方參議會議員は民選による議員と州長官或は特別市長の任命するもの十二名以内、參與は軍政監部に若干名を任命何れも軍政協力機關として軍政の進展に表裏一體の活動を展開するものである。特に中央參議院は最高指揮官の最高諮問答申機關として三箇月に一回、參議會は二箇月に一回召集し作戦下の軍政促進と地方行政振興を期することになつたが、特に會議一切は現地住民議員の運営に任せ、會議々事採擇は出席議員過半数の多數決を以てなし、飽くまで民意を尊重現地住民の野の聲を聞きつゝこれを實際政治に反映せしめんとする所に劃期的意義があり、舊蘭印時代とは全然その政治理念を異にする我が軍政の根本方針が明確に顯現されてゐるものであり、特に軍政監部の參與設置と州廳その他の軍政機關の長官及び樞要な地位に現住民を簡拔登用することについては目下軍政當局で鋭意その準備を進めてをり、尙烈なる大戦下にあつて現地住民に今回の如き政治參與を許容斷行したことは我が軍政の大飛躍と言ふべく五千萬島民の感激振りは正に最高潮に達してゐる。而してジャワ軍政上劃期的意義を有する中央參議院令の骨子は左の通りである。

- 一 中央參議院の任務は軍政の強力適切なる進展を期するにありその所屬は最高指揮官に直屬す
- 二 その構成は議長、副議長、議員及び中央參議院事務局を以て組織す
- 三 議員は三通りより成り最高指揮官の任命する議員二十三名、州特別參議會に於て互選の議員、各州、特別市毎に各一名計十八名、侯地代表二名で合計四十三名である。

- 四 議長、副議長は議員の互選に依る倍数の候補者の中から最高指揮官之を任命す。
- 五 軍政監は會議進行の必要上議員に對し施政事情を説明せしめるため軍政監部職員を出席せしめ發言せしめる事が出来る。
- 六 中央參議院は大體三箇月に一回宛召集するが必要な場合には臨機に召集する。會期は最高指揮官が決定する。
- 七 議事は出席議員の過半数に依り、可否同数の場合は議長が決定する。
- 八 最高指揮官の諮問は文書に依り事務局長を経て議長に令達、決議案は議員より事務局長を経て議長に提出す。
- 九 議員は任期一年で再任を妨げず、議員は諸侯と官吏以外の現地住民中最高の名譽を享受す。
- 十 會議に關する文書は日本語を正本としマライ語を副本とし會議の用語は日本語又はマライ語とす。
なほ州特別市參議會令の骨子も大體中央參議院令と同様であり、參與は左の如く告示された。
- 第一條 軍政監部各部に參與若干名を置く。參與は現地住民の内より軍政監これを任命す。
- 第二條 參與は部長の命を受け部務に參與す。
- 第三條 官吏に非ざる參與は高級官吏の待遇とする。

ジャワの本年度棉作狀況

ジャワの棉作は本年度が初めてであり、戦前オランダ政府がジャワ島各地で試験栽培を行つた調査報告或は氣候状態から見て入體の播種時期は豫定されてゐたが、本年度は種子の到着が遅れたため約七箇月にわたる非常に長い期間に播種したわけで、これがいはばジャワ棉花栽培の一大試作となつたのである。この試作の成果について未だ確たる結論は下し得ないが現在までの狀況は次の如くである。

本年度の植付狀況は大體畑地六分、水田四分の割合であるが、畑地がよいか水田裏作がよいかといふことは今後研究を要する問題である。本年度の狀況からすると畑地は十二月、一月頃に播種したのが成績がよく、水田は四月頃のものによかつた。ジャワの稻作は雨季に入つてから即ち十一月、十二月頃植付け、收穫までには五月一杯かゝるため棉花の水田裏作を今後増加するためには稻の品種改良によつて收穫時期を繰上げ、完全な輪作關係を完成すれば米穀増産にいさゝかの影響もなく、棉花の増産が出来るわけであるが、それでは時日を要するので來年度は畑地における栽培が相當増加するものと見られる。即ち畑地における玉蜀黍は大體一月頃までに終るので、その後へ直ぐ播種すれば六、七、八月の乾季までに充分成育するから、害虫の發生に對しても充分抵抗力が出来るため虫害も輕微に終るわけである。

本年度は水田裏作は畑地より良好で一部遅れて播種した地方以外大體順調に推移し、マラン州の一部では一ヘクタール當り二十ピクル以上の收穫は確實と見られる所もある。畑地では大體播種が遅れたため充分發育しない中に

蟲害に遭ひ又開花季の水不足のため結實不良の所も可成りあつた。結局樹は大きく育つてゐるが、苞が充分發育すればウヅカ等が上部の若葉のみに集中して、大切な中部の結實部分には害を及ぼさぬことが判明してゐる。畑地で最も好成绩をあげたのはブスキ州南西部で、従来兎角ジャワの耕作は北海岸線一帯のみに集中されてゐたが、今後或る程度是正されねばならない。

現在收穫期に入つたのは東部のみで、中部ジャワ棉花はこれからであるが、成績はどうしても雨季乾季の判然とした東部の方がよく、現在までの状態では本年度作は全體的に見て明らかに成功だといへるわけで、收穫豫想〇萬ビクルの約七割見當の收穫は確實と見られる。かくて大東亞共榮國棉花栽培の有力なる一環として登場したジャワの棉花は茲に貴重な一大試作を終へたわけで、この経験を土壌としてジャワ棉花栽培協會の擔當業者はじめ一般農民は來年度植付面積〇萬町歩〇萬ビクルの増産目指して早くも準備を開始した。

ジャワ蓬萊米の收穫在來種の二倍

ジャワにおける蓬萊米の栽培は昨年从去年から本年にかけてチレボン州、ケドゥ州その他において試作が行はれた處、收穫量は在來種の約二倍に近くしかも栽培日数は著しく短縮されジャワ食糧増産の將來に多大の期待がかけられてゐるが、軍政監部産業部ではジャワの氣候、風土に適し優れた蓬萊品種の選定並に栽培法の研究調査、地方的適否

を速かに決定し優良蓬萊米の本格的増産を圖るため今回ジャワ全島各州に蓬萊種の種親を配布し、本年末の雨季から全面的に試作することとなつた。配布する蓬萊米は早生種たる嘉南二號、嘉南八號、臺中一五〇號等で各州における代表的土地三箇所を選定して一箇所に〇ヘクタール位栽培する。この試作圃には同時に代表的在來種も栽培して比較對照すると共に苗代日數、播種生育過程の外、栽培法、蓬萊種の特性、收穫量等の調査を行ひ、又栽培の難易農民の意向等も調べる。之によつてジャワにおける蓬萊米増産に對する基礎的調査が完了するわけで、この成果については今から多大の期待がかけられてゐる。一方東部ジャワには本年度から新しく作物として棉花が登場し新しい輪作方法が研究されつゝある。輪作として棉花栽培を行ふ場合稻作栽培期間の短縮が必要視されてゐるのでジャワ棉花栽培協會でもプロポリンゴの棉花試験場において蓬萊米の試作を行ひ、棉花を含む新しい輪作關係の調査研究を行ふ豫定である。

パンカ島の開發に伴ふ錫の大巾値下

皇軍の赫々たる戦果によつて豊富な南方資源が相踵いで門戸を開き、遠くない將來續々と待望する銃後へ送られて來ることが嬉しくも約束されてゐる折柄、その先陣を承つて世界最大の埋藏量を誇る錫が資源開發の結實によつて大舉到來の口鼻がつき、き現行販賣價格の實に四十八パーセントと言ふ大巾値下げを斷行されることになつた。南

地域特にマライのベナン、東印度のパンカ島は世界の錫生産量の七割を占める世界最大の錫の産地であるが、今や同地は我が軍政下に置かれ経済建設も着々としてその途についてゐるので、商工省では今回配給統制機關たる日本金屬配給株式會社の現行販賣價格を次のやうに改訂し、七月十七日から實施する旨十六日發表した。即ち現行販賣價格百キロ當り八百三十圓の一號錫（品位九九・八パーセント以上）が四百三十圓に、同八百十圓の二號錫（九九・八パーセント未満九九・八パーセント以上）が四百十圓に、同七百九十圓の三號錫（九九・八パーセント未満九九・八パーセント以上）が三百九十圓に夫々約四十八パーセントの大巾引下げを見たもので、今後の經濟開發の進展と共に我が戰時物價政策は漸く安定感を伴つて愈々茲に軌道に乗つた譯である。尙本價格は日本金屬配給株式會社の指定場所渡價格で品位九九・八パーセント未満の錫地金の販賣價格は三號錫の販賣價格にその品位を乗じて算出した額となる。

西ボルネオの鹽田開發順調

西ボルネオのシンカワン海岸一帯の鹽田開發計畫は進出邦人會社をして食鹽製造販賣組合を結成、優秀なわが技術を導入して生産の増強を圖つてゐる結果、その成績は極めて良好である。即ち從來同地區の採鹽は月産〇〇トン程度であつたが、同組合結成後は免證金制度免稅實施による生産獎勵或は公定價格の設定による市價維持、生産者

損失補償等の方策により着々増産を見、現在では大體西ボルネオにおける年消費〇〇萬トンの自給が可能となり、第一期計畫の目的を略々達成し、今後はさらに第二期計畫として南ボルネオ全島の自給を目指し一段と増産に邁進する。

セレベス海務局新設

現地海上輸送力の強化を期し、海運當局は現在の民船監督機關たる民船統制部を發展的に解消し、新たに海務局を設置することに決定した。その管掌事項は移出入物資の統制、船舶の出入港、港灣管理、船員登録など、その他民船監督に関するものがある。なほこの機構改革により南方海上輸送に大きな役割を果してゐる帆船（ブラウ）の一元統制機關たる民船運航は海務局の下部組織として存続、帆船運航の實務に當ることゝなつた。

セレベスの棉花を現地で活用

セレベスの棉花栽培計畫實施の初年度たる本年度の棉作柄は、南セレベスの一部を除く他殆んど南北ともに良好で、一方現地棉による紡績、織布工場設計畫は初年度實施以來これまで建設資材等の入手難を克服しつゝ着々進捗し、關係商社は先づ煉瓦や簡易セメントの自家製造及びチーク材の活用などによつて急速なる工場建設を實施し

て居り、これら商社は現地棉の作柄良好に拍車をかけられ内地の遊休紡績、織布機械の現地移駐の手配に萬全を期すると共に原住民インドネシアが各個に所有する手織機に着目、これが積極的活用をなすべく具體的に考慮してゐる。

比律賓

比島と本邦の間に郵便爲替を開始す

逓信省では九月二十五日より本邦と比島との間に郵便爲替の取扱ひを開始した。現在本邦と郵便の取扱ひを實施してゐる南方諸地域はタイ、佛印、香港、セレス島、南ボルネオ及びアンボイナ島に及んでゐるが、更に今回これに比島が加はつた譯である。比島との郵便爲替は差當り通常爲替、小爲替の二種類で又取扱ひの相手地は目下の所ルソン島のマニラ、バギオ、レガスピ各市、セブ島のセブ市、ミンダナオ島のダバオ市に限られてゐる。爲替取組の手續や料金等は一般内國郵便爲替の場合と殆ど變りないが、送金に際しては外國爲替管理法による制限を受け、爲替の取組については大藏大臣の許可を必要とすることはその他の南方送金におけると同様である。

最近の比島綿業

戦前に於ける比島の綿製品は殆ど米國又は日本よりの輸入に仰ぎ現地の生産は消費量全體の一刻にしか過ぎなかつた。これは原料たる棉花が比島には産出せず米國やブラジルから輸入してゐた關係からである。然し日本の支配下に入るや最重要物資として棉花の増産計畫を樹立し第一年度棉の收穫も終つて今や現地産棉となつて比島人のための良品が造られてゐる。

比島の紡績工場にはナショナル興發會社（精紡機二萬錠）とフィリップピン・コットン・ミル（八千錠）の二つがあり現在は前者の二萬錠が毎日〇時間操業を行つてゐる。同工場が現在生産してゐる綿製品はカーキ色の服地、紺の工場服地、タオルなどで主として開發關係に必要な綿製品の生産に重點を置き、殘餘を民需の女服地などの生産に充てゐる。

比島は戦前に輸入した綿製品の在庫が極めて豊富であつたので、皇軍入城後も本年四月まではそのストックの自山販賣を許してゐたが、今後の比島内生産高と戦前よりのストックで生活必需物資配給組合が買上げ手持してゐる分とを島内消費向けに計畫的配給を行ふ必要上、五月から衣料切符制を採用し大體一人一年五平方碼を目標に消費規正を斷行した。然し軍政當局では現在の生産設備を約三倍に増強するゝとなり、それに必要な設備は日本内地

の遊休設備約五萬鍾を導入するに決定既に準備に着手した。

11011

比島の巻煙草自給

比島に於ける葉煙草の栽培は米國の植民地政策の犠牲となつて葉巻用葉煙草の栽培のみに限られ、巻煙草用の黄色種（バージニア種）の栽培は殆ど行はれなかつたが、我が軍政下に入つて以來其の指導によりこれらの栽培に成功して比島の巻煙草自給の見込みがつくに至つた。即ち第一年度計畫として三千町歩に栽培された黄色種葉煙草は去る四月末から收穫が開始され、七月末までに早くも八十萬斤の收穫を完了したが、品質も輸入アメリカ葉と大差なく一方收買價格で在來種の三倍の價格に決定された爲、出廻りも極めて順調に進んでゐる。收穫済の葉煙草はマニラ市内に新設された乾燥工場の手で巻煙草に製造され、一般比島人に供給されてゐるが、明年は更に植付面積を擴大し三、四年後には日本、支那、滿洲向けに輸出する事も可能となる見込である。

比島内銀行預金著増

比島内各銀行の預金は經濟界の活潑化につれ一路増加の傾向を示してゐるが、本年六月末現在の島内預金總額は合計二億七千五百萬ペソと本年三月末現在に比し六千百萬ペソの増加を示した。この數字は戰爭勃發直前の比島内

銀行の預金總額二億二千四百萬ペソに比較すれば約五千萬ペソ上方廻つてをり、當時の銀行營業數は十七行であつたが、現在は戦後進出せる南方開發金庫を入れても七行が營業してゐるに過ぎず、物價水準の相違を考慮したとしても比島の經濟活動は優に戦前の水準を突破する状態に到達したといへよう。預金内譯を銀行別に見れば邦人銀行二行の合計は一億一千二百萬ペソで、本年三月末現在に比し四千六百八十萬ペソの増加である。比島側四銀行は合計一億三千五百萬ペソ、三月末に比し一千六百萬ペソの増加となつてゐる。しかし南方開發金庫の預金のみは二千七百八十二萬二千ペソと三月末に比し七十一萬ペソの減少を示し、預金の増勢を口座別に分類すれば當座一億五千萬餘ペソで三月末より約三千萬ペソの増、定期は一千六百萬ペソで三百三十萬ペソを増加、特別當座貯蓄預金及び通知預金の合計は四千七百七十萬ペソと約三千萬ペソの増加をみた。當座の増加は事業活動の活潑化を示すものであるが、特別當座通知預金、貯蓄預金が何れも顯著な増加を示したことは五月一日より預金利率の引上げが斷行された結果によるものとみられ、特に各銀行ともに特別當座預金の増勢は顯著なものである。定期預金も利上げの影響を受けて今後數箇月中に一段と増加を期待されてゐる。また六月廿二日より制限預金と自由預金との區別がなくなつた結果、一般の小切手利用による商取引が極めて圓滑化したことも今後預金の増加を刺戟することゝなるとみられてゐる。

11011

緬甸國

1104

緬甸の初代駐日大使にテイン・モン氏を起用

バー・モウ緬甸國家代表は過般來初代駐日大使を銓衡中であつたが、閣議並に樞密院顧問官會議に諮問した結果八月十九日財務相テイン・モン氏を起用することに正式決定した。尙テイン・モン新大使は正式發命を待つて近日中に赴任の豫定である。

緬甸初の國家豫算編成

ビルマ政府は獨立ビルマ國初の國家豫算を編成すべく過般來準備を急いで來たが、此の程正式原案成り、目下同原案を中心にテイン・モン財務相の手許に於て關係各省と折衝中である。數月中には折衝を終へ樞密院に回付正式決定をみる運びであるが、同原案は去る八月一日の獨立日より明年三月末日迄を施行期間とし、歳出一億七千八百十萬七千ルビー、歳入四千三十四萬二千ルビー、之の差額一億三千七百七十六萬五千ルビーの赤字は南發ビルマ支金庫よりの借入れにより補填する。しかして本豫算原案の特徴は

一 赤字補填の南發ビルマ支金庫よりの借入は全然無擔保にして日本側のビルマ國育成態度を明示し舊英國侵略時代の借款供與を口實とする利權收奪の歴史と明瞭に相違する。

二 歳出中には本年度米穀買上資金五千八百六十八萬五千ルビーを含むので實際上の數字は表面數字の約半額に減少する。

三 歳出中の主なるものは國防軍費、警察司法費、教育衛生費の三者で産業交通、土木水利の支出これに次ぎ、豫算面を通じて新生ビルマ國當面の努力の方向と順位が示され、全體として日本との戦争協力をよくあらはしてゐる。

四 歳入中の主なるものは地租、森林收入、消費税の三者で所得税、關稅の二者これに次ぐもその額は少く、戦前のビルマ政廳が關稅、地租、所得税の三者を主要歳入としたのに照し、今次戦争を通じるビルマ經濟の變貌を反映してゐる。

なほ戦前舊ビルマ政廳當時の國庫收支は平時各々一億二、三千万ルビーを上下し、最近に至り軍事費の遽増により漸次増加し、一九四一年度は歳出入とも一億八千万ルビー、一九四二年度は二億ルビーに昇つたもので、今回の豫算原案も物價事情の變化を勘定外にあげば大體戦前と同程度の數字である。

1105

緬甸國內民族融和

二〇六

バー・モウ緬甸國家代表はビルマ國獨立に當り新政府が日本と共同して戦争を完遂するため「第一線政策」を採用する旨闡明したが、先づその基礎をなす國內の民族統一に障害をなすビルマ人とカレン人の相別解消に乘出し、過般來數次に互りカレン人代表者と膝を交へて懇談した結果、戦争完遂、新獨立國完整の大局的見地より過去百年に互る兩者の鬭争を徹底的に清算することに内定、國家代表はカレン人に對して差別待遇を加へぬこと、カレン人は新政府の政策に對し凡ゆる分野に於て全面的協力をなすことを相互に誓約し、茲に兩者の紛争は全く解消するに至つた。ビルマ族とカレン族は過去百年の永きに互り兩者が種族鬭争を續けた要因は、英國がビルマの分轄を容易ならしめるため、ビルマに於て兩種族が互に敵愾心を抱いてゐるのに乘じて兩者の完全な離間と紛争繼續に努めたため、今回の和解成立は新生ビルマ國が自ら曾ての被壓迫民族の汚辱を拂拭したのみならず、實質的にはビルマの國內統一完整途上に於る最大の懸案を解決したものである。兩者の會談に於てバー・モウ國家代表はカレン人に對し次の如き趣旨を明にした。

- 一 國家代表は凡ゆる國民に對し差別することなくその權力を行使することを約す。
- 二 カレン人に對し國家の各部門に奉仕する正當なる權利を與へるため必要なる措置を急速に執りつゝあり。

三 新ビルマは國內の全土着民族に屬しビルマの獨立は全土着民族の獨立なり。余の重要なる目的は「一民族、一輿論、一命令」のビルマを創建するにあり、戦争はこの力によつて完遂され新秩序及び歴史も亦この力によつて建設されねばならぬ。

因にカレン人は一九三一年の調査に依ればその數三十六萬七千人、全ビルマ人口の九割を占め主としてアラカンヨマ、ペグヨマ、カレツニー地方など上ビルマに居住する山地種族である。ビルマ人が深く佛教を信仰してゐるのに反して、カレン人はキリスト教徒である。英國は狡猾なる宗教政策によりキリスト教を山地種族間に布教したのであるが、カレン人の信仰は特に著しくその殆ど全部がキリスト教徒と云はれる。幼少からミツンヨン・スクールに通學し、低度ではあるが英語によつて教育され、英語を話すので英國人はこの種族から使用人を採用し、奴僕として酷使して來たのである。また同じ理由によつて兵士として徵集し、英國人の牆壁に利用したことがある。ビルマ兵の大多數はこの種族であつたのである。カレン人が英人のために英人の奴僕となるやうに教育され訓練されたことはビルマ人との間に相克を醸す遠因になつたのである。然し新生ビルマでは過去百年に互る兩種族の鬭争を大東亞戦争完遂と新獨立國完成の大局的見地より徹底的に清算することとなり、バー・モウ國家代表は今回カレン人代表と懇談した結果カレン人に對し差別待遇を加へぬこと、カレン人は新政府の政策に對し全面的に協力することを誓約し、兩種族の統一がこゝに成るに至つたものである。

二〇七

統計

南支各地域別在留邦人人口概計表 (五月一日現在)

種別	廈門		汕頭		金門		合計	
	戶數	人口	戶數	人口	戶數	人口	戶數	人口
內地人	大	1,234	567	890	123	456	2,704	2,149
	小	345	123	234	123	456	702	712
	計	1,579	690	1,124	582	1,660	3,406	2,861
朝鮮人	大	12	34	5	15	27	37	69
	小	3	8	2	5	5	10	13
	計	15	42	7	20	32	47	82
臺灣人	大	1	2	1	1	2	3	4
	小	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	2	1	1	2	3	4
合計	大	1,246	734	572	148	485	2,466	2,222
	小	348	131	236	128	461	710	725
	計	1,594	865	808	276	2,402	3,132	2,947

汕頭

種別	汕頭市		別縣		合計	
	戶數	人口	戶數	人口	戶數	人口
內地人	大	1,234	567	890	2,124	2,149
	小	345	123	234	579	712
	計	1,579	690	1,124	582	2,703
朝鮮人	大	12	34	5	17	69
	小	3	8	2	5	13
	計	15	42	7	20	22
臺灣人	大	1	2	1	2	4
	小	0	0	0	0	0
	計	1	2	1	1	2
合計	大	1,246	734	572	1,818	2,222
	小	348	131	236	584	725
	計	1,594	865	808	276	2,402

四海南島

計	武村	大赤場	寶安	南園	深洲	西南
三			六	三	五	一
四			六	三	八	一
五			三			
六			三		六	
七			三	三	四	一
八					一	
九					一	
一〇					一	
一一					一	
一二					一	
一三					一	
一四					一	
一五					一	
一六					一	
一七					一	
一八					一	
一九					一	
二〇					一	
二一					一	
二二					一	
二三					一	
二四					一	
二五					一	
二六					一	
二七					一	
二八					一	
二九					一	
三〇					一	
三一					一	
三二					一	
三三					一	
三四					一	
三五					一	
三六					一	
三七					一	
三八					一	
三九					一	
四〇					一	
四一					一	
四二					一	
四三					一	
四四					一	
四五					一	
四六					一	
四七					一	
四八					一	
四九					一	
五〇					一	
五一					一	
五二					一	
五三					一	
五四					一	
五五					一	
五六					一	
五七					一	
五八					一	
五九					一	
六〇					一	
六一					一	
六二					一	
六三					一	
六四					一	
六五					一	
六六					一	
六七					一	
六八					一	
六九					一	
七〇					一	
七一					一	
七二					一	
七三					一	
七四					一	
七五					一	
七六					一	
七七					一	
七八					一	
七九					一	
八〇					一	
八一					一	
八二					一	
八三					一	
八四					一	
八五					一	
八六					一	
八七					一	
八八					一	
八九					一	
九〇					一	
九一					一	
九二					一	
九三					一	
九四					一	
九五					一	
九六					一	
九七					一	
九八					一	
九九					一	
一〇〇					一	
一〇一					一	
一〇二					一	
一〇三					一	
一〇四					一	
一〇五					一	
一〇六					一	
一〇七					一	
一〇八					一	
一〇九					一	
一一〇					一	
一一一					一	
一一二					一	
一一三					一	
一一四					一	
一一五					一	
一一六					一	
一一七					一	
一一八					一	
一一九					一	
一二〇					一	
一二一					一	
一二二					一	
一二三					一	
一二四					一	
一二五					一	
一二六					一	
一二七					一	
一二八					一	
一二九					一	
一三〇					一	
一三一					一	
一三二					一	
一三三					一	
一三四					一	
一三五					一	
一三六					一	
一三七					一	
一三八					一	
一三九					一	
一四〇					一	
一四一					一	
一四二					一	
一四三					一	
一四四					一	
一四五					一	
一四六					一	
一四七					一	
一四八					一	
一四九					一	
一五〇					一	
一五一					一	
一五二					一	
一五三					一	
一五四					一	
一五五					一	
一五六					一	
一五七					一	
一五八					一	
一五九					一	
一六〇					一	
一六一					一	
一六二					一	
一六三					一	
一六四					一	
一六五					一	
一六六					一	
一六七					一	
一六八					一	
一六九					一	
一七〇					一	
一七一					一	
一七二					一	
一七三					一	
一七四					一	
一七五					一	
一七六					一	
一七七					一	
一七八					一	
一七九					一	
一八〇					一	
一八一					一	
一八二					一	
一八三					一	
一八四					一	
一八五					一	
一八六					一	
一八七					一	
一八八					一	
一八九					一	
一九〇					一	
一九一					一	
一九二					一	
一九三					一	
一九四					一	
一九五					一	
一九六					一	
一九七					一	
一九八					一	
一九九					一	
二〇〇					一	
二〇一					一	
二〇二					一	
二〇三					一	
二〇四					一	
二〇五					一	
二〇六					一	
二〇七					一	
二〇八					一	
二〇九					一	
二一〇					一	
二一一					一	
二一二					一	
二一三					一	
二一四					一	
二一五					一	
二一六					一	
二一七					一	
二一八					一	
二一九					一	
二二〇					一	
二二一					一	
二二二					一	
二二三					一	
二二四					一	
二二五					一	
二二六					一	
二二七					一	
二二八					一	
二二九					一	
二三〇					一	
二三一					一	
二三二					一	
二三三					一	
二三四					一	
二三五					一	
二三六					一	
二三七					一	
二三八					一	
二三九					一	
二四〇					一	
二四一					一	
二四二					一	
二四三					一	
二四四					一	
二四五					一	
二四六					一	
二四七					一	
二四八					一	
二四九					一	
二五〇					一	
二五一					一	
二五二					一	
二五三					一	
二五四					一	
二五五					一	
二五六					一	
二五七					一	
二五八					一	
二五九					一	
二六〇					一	
二六一					一	
二六二					一	
二六三					一	
二六四					一	
二六五					一	
二六六					一	
二六七					一	
二六八					一	
二六九					一	
二七〇					一	
二七一					一	
二七二					一	
二七三					一	
二七四					一	
二七五					一	
二七六					一	
二七七					一	
二七八					一	
二七九					一	
二八〇					一	
二八一					一	
二八二					一	
二八三					一	
二八四					一	
二八五					一	
二八六					一	
二八七					一	
二八八					一	
二八九					一	
二九〇					一	
二九一					一	
二九二					一	
二九三					一	
二九四					一	
二九五					一	
二九六					一	
二九七					一	
二九八					一	
二九九					一	
三〇〇					一	
三〇一					一	
三〇二					一	
三〇三					一	
三〇四					一	
三〇五					一	
三〇六					一	
三〇七					一	
三〇八					一	
三〇九					一	
三一〇					一	
三一〇					一	
三一一					一	
三一二					一	
三一三					一	
三一四					一	
三一五					一	
三一六					一	
三一七					一	
三一八					一</	

清湖	嘉積	山頂	九所	馬嶺	黃澗	藤橋	崖縣	三頭	榆林	地別	
										戶數	人口
三	查	查	查	三	一	一	一〇	一〇	六	內	
三	查	查	查	三	一	一	二六	二〇	六	地	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	人	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	男	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	女	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	計	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	朝	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	鮮	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	人	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	男	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	女	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	計	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	臺	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	灣	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	人	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	男	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	女	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	計	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	合	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	男	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	女	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	計	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	市	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	別	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	縣	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	東	
三	查	一	一	一	一	一	一	二	六	縣	

二二七

屯昌	流水坡	十字路	烈樓	永興	東山	瓊山	海口市	地別	
								戶數	人口
一	一	一	一	一	一	一	一	內	
一	一	一	一	一	一	一	一	地	
一	一	一	一	一	一	一	一	人	
一	一	一	一	一	一	一	一	男	
一	一	一	一	一	一	一	一	女	
一	一	一	一	一	一	一	一	計	
一	一	一	一	一	一	一	一	朝	
一	一	一	一	一	一	一	一	鮮	
一	一	一	一	一	一	一	一	人	
一	一	一	一	一	一	一	一	男	
一	一	一	一	一	一	一	一	女	
一	一	一	一	一	一	一	一	計	
一	一	一	一	一	一	一	一	臺	
一	一	一	一	一	一	一	一	灣	
一	一	一	一	一	一	一	一	人	
一	一	一	一	一	一	一	一	男	
一	一	一	一	一	一	一	一	女	
一	一	一	一	一	一	一	一	計	
一	一	一	一	一	一	一	一	合	
一	一	一	一	一	一	一	一	男	
一	一	一	一	一	一	一	一	女	
一	一	一	一	一	一	一	一	計	
一	一	一	一	一	一	一	一	市	
一	一	一	一	一	一	一	一	別	
一	一	一	一	一	一	一	一	縣	
一	一	一	一	一	一	一	一	東	
一	一	一	一	一	一	一	一	縣	

二二六

總計	山牛島角	島北尖	島南明	石碓
六二五八〇二	八	一	壹	五元
五八〇二	八	一	壹	五元
九〇二五七〇	八	一	壹	五元
九〇九六〇	八	一	壹	五元
一九九五六四	八	一	壹	五元
九〇六九五	八	一	壹	五元
一五八二	八	一	壹	五元
四七五三六	八	一	壹	五元
七二〇九	八	一	壹	五元
三三、四九	八	一	壹	五元
三〇三〇八	八	一	壹	五元

南支各地物價表 (五月末日現在)

一 廈門 (未着)

二 汕頭 (單位 \$ 軍備券)

種類	品名	單位	賣	小	買	備要
米	蓬萊米	擔	一三九〇〇			邦人向
	蔡碎白米	同	一五〇〇〇			公定 \$ 一四〇〇〇
雜	現地米	同	一六〇〇〇			同 \$ 四二五〇〇
	大豆	同	一三八〇〇			公定 \$ 五六〇〇〇
糧	小豆	同	一八二〇〇			
	小麥粉	同	七〇〇〇			同 \$ 一六七〇〇
	落花生	同	一九〇〇〇			
	麵	同	三三〇〇〇			

三三三

三三三

三 廣 東
(一) 卸 賣 (單位 儲備券)

食 用 油	類 別	種 類	單 位	卸 賣 價 格	摘	要
落 花 生 油	同	白 米	百 斤	六二〇〇〇	廣 東 產	
	同	(上)	同	五九〇〇〇		
	同	(中)	同	五六〇〇〇		
	同	(下)	同	六六六六〇		
	同	(上)	五〇磅	六五四三八		
	同	(中)	同	五一二〇八		
	同	(下)	同	六〇五四九		
	大 豆	百 斤	五九九九四	同		
	小 豆	百 斤	六〇五四九	天 津 產		
	落 花 生	同	同	同		

肉	海 產 物	茶	調 味 料
豚 鴨 鷄	同 鹽 椎 貝 飽 錫	綠 紅	砂 醬 鹽
肉 肉 肉	魚 茸 柱	茶 茶	糖 油
同 同 百 斤	同 同 同 同 同 百 斤	同 百 斤	同 同 百 斤
一、九四四二五 一、六一〇九五 二、〇二七五八	一、一一一〇〇 九、九九九〇〇 一、五五五四〇〇 一、六六六五〇〇	四七三〇〇 六六七〇〇	一、七七七六〇 三三三三〇 一六六〇〇
同 同 廣 東 產	廣 東 產 同 同 同 同 日 本 產	廣 東 產 新 門 產	廣 東 產 同 廣 東 產

五香 港 (五月二十九日現在)

天 蠶 糸 (上)	綿 系	同 細 綾	綿 布 外 國	煙 草 南 星	土 酒	日 本 酒	サ イ ダ ル	ビ ー ル	セ メ ン ト	煖 寸	石 油
百 斤	四 百 封 度	二 〇 番 手	一 反	二 萬 五 千 本 入	一 打	一 打	四 打	五 〇 瓶	二 百 打	二 百 打	二 百 打
一、六〇〇〇	一、五〇〇〇	四六〇〇	七四〇〇	三、一八七五	三六〇〇	一四四〇	二八八〇	四四〇〇	一〇二〇〇	四四五〇	四四五〇
				同 十 本 入	一 斤				一 個	一 斤	
				三〇	一五	六四			〇五	二〇	二〇
			晒 金 巾					旭 印			

二四一

薪 炭	木 油	椰 油	鹽 魚	白 糖	醬 油	鹽 油	椎 茸 (上)	鱒 麵	豆 麵	白 糖	赤 糖	青 糖	茶 葉	巴 拿 根	運 根	鴨 根 (生 物)
同	同	百 斤	一 六〇 斤	同	同	百 斤	同	同	同	同	百 斤	同	同	同	同	一 斤
四〇〇〇	二〇〇〇	七二〇〇	九八〇〇	二〇〇〇	七〇〇〇	三五〇〇	四〇〇〇	一一八〇〇	七八〇〇							
同	一 斤	同	一 斤	一 升	一 斤	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	一 斤
〇六	一三	一八〇	七五	一六〇	二六			一三〇	八五	二六	四〇	七〇	二一〇			
				日 本 品				指 定 四 貫 八 百 文 二 六 ・ 四 〇	同	土 産						

二四〇

豚	牛	羊	鮮	同	野	同	豆	同	燐	石	砂	布	同	キヤ
肉	肉	肉	魚(鱈魚)	(鱈魚)	菜(菜心)	(青瓜)	(芥菜)	類	寸(上)	油	糖	(上)	(中)	コ(上)
斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	包	包	斤	斤	碼	碼	同
五二五	四二〇	一四五	一四〇	三〇	二七五	二七五	一七五	七〇	六〇	二二五	三二〇	同	同	同

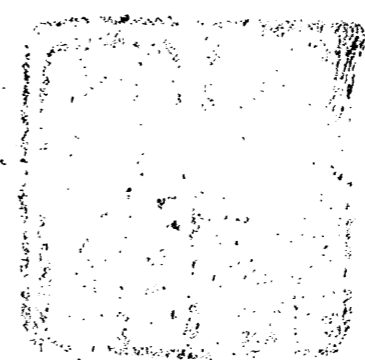
二四五

六九 龍 (五月二十九日現在)

石	木	同	茶	薪	食	落	麥	同	白	品
炭	炭	(六安)	(紅茶)	鹽	花生油	鹽	粉	(中)	米(上)	目
百斤	同	同	同	同	同	同	同	同	斤	單位
八二〇	四四五	二二〇	二二〇	一〇〇	四〇〇	四五〇	二五五	一九二五	同	金
額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額
摘	摘	摘	摘	摘	摘	摘	摘	摘	摘	摘
要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要

卵	牛	肉	罐	詰
個	罐	罐	罐	罐
三五〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇

二四四



昭和十八年十二月二十日印刷
昭和十八年十二月二十五日發行

【非賣品】

臺灣總督府外事部

臺北市羅住町二番地
印刷者 伊東銀藏
臺北市羅住町五番地構内
印刷所 臺北測務所印刷工場